



資 料

- 1 実態調査(抜粋資料)
- 2 用語解説
- 3 計画策定経過
- 4 策定委員会

1 実態調査

○この資料は、令和2年7月及び8月に実施したアンケート調査を再構成したものです。

第1章 調査の概要	- 47 -
1. 調査の目的.....	- 47 -
2. 調査票の設計.....	- 47 -
3. 調査票の種類.....	- 47 -
4. 調査の方法および回収状況.....	- 48 -
5. 報告書の見方について.....	- 48 -
第2章 在宅介護実態調査結果	- 49 -
1. ご本人の状況について.....	- 49 -
2. 主な介護者の状況について.....	- 58 -
第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果	- 68 -
1. ご本人の家族や生活状況について.....	- 68 -
2. からだ動かすことについて.....	- 72 -
3. 食べることについて.....	- 78 -
4. 毎日の生活について.....	- 82 -
5. 地域での活動について.....	- 88 -
6. たすけあいについて.....	- 92 -
7. 健康について.....	- 98 -
8. 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	- 101 -
9. 介護保険制度について.....	- 102 -
10. 特別養護老人ホームについて.....	- 103 -
11. 町の福祉施策について.....	- 105 -
12. リスク判定.....	- 106 -

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本町では現在、高齢者のための施策を総合的にかつ計画的に推進していくため、高齢者保健福祉・介護保険事業計画の見直しを進めております。

この調査は、高齢者の意識、生活実態、介護環境等を調査するとともに、介護している家族の生活実態や抱える問題等を調査し、日常生活や地域における課題、サービスの利用状況、ニーズ等を把握し、計画を策定する上での基礎資料とすることを目的に実施いたしました。

2. 調査票の設計

アンケート調査票は、厚生労働省が示した「在宅介護実態調査」および「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」に、本町が必要と判断した設問を加えて作成しました。

3. 調査票の種類

調査票は2種類の調査票を活用しました。主な項目は以下のとおりです。

【在宅介護実態調査】

- (1) ご本人の状況について
- (2) 主な介護者の状況について

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

- (1) ご本人の家族や生活状況について
- (2) からだを動かすことについて
- (3) 食べることについて
- (4) 毎日の生活について
- (5) 地域での活動について
- (6) たすけあいについて
- (7) 健康について
- (8) 認知症にかかる相談窓口の把握について
- (9) 介護保険制度について
- (10) 特別養護老人ホームについて
- (11) 町の福祉施策について
- (12) リスク判定

4. 調査の方法および回収状況

この調査の対象者は、令和2年7月1日現在町内にお住いの65歳以上の方及びそのご家族の方（施設入所者は除く）を対象に実施いたしました。在宅の要介護1～5認定者の方は「在宅介護実態調査」、一般高齢者及び要支援1・2認定者の方は「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」に回答いただきました。

調査の方法および回収状況は以下のとおりです。

	調査票 配布数	回収数	回収率	有効票数	有効票数 回収率
全 体	500 件	306 件	61.2%	305 件	61.0%
在宅介護実態調査	50 件	41 件	82.0%	41 件	82.0%
介護予防・ 日常生活圏域ニーズ調査	450 件	265 件	58.9%	264 件	58.7%
調 査 方 法	訪問調査及び郵送による配布・回収				
調 査 期 間	令和2年7月30日～8月28日				

5. 報告書の見方について

報告書を理解する上で、次の点に留意する必要があります。

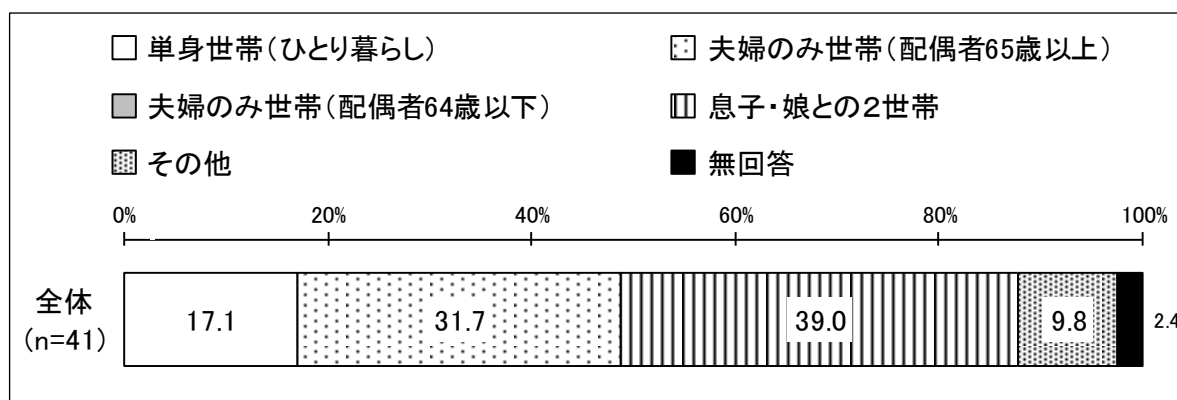
- (1) 図表中の「n」は、各質問の回答者数を示します。
- (2) 調査結果の比率は、nを基数として比率を算出し、小数点以下第2位を四捨五入して第1位まで示しました。したがって、すべての選択肢の比率を合計しても100%にならない場合があります。また、比率が0%または100%の場合は、小数点以下の表示を省略した場合があります。
- (3) 複数回答の設問においても、nを基数として比率を算出しているため、すべての選択肢の比率の合計は、通常100%を超えます。
- (4) グラフ中の0.0%表記を省略しているものがあります。
- (5) 単数回答の設問は帯グラフ、複数回答の設問は棒グラフとし、棒グラフにおいては、割合の多い項目から降順となっています。
- (6) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果には、性別、年齢別、要介護状態区分別の表を載せています。なお、表中の網掛けは、横の層で見て最も割合が多い項目です。
- (7) 要介護状態区分の、「要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者」は、「総合事業対象者」に省略してあります。

第2章 在宅介護実態調査結果

1. ご本人の状況について

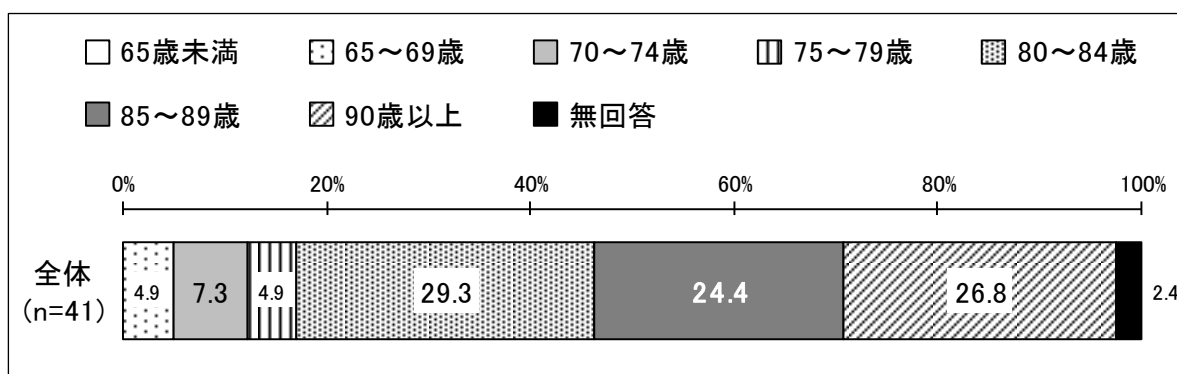
問1. 世帯類型（家族構成）について、ご回答ください。

世帯類型については、「息子・娘との2世帯」が39.0%で最も高く、次いで「夫婦のみ世帯（配偶者65歳以上）」が31.7%、「単身世帯（ひとり暮らし）」が17.1%の順となっています。なお、「その他」は9.8%でした。



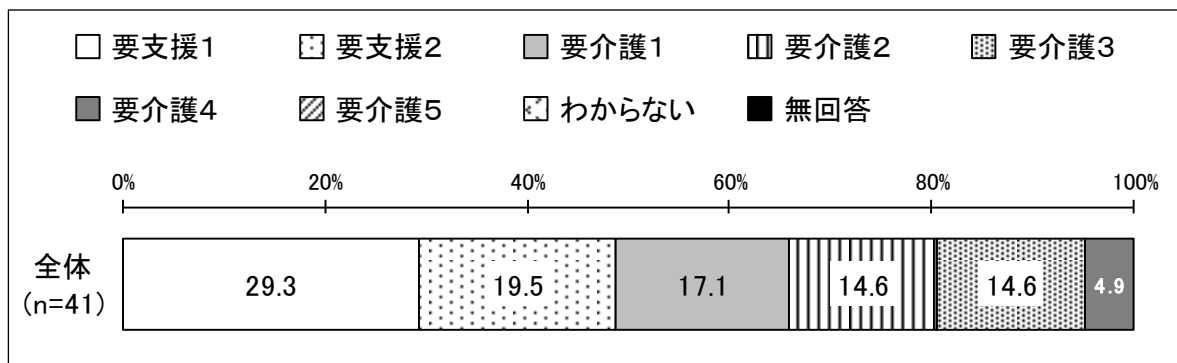
問2. ご本人の年齢について、ご回答ください。

年齢については、「80～84歳」が29.3%で最も高く、次いで「90歳以上」が26.8%、「85～89歳」が24.4%、「70～74歳」が7.3%、「65～69歳」「75～79歳」が同率4.9%の順となっています。



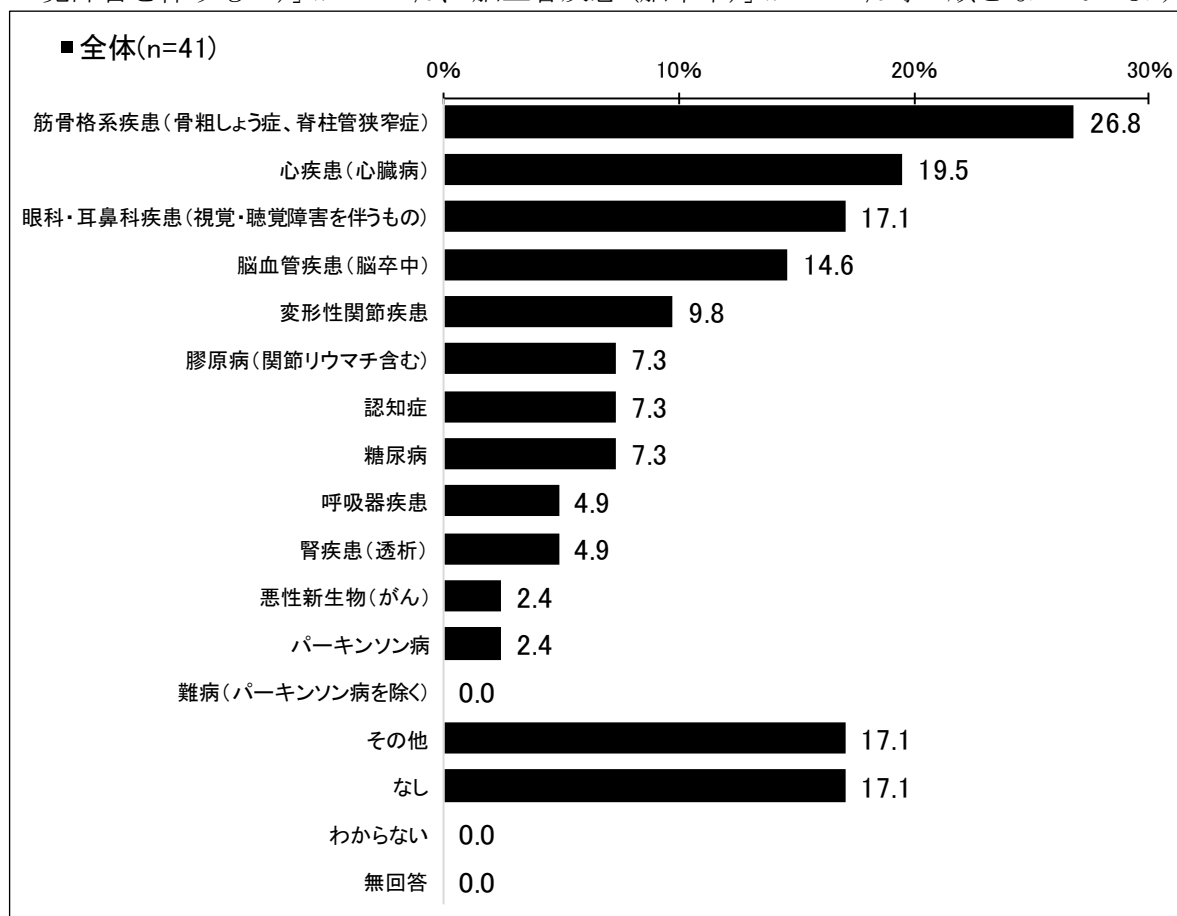
問3. ご本人の要介護度について、ご回答ください。

認定状況については、「要支援1」が29.3%で最も高く、次いで「要支援2」が19.5%、「要介護1」が17.1%、「要介護2」「要介護3」が同率14.6%、「要介護4」が4.9%の順となっています。



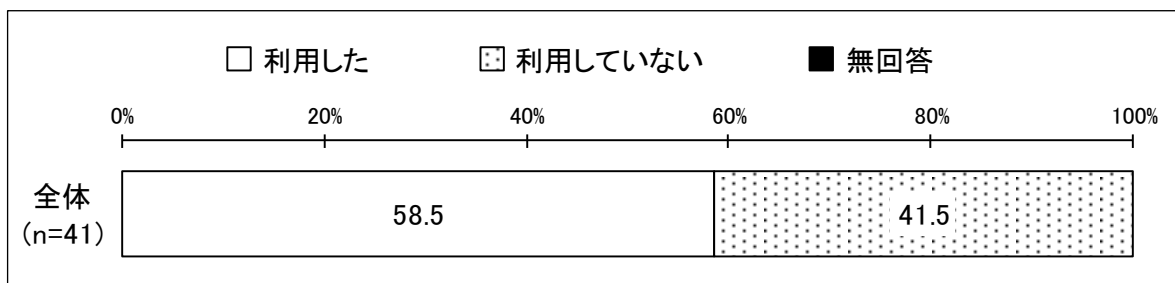
**問4. ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
【複数選択可】**

現在抱えている傷病については、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症）」が26.8%で最も高く、次いで「心疾患（心臓病）」が19.5%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が17.1%、「脳血管疾患（脳卒中）」が14.6%等の順となっています。



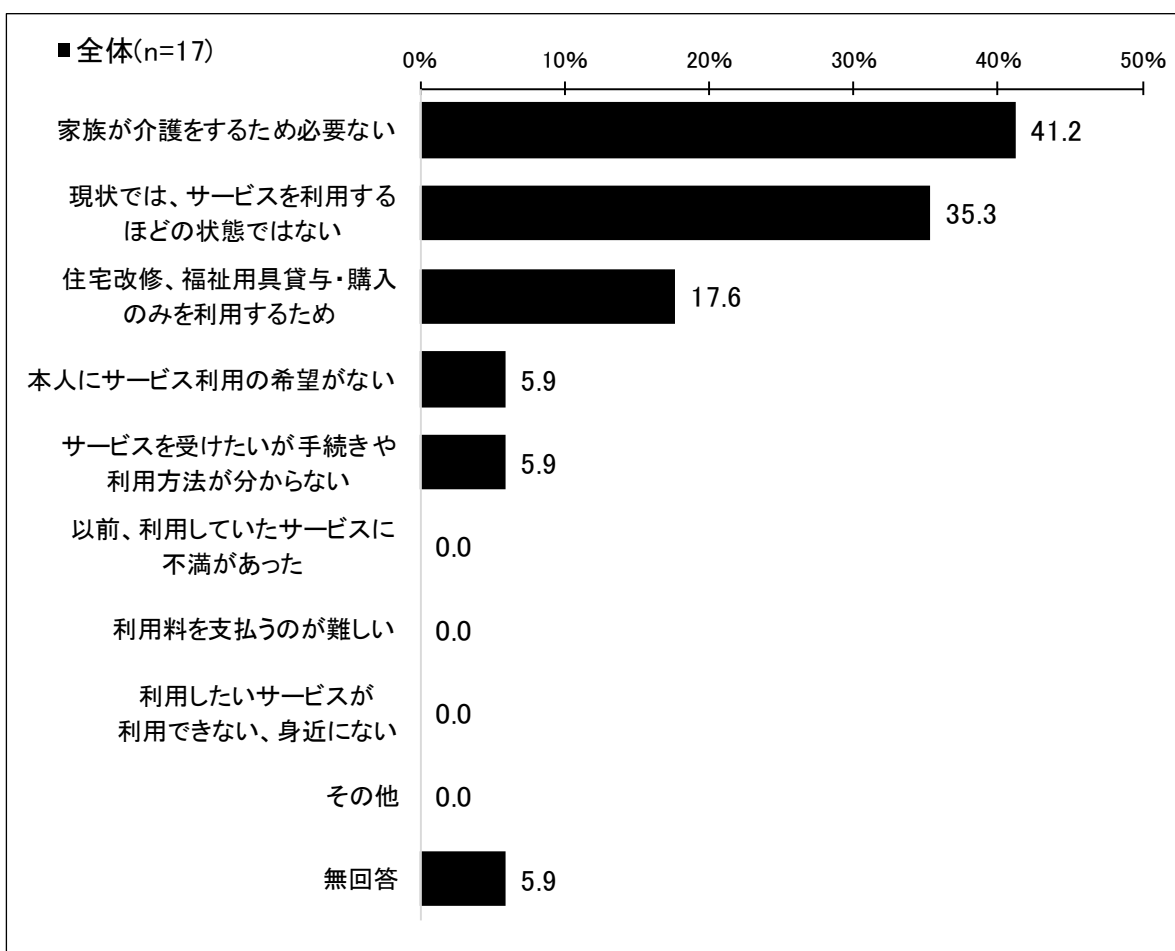
問5. 令和2年6月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護サービスを利用しましたか。

令和2年6月の1か月間に介護サービスを利用したかについては、「利用した」が58.5%、「利用していない」が41.5%となっています。



**問6. 【問5で「利用していない」と回答した方にお伺いします。】
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。【複数選択可】**

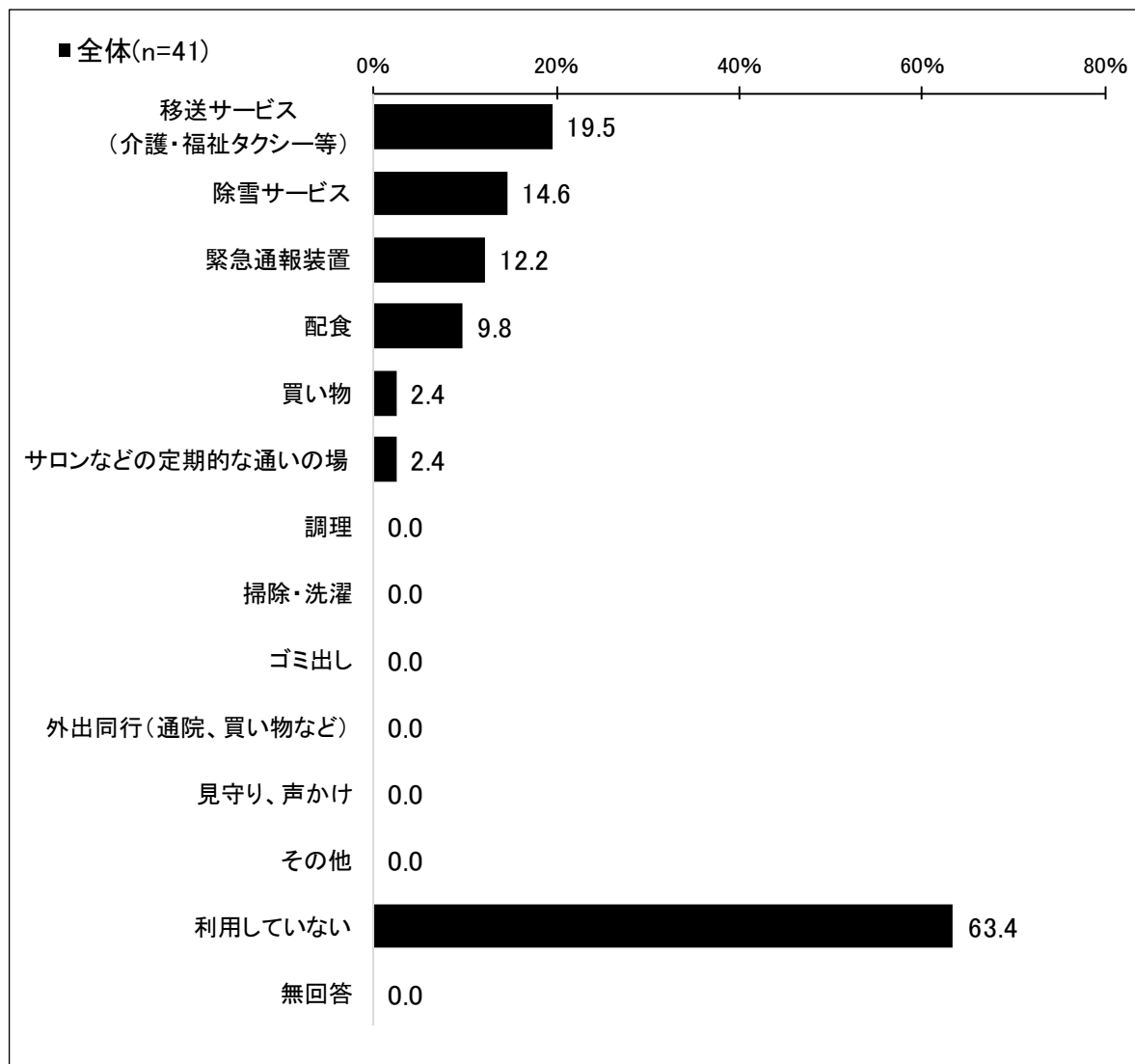
介護保険サービスを利用していない理由については、「家族が介護をするため必要ない」が41.2%で最も高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が35.3%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が17.6%等の順となっています。



問7. 現在、利用している「介護保険サービス以外」の行政や民間の支援・サービスについて、ご回答ください。【複数回答可】
※総合事業に基づく支援・サービスは「介護保険サービス」に含めます。

現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が19.5%で最も高く、次いで「除雪サービス」が14.6%、「緊急通報装置」が12.2%等の順となっています。

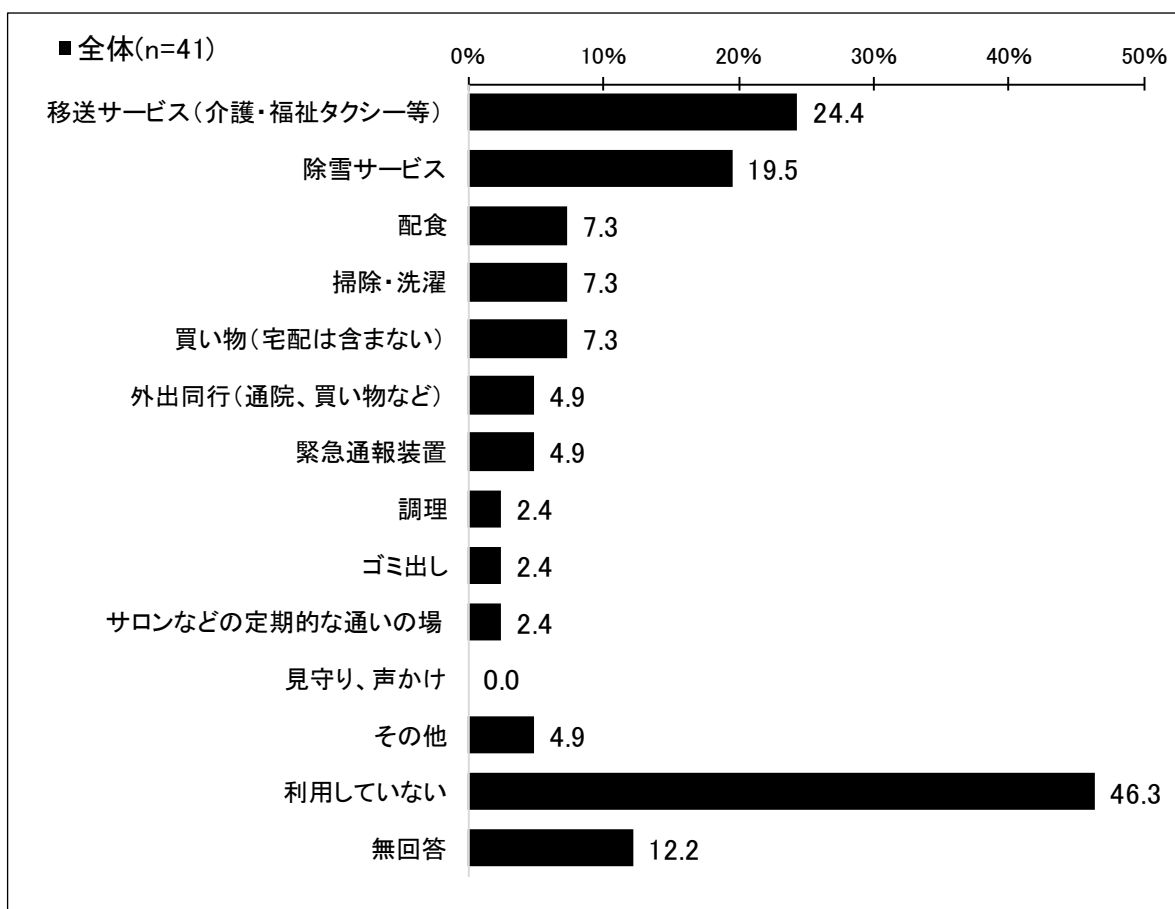
なお、「利用していない」は63.4%でした。



問8. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる行政や民間の支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。【複数選択可】

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます

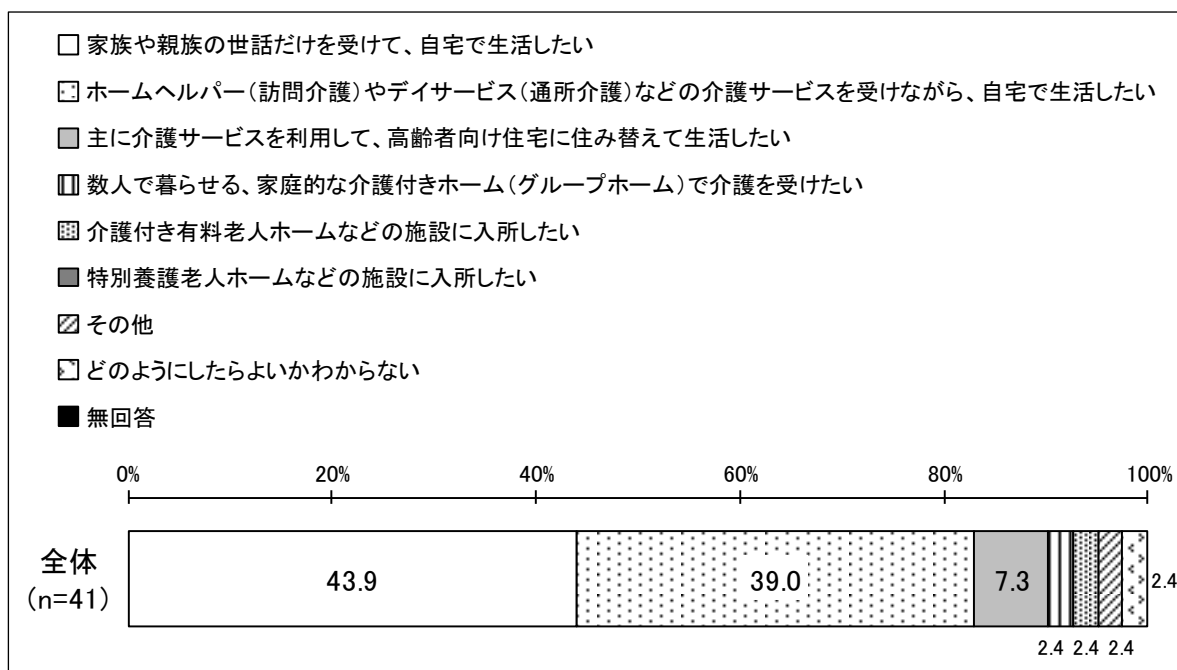
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が24.4%で最も高く、次いで「除雪サービス」が19.5%、「配食」「掃除・洗濯」「買い物（宅配は含まない）」が同率7.3%等の順となっています。なお、「利用していない」は46.3%でした。



問9. ご本人（調査対象者）は今後、どのように生活したいですか。
【もっとも近い考え1つを選択】

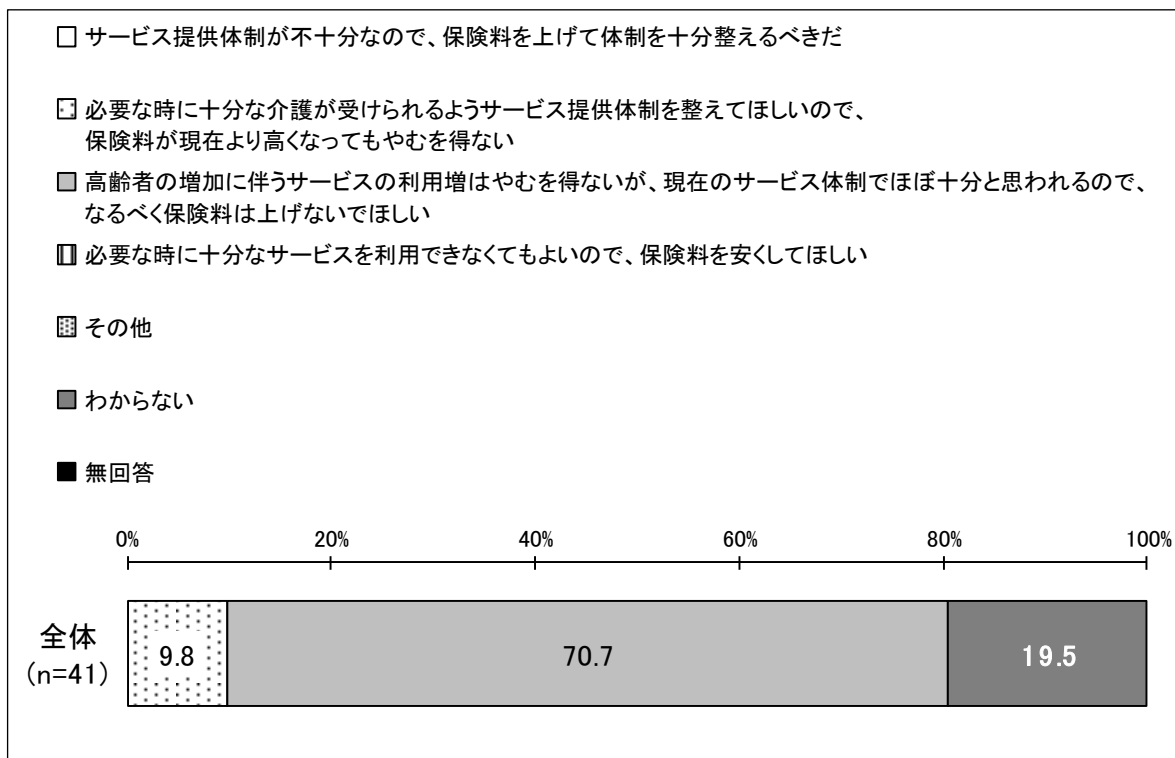
どこでどのように生活したいかについては、「家族や親族の世話だけを受けて、自宅で生活したい」が43.9%で最も高く、次いで「ホームヘルパー（訪問介護）やデイサービス（通所介護）などの介護サービスを受けながら、自宅で生活したい」が39.0%、「主に介護サービスを利用して、高齢者向け住宅に住み替えて生活したい」が7.3%、「数人で暮らせる、家庭的な介護付きホーム（グループホーム）で介護を受けたい」「介護付き有料老人ホームなどの施設に入所したい」が同率2.4%の順となっています。

なお、「どのようにしたらよいかわからない」は2.4%でした。



問10. 保険料とサービス利用の関係について、考えにもっとも近いものは、次のうちどれですか。

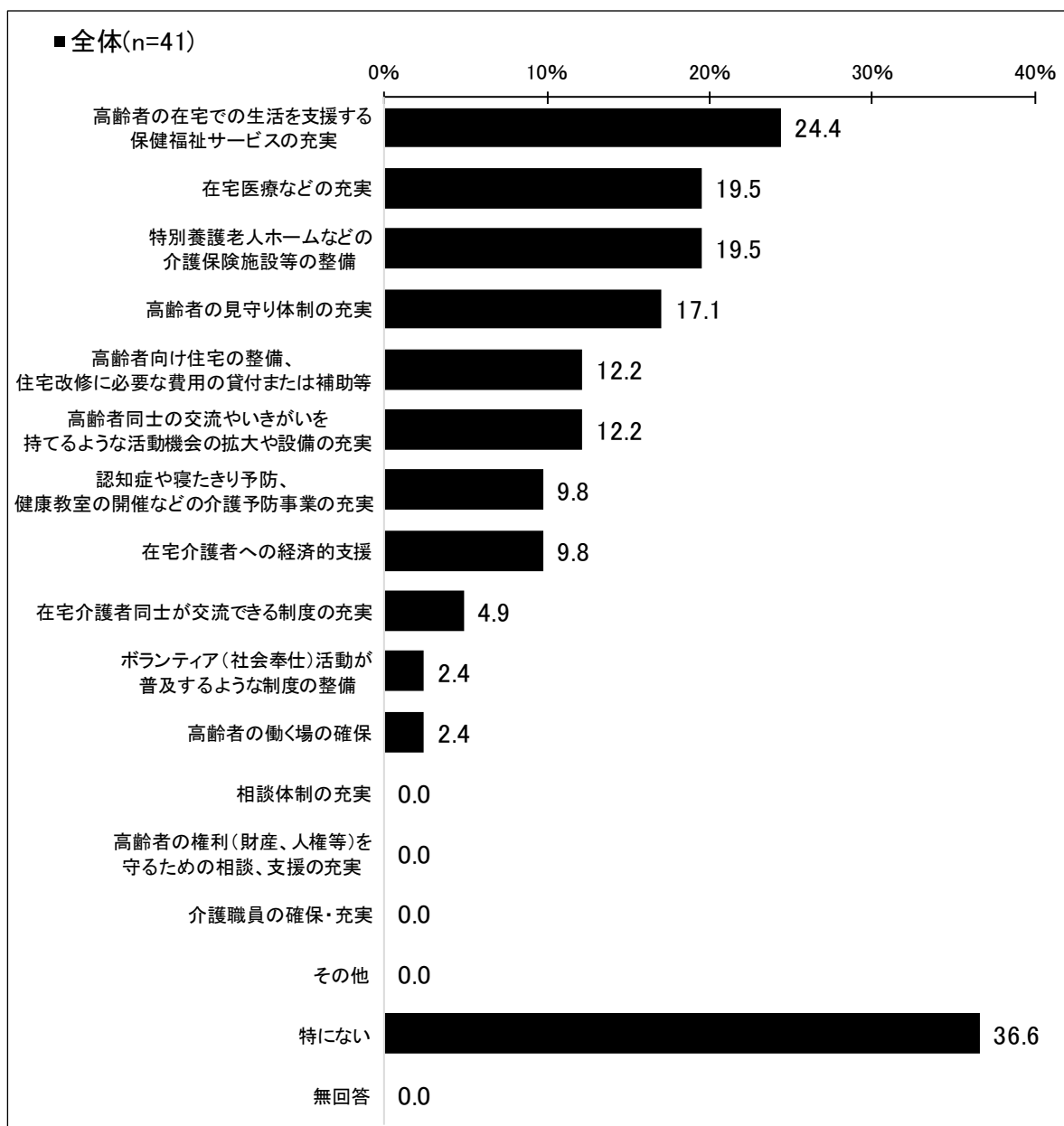
保険料とサービス利用の関係については、「高齢者の増加に伴うサービスの利用増はやむを得ないが、現在のサービス体制でほぼ十分と思われるので、なるべく保険料は上げないでほしい」が70.7%で最も高く、次いで「必要な時に十分な介護が受けられるようサービス提供体制を整えてほしいので、保険料が現在より高くなってもやむを得ない」が9.8%となっています。なお、「わからない」は19.5%でした。



問11. 美深町の介護保険制度・高齢者福祉施策について、今後充実すべきと思われるものはなんですか。【3つまで選択可】

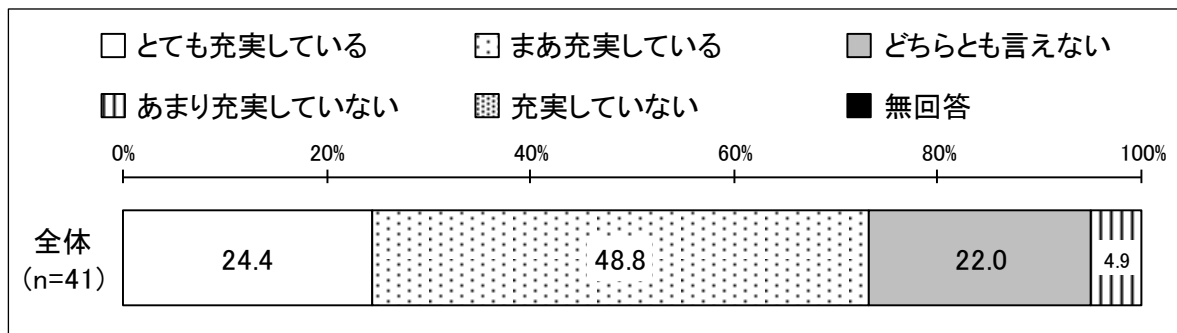
今後充実すべきと思う美深町の介護保険制度・高齢者福祉施策については、「高齢者の在宅での生活を支援する保健福祉サービスの充実」が24.4%で最も高く、次いで「在宅医療などの充実」「特別養護老人ホームなどの介護保険施設等の整備」が同率19.5%、「高齢者の見守り体制の充実」が17.1%、「高齢者向け住宅の整備、住宅改修に必要な費用の貸付または補助等」「高齢者同士の交流やいきがいを持てるような活動機会の拡大や設備の充実」が同率12.2%等の順となっています。

なお、「特にない」は36.6%でした。



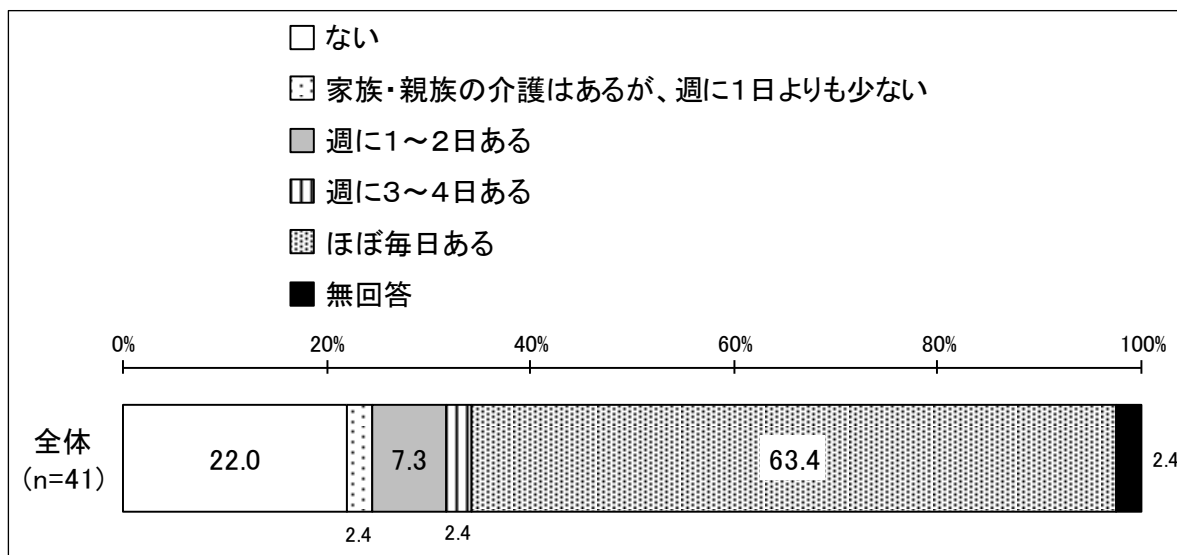
**問12. 美深町の介護保険制度・高齢者福祉施策について、どのように感じますか。
【もっとも近い考えを1つ選択】**

美深町の介護保険制度・高齢者福祉施策については、「まあ充実している」が48.8%で最も高く、次いで「とても充実している」が24.4%、「どちらとも言えない」が22.0%、「あまり充実していない」が4.9%の順となっています。



**問13. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。
※同居していない子どもや親族からの介護を含む。**

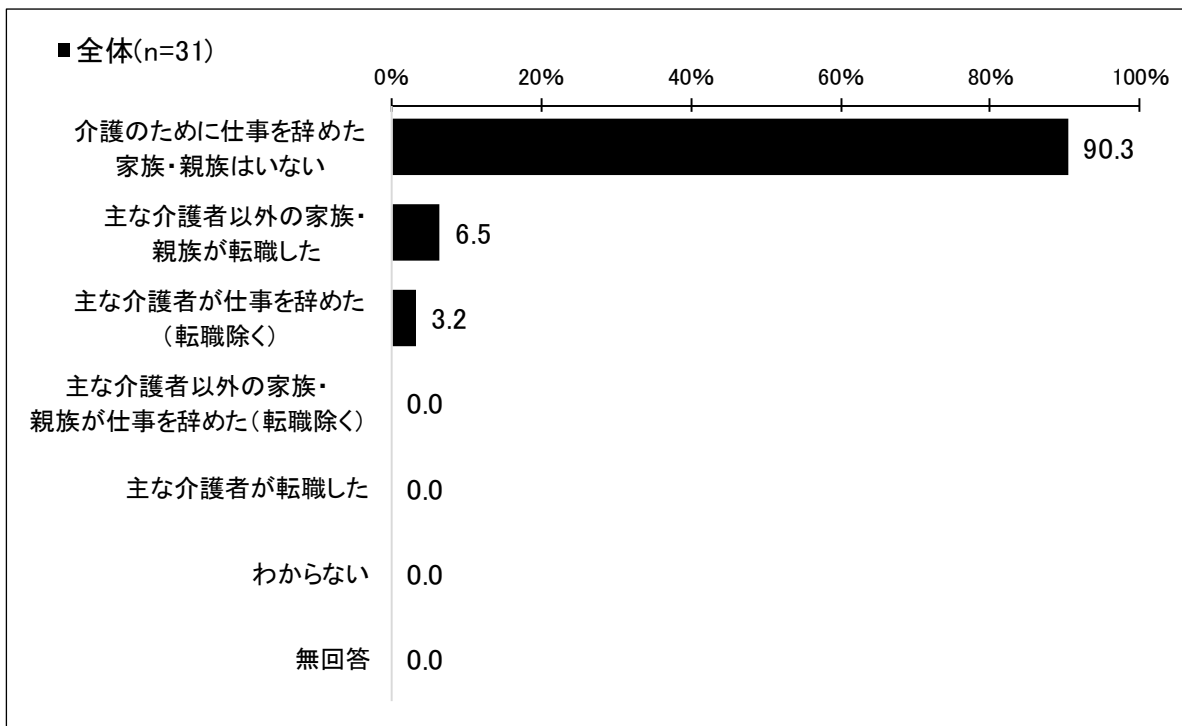
家族からの介護の回数（週）については、「ほぼ毎日ある」が63.4%で最も高く、次いで「ない」が22.0%、「週に1～2日ある」が7.3%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に3～4日ある」が同率2.4%の順となっています。



2. 主な介護者の状況について

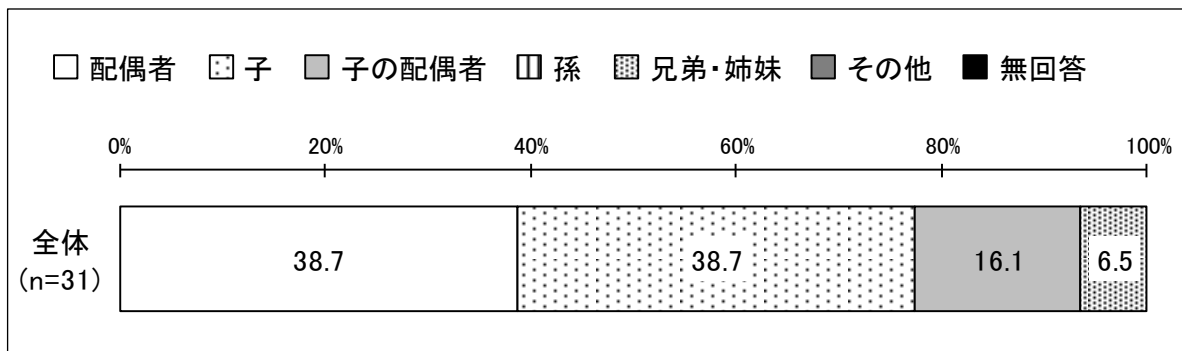
問1. ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。現在働いているかどうかや、勤務体系は問いません。
【複数選択可】
 ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

介護を理由に過去1年仕事を辞めた家族・親族については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が90.3%で最も高く、次いで「主な介護者以外の家族・親族が転職した」が6.5%等の順となっています。



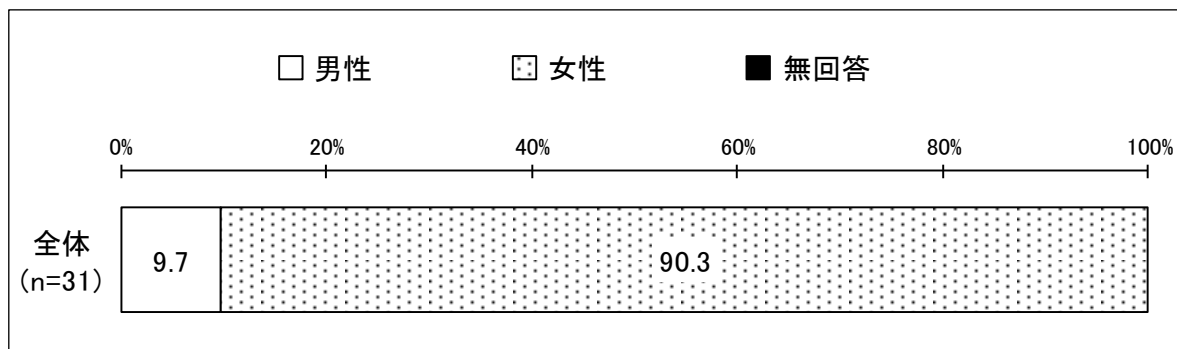
問2. 主な介護者の方は、どなたですか。

主な介護者については、「配偶者」「子」が同率38.7%で最も高く、次いで「子の配偶者」が16.1%、「兄弟・姉妹」が6.5%の順となっています。



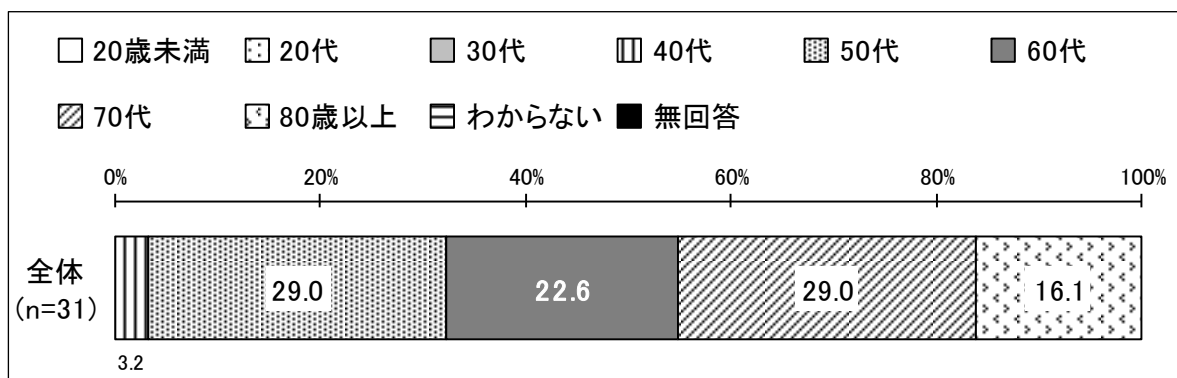
問3. 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。

主な介護者の方の性別については、「男性」が9.7%、「女性」が90.3%となっています。



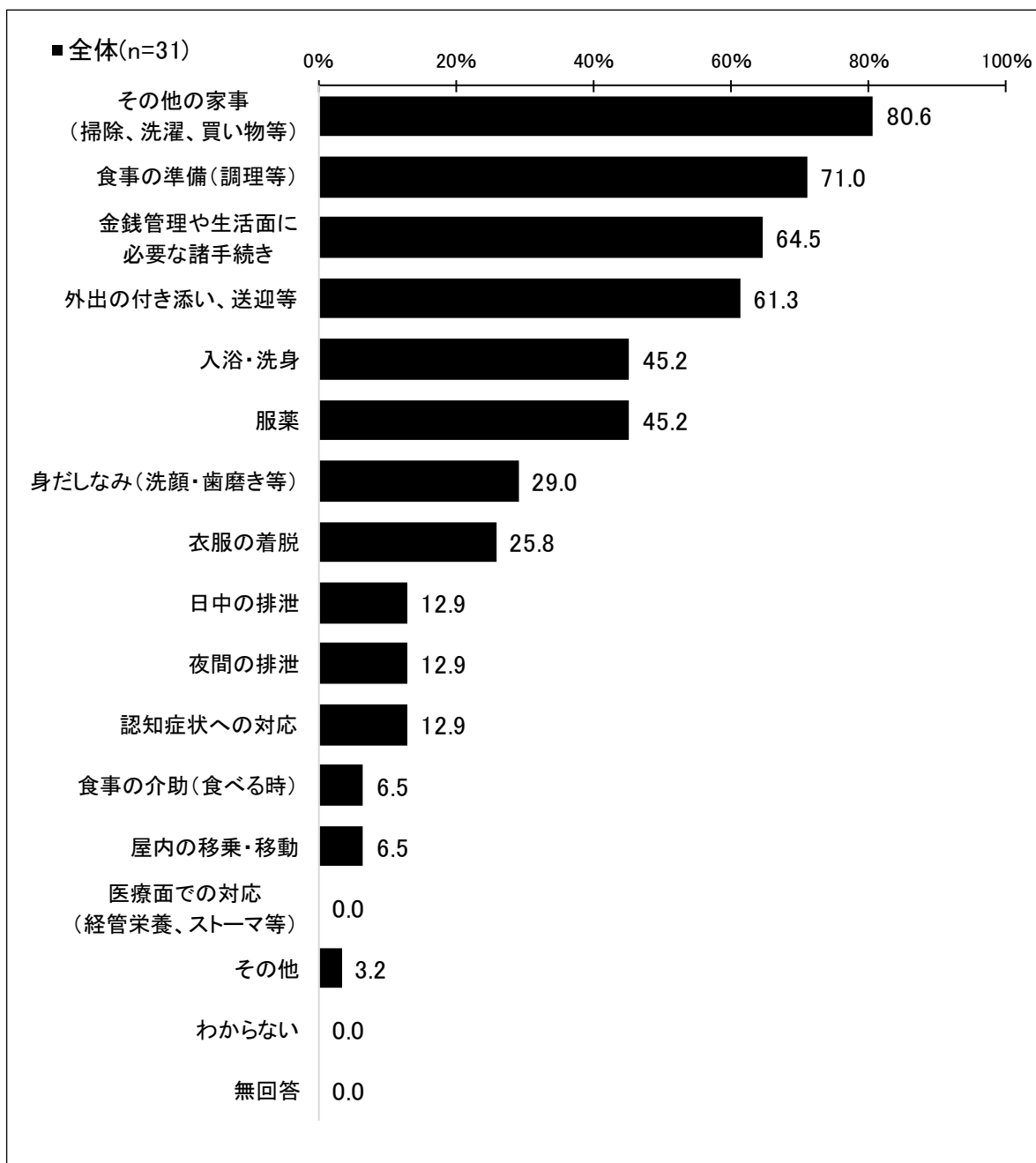
問4. 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。

主な介護者の方の年齢については、「50代」「70代」が同率29.0%で最も高く、次いで「60代」が22.6%、「80歳以上」が16.1%、「40代」が3.2%の順となっています。



問5. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。【複数選択可】

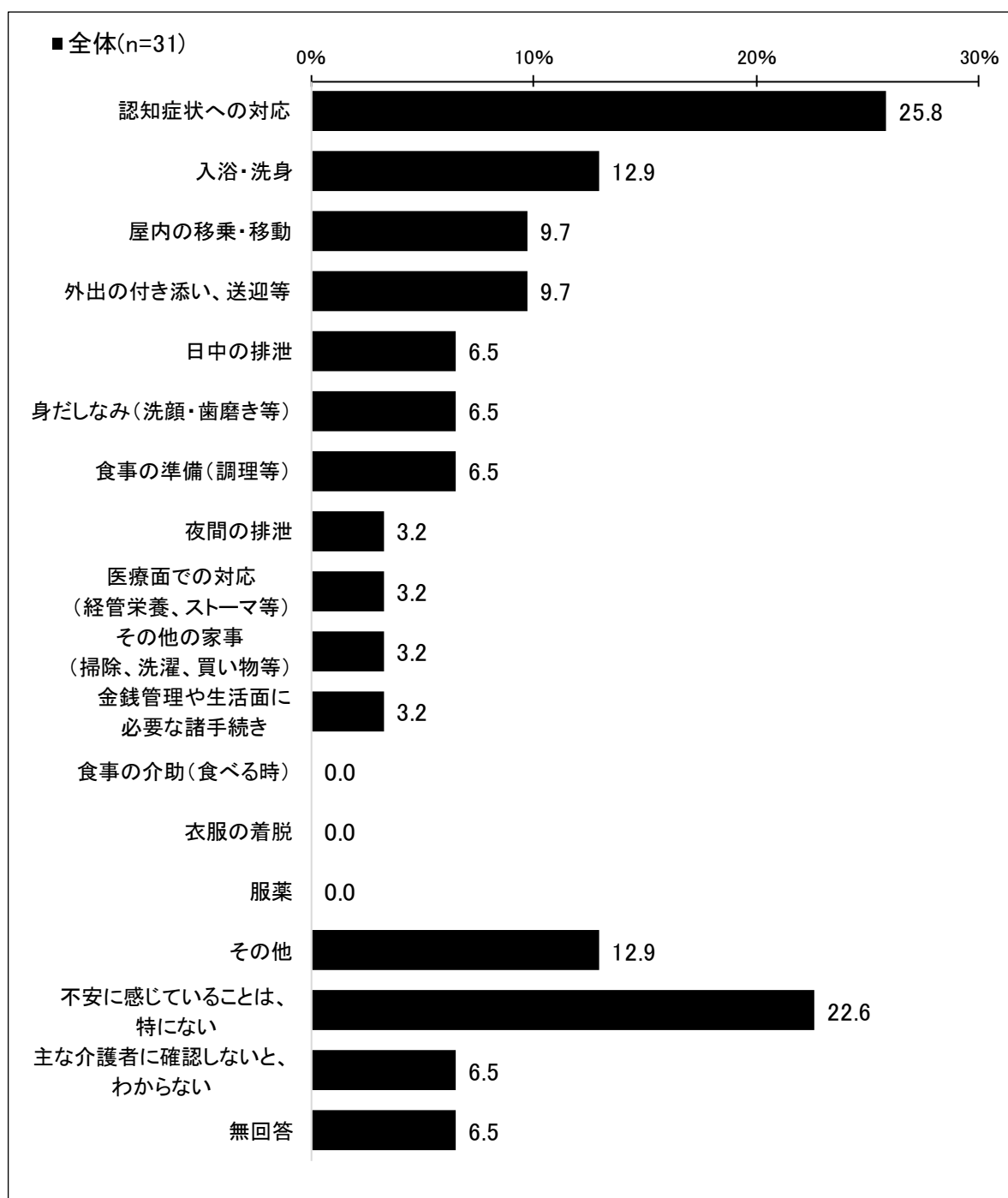
現在、主な介護者の方が行っている介護等については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が80.6%で最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が71.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が64.5%、「外出の付き添い、送迎等」が61.3%等の順となっています。



問6. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご解答ください。現状で行っているか否かは問いません。【3つまで選択可】

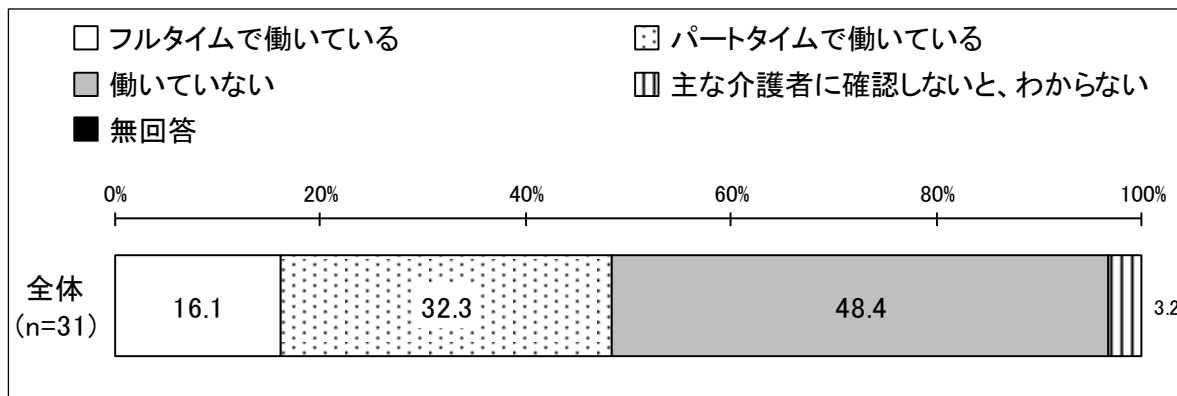
主な介護者の方が不安に感じる介護については、「認知症状への対応」が25.8%で最も高く、次いで「入浴・洗身」が12.9%、「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」が同率9.7%等の順となっています。

なお、「不安に感じていることは、特にない」は22.6%でした。



問7. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。

主な介護者の方の現在の勤務形態については、「働いていない」が48.4%で最も高く、次いで「パートタイムで働いている」が32.3%、「フルタイムで働いている」が16.1%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が3.2%の順となっています。

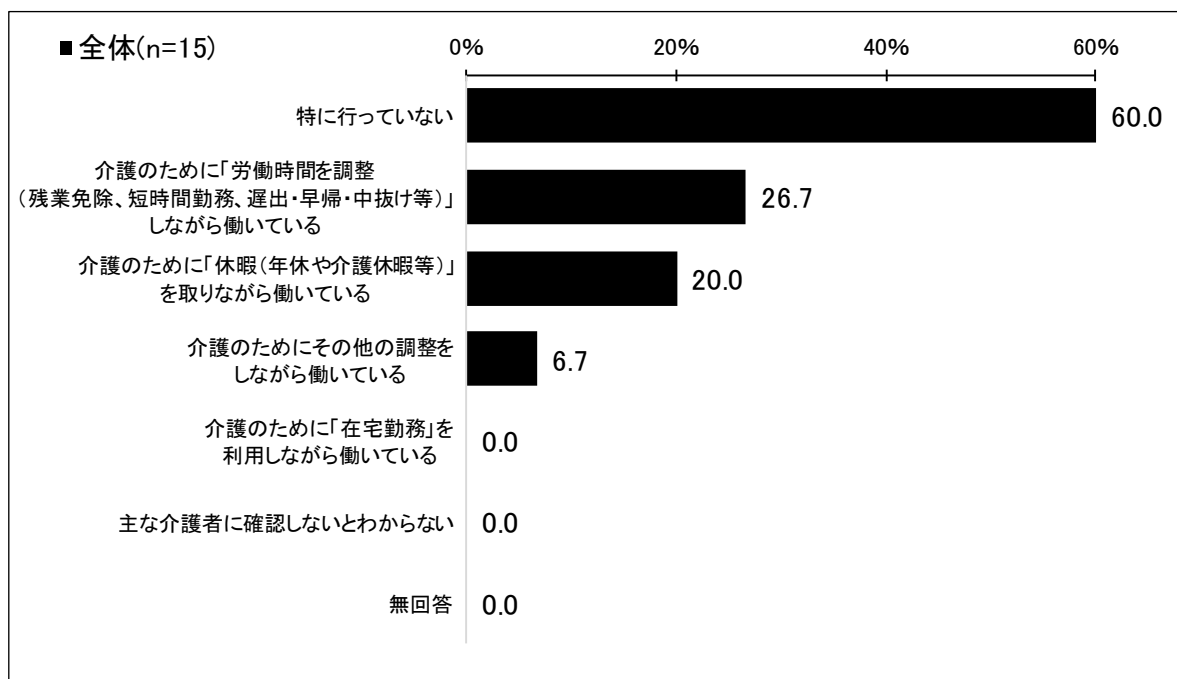


問8. 【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方について調整等をしていますか。

【複数選択可】

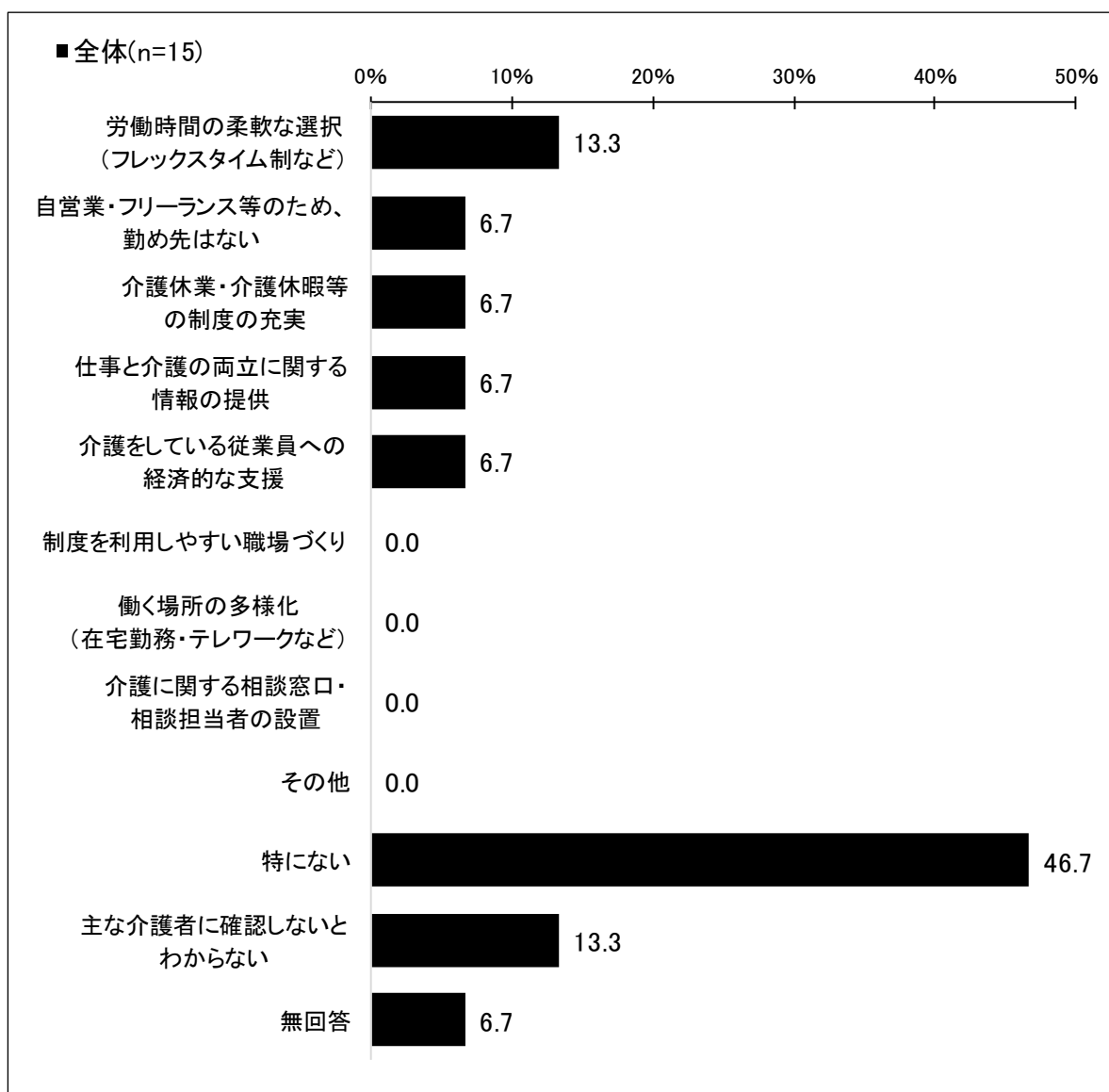
介護者の働き方の調整については、「特に行っていない」が60.0%で最も高く、次いで「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」が26.7%、「介護のために「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら働いている」が20.0%、「介護のためにその他の調整をしながら働いている」が6.7%の順となっています。



問9. 【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】
 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。【3つまで選択可】

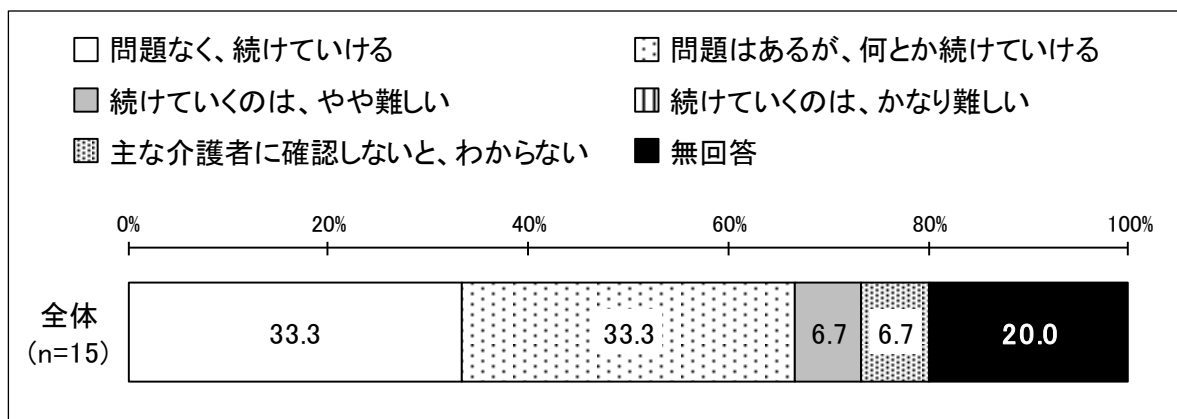
仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援については、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が13.3%で最も高く、次いで「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「仕事と介護の両立に関する情報の提供」「介護をしている従業員への経済的な支援」が同率6.7%の順となっています。

なお、「特にない」は46.7%でした。



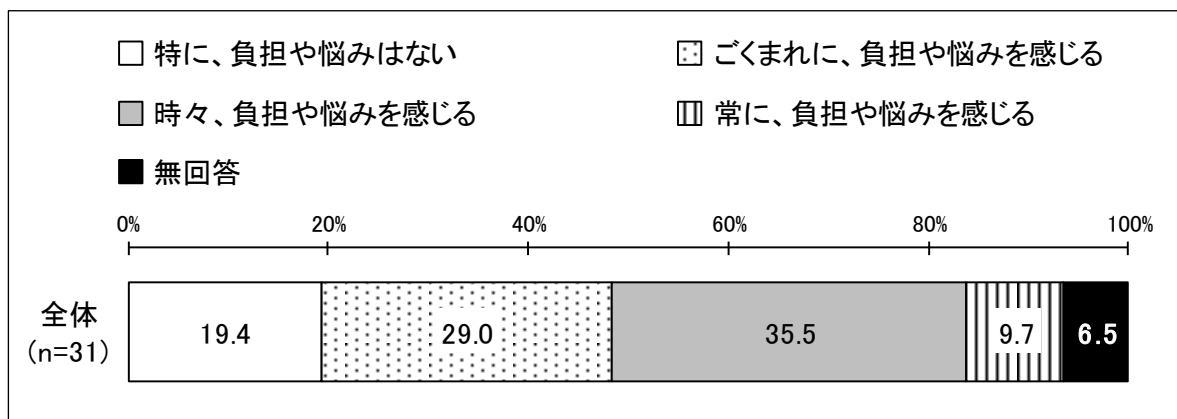
問10. 【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】
主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

今後も働きながら介護を続けていけそうかについては、「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」が同率 33.3%で最も高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」「主な介護者に確認しないと、わからない」が同率 6.7%の順となっています。



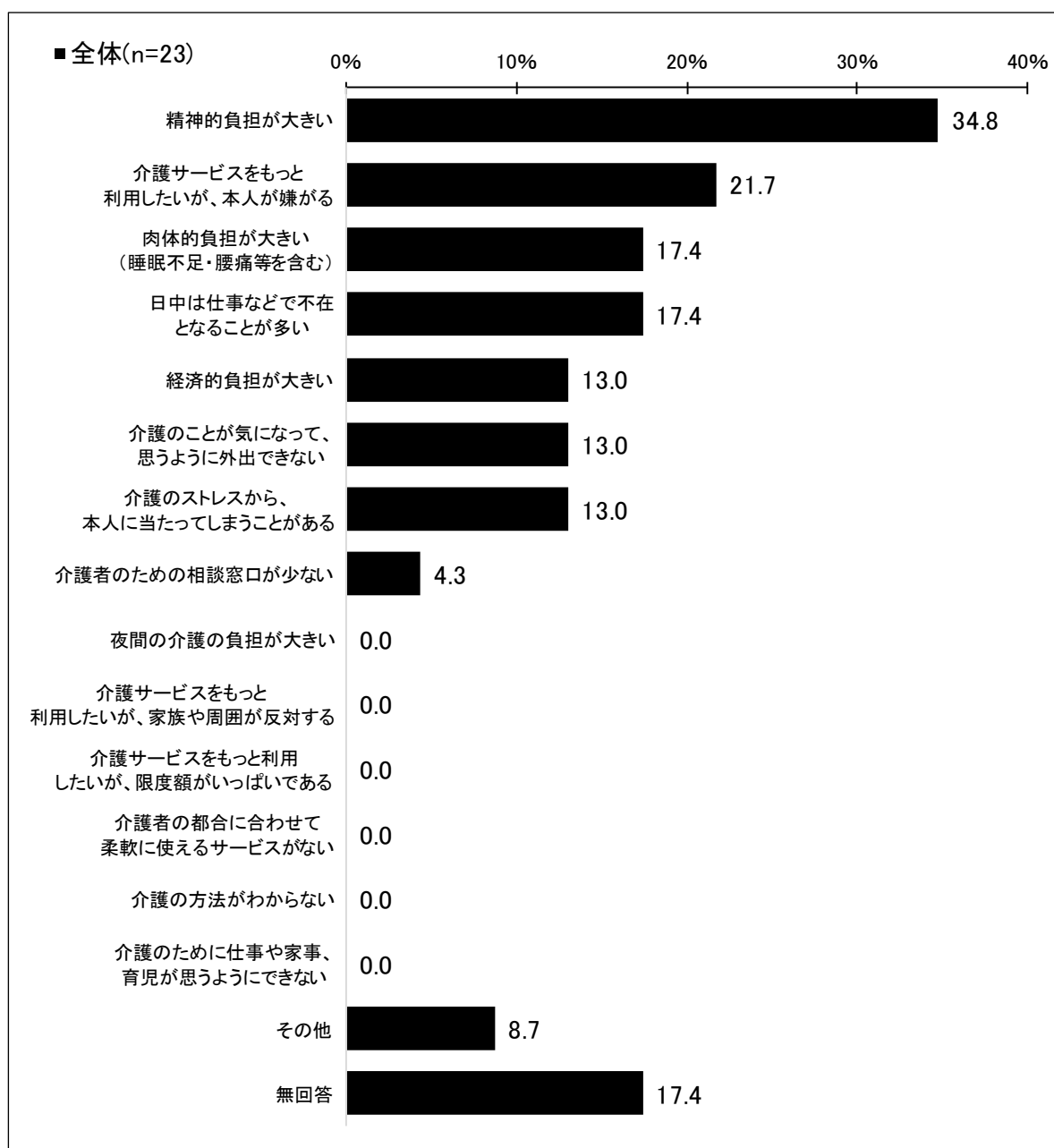
問11. 主な介護者の方は、介護の負担や悩みを感じることがありますか。

介護の負担や悩みを感じることがあるかについては、「時々、負担や悩みを感じる」が 35.5%で最も高く、次いで「ごくまれに、負担や悩みを感じる」が 29.0%、「特に、負担や悩みはない」が 19.4%、「常に、負担や悩みを感じる」が 9.7%の順となっています。



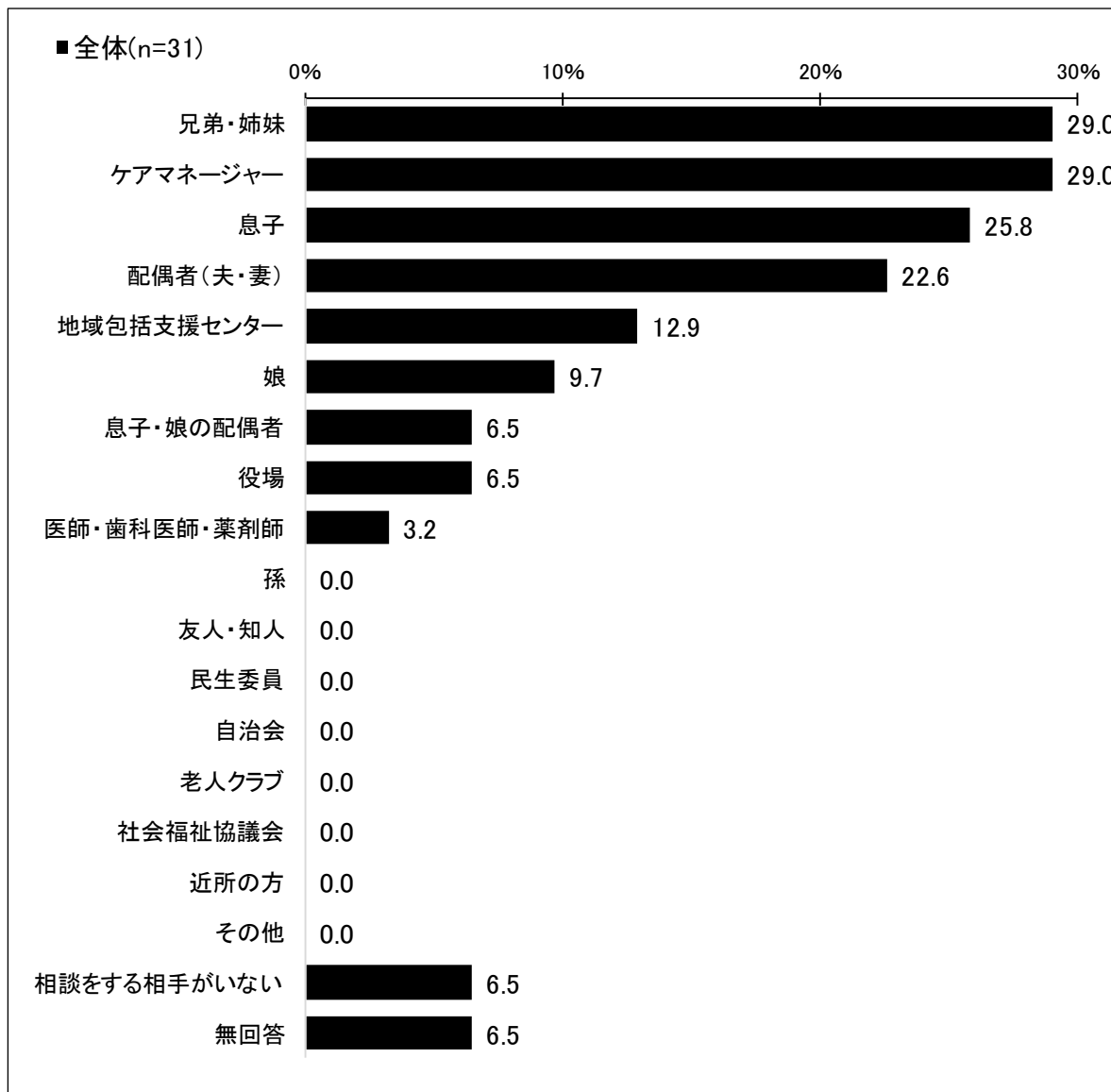
問12. 【問11で「ごくまれに、負担や悩みを感じる」「時々、負担や悩みを感じる」「常に、負担や悩みを感じる」と回答した方にお伺いします】
介護を行う上での負担や悩みは何ですか。【3つまで選択可】

介護を行う上での負担や悩みについては、「精神的負担が大きい」が34.8%で最も高く、次いで「介護サービスをもっと利用したいが、本人が嫌がる」が21.7%、「肉体的負担が大きい（睡眠不足・腰痛等を含む）」「日中は仕事などで不在となることが多い」が同率17.4%等の順となっています。



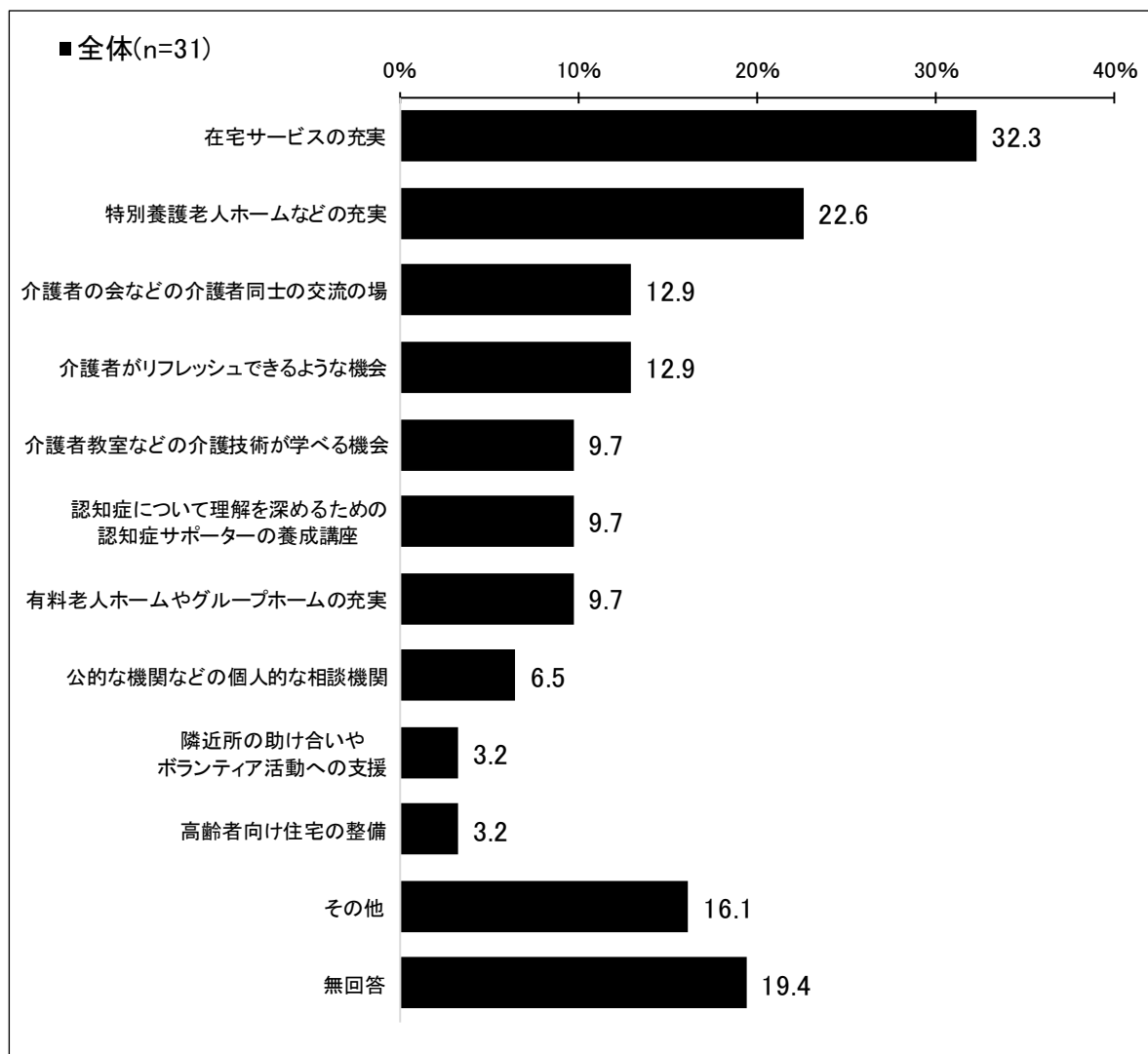
問13. 主な介護者の方は、日常生活や健康のことなどで困った時、どなたに協力を頼んだり、相談されたりしますか。【複数選択可】

日常生活のことなどで困った時に協力をたのむ人については、「兄弟・姉妹」「ケアマネージャー」が同率 29.0%で最も高く、次いで「息子」が 25.8%、「配偶者（夫・妻）」が 22.6%、「地域包括支援センター」が 12.9%等の順となっています。



問14. 主な介護者の方が、介護支援として充実を望むことは何ですか。【3つまで選択可】

介護支援として充実を望むことについては、「在宅サービスの充実」が32.3%で最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの充実」が22.6%、「介護者の会などの介護者同士の交流の場」「介護者がリフレッシュできるような機会」が同率12.9%等の順となっています。

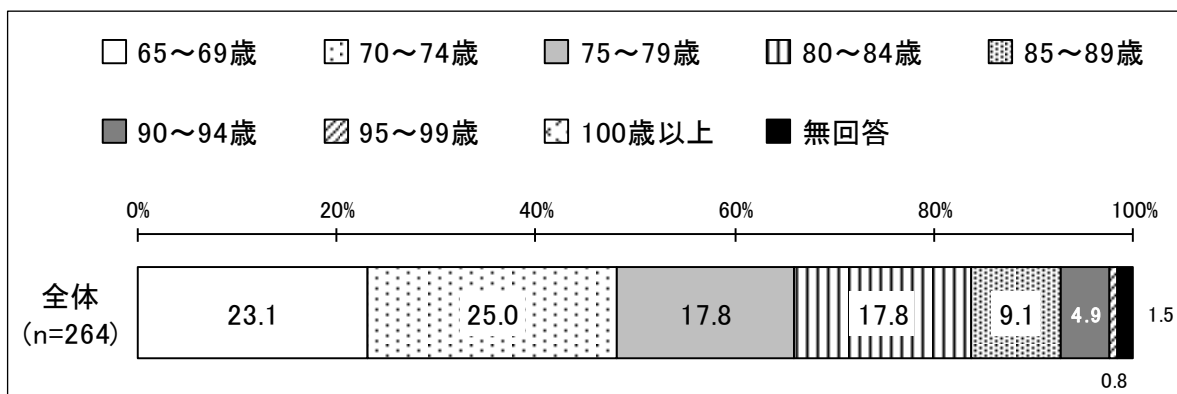


第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

1. ご本人の家族や生活状況について

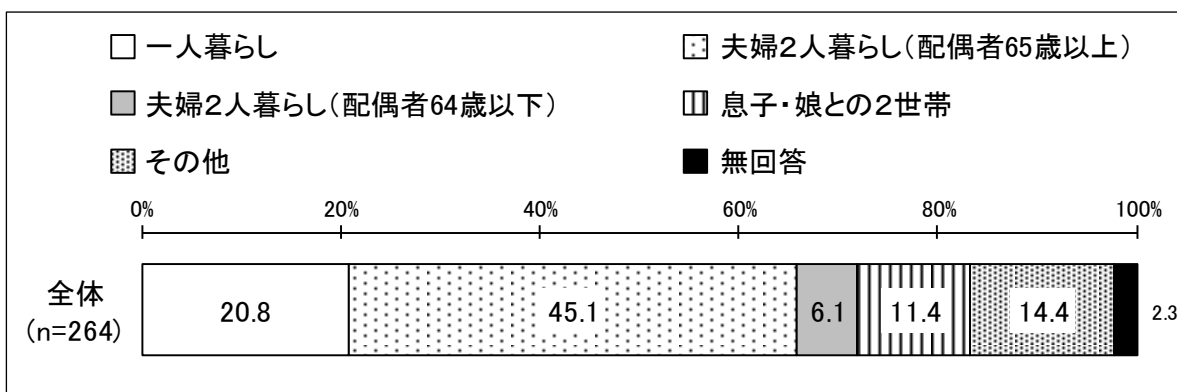
年齢

年齢は、「70～74歳」が25.0%で最も高く、次いで「65～69歳」が23.1%、「75～79歳」「80～84歳」が同率17.8%等の順となっています。



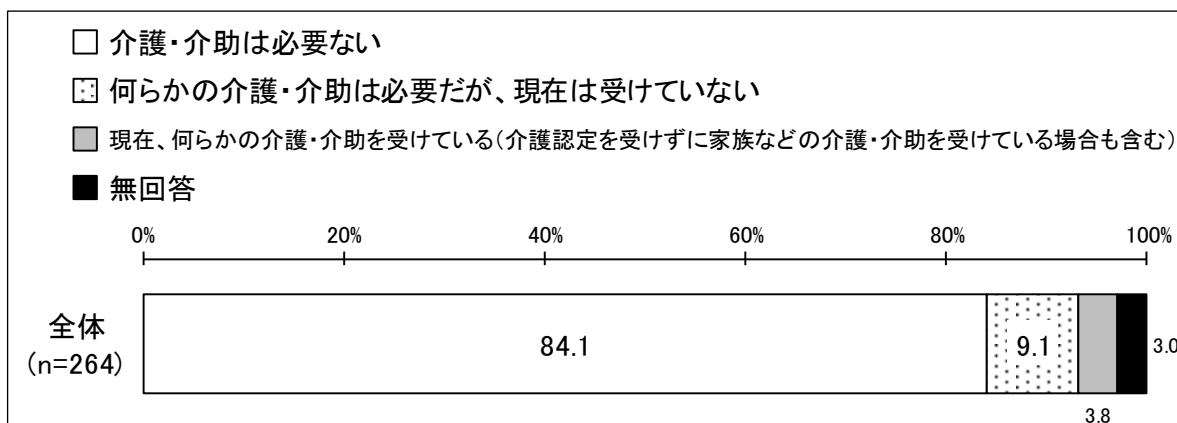
問1. 家族構成をお教えてください。

家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が45.1%で最も高く、次いで「一人暮らし」が20.8%、「息子・娘との2世帯」が11.4%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が6.1%等の順となっています。



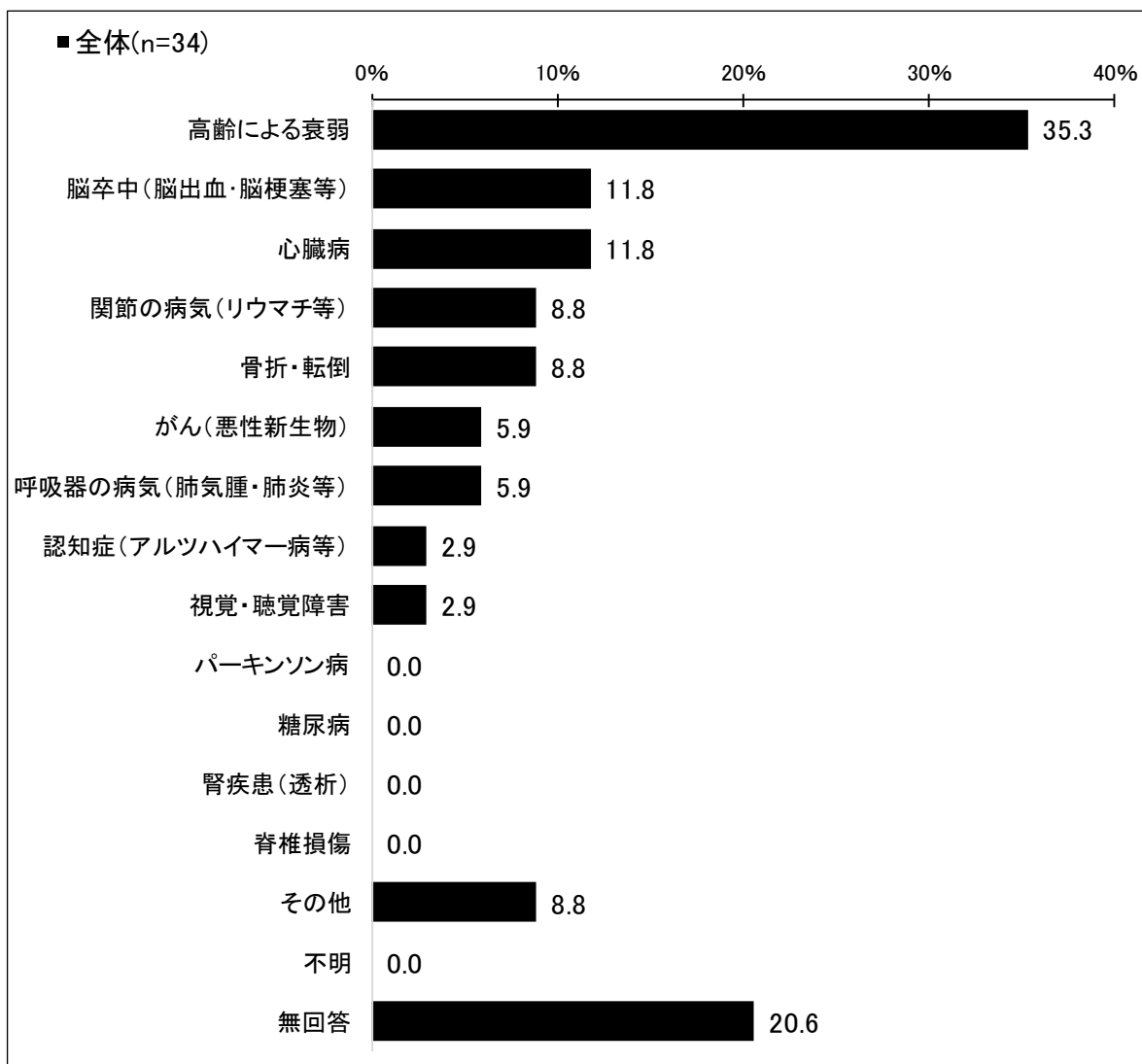
問2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

介護等の必要性については、「介護・介助は必要ない」が84.1%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が9.1%、「現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む）」が3.8%の順となっています。



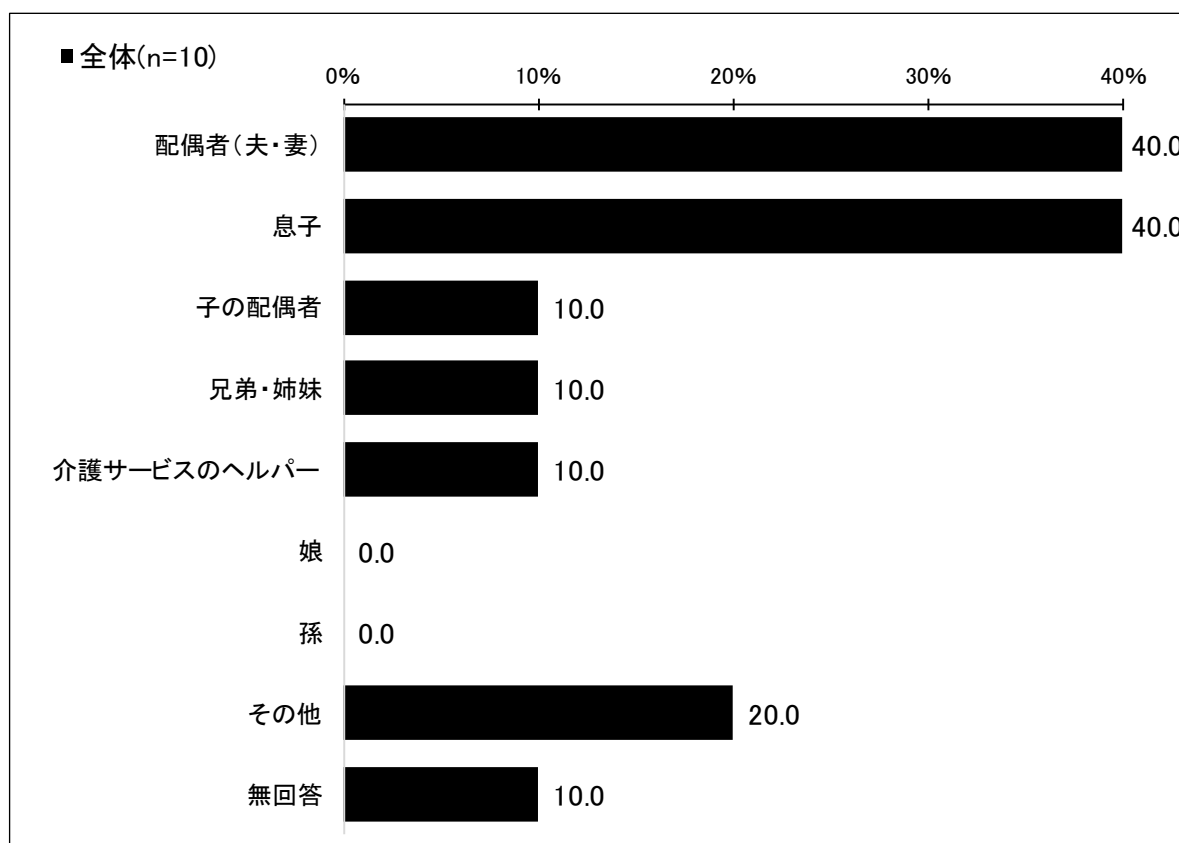
問3-1. 【問2において「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む）」と回答した方にお伺いします】
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。【複数回答可】

介護等が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」が35.3%で最も高く、次いで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「心臓病」が同率11.8%、「関節の病気（リウマチ等）」「骨折・転倒」が同率8.8%等の順となっています。



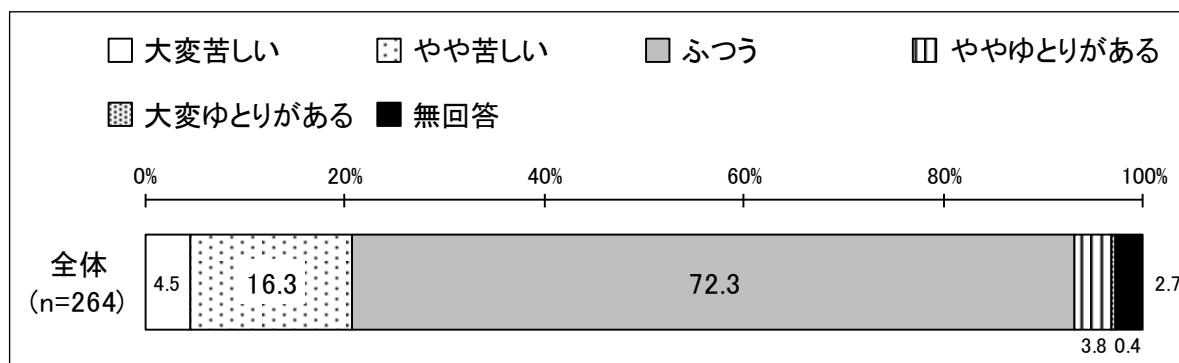
問3-2. 【問2において「現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む）」と回答した方にお伺いします】
主にどなたの介護・介助を受けていますか。【複数回答可】

主な介助者については、「配偶者（夫・妻）」「息子」が同率 40.0%で最も高く、次いで「子の配偶者」「兄弟・姉妹」「介護サービスのヘルパー」が同率 10.0%となっています。



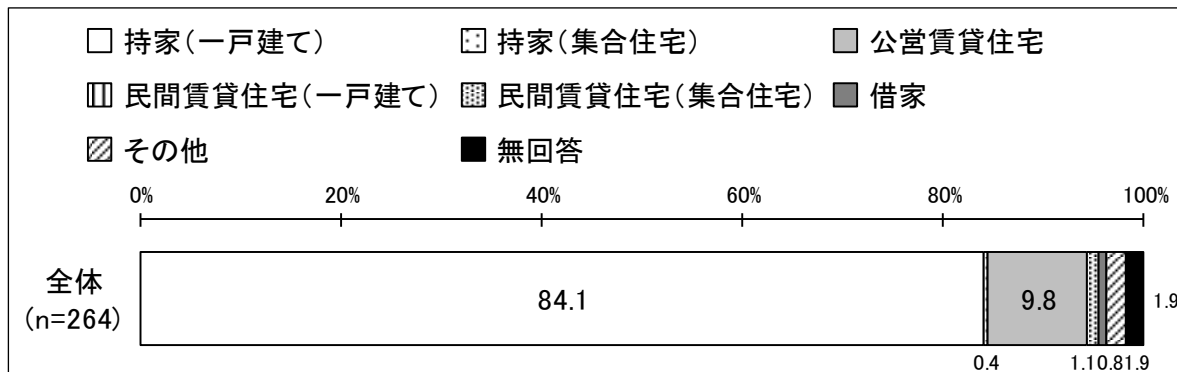
問4. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

暮らしの経済的状況については、「ふつう」が 72.3%で最も高く、次いで「やや苦しい」が 16.3%、「大変苦しい」が 4.5%、「ややゆとりがある」が 3.8%、「大変ゆとりがある」が 0.4%となっています。



問5. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

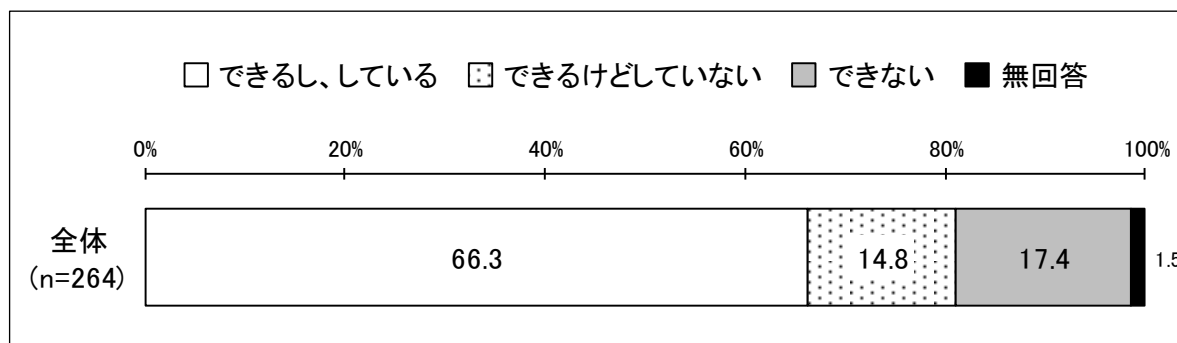
住まいについては、「持家（一戸建て）」が84.1%で最も高く、次いで「公営賃貸住宅」が9.8%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が1.1%等の順となっています。



2. からだ動かすことについて

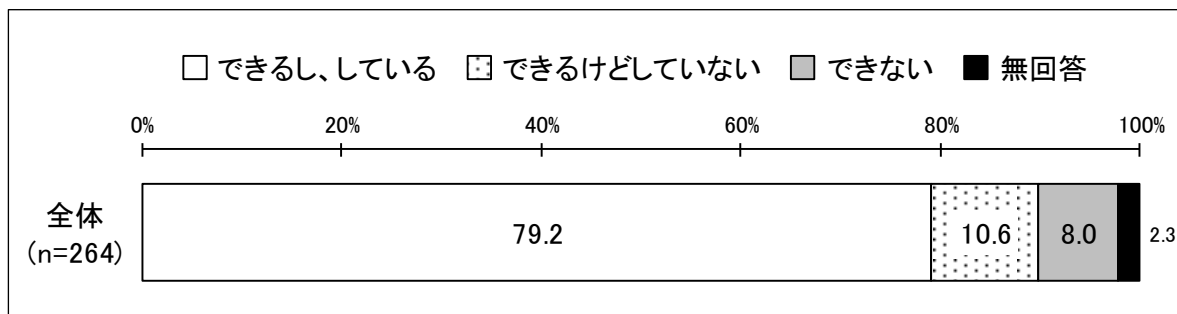
問1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

階段の昇りについては、「できるし、している」が66.3%で最も高く、次いで「できない」が17.4%、「できるけどしていない」が14.8%の順となっています。



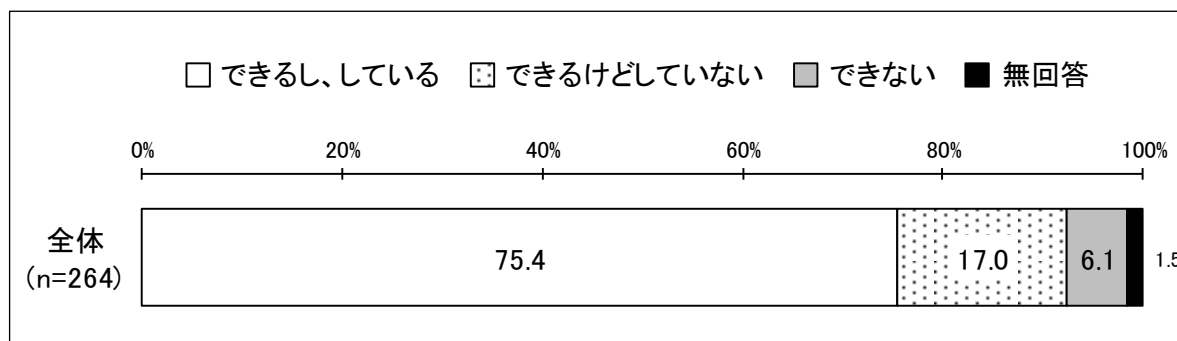
問2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

椅子からの立ち上がりについては、「できるし、している」が79.2%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が10.6%、「できない」が8.0%の順となっています。



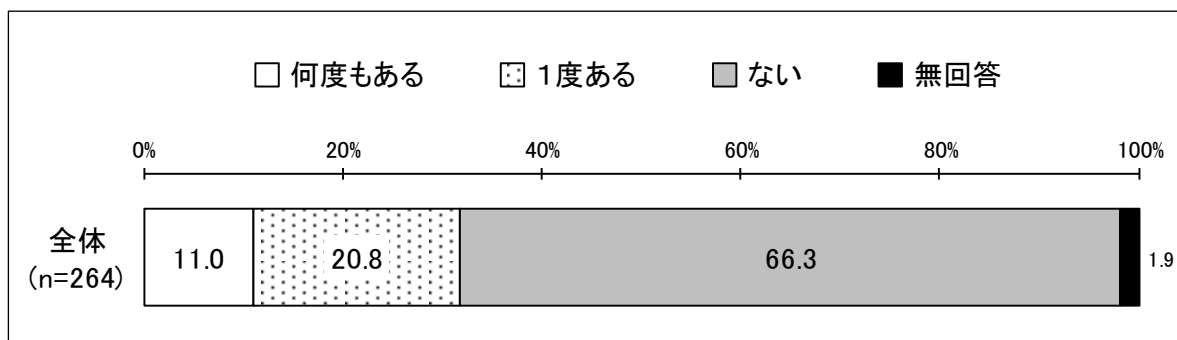
問3. 15分位続けて歩いていますか。

15分の継続的歩行については、「できるし、している」が75.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が17.0%、「できない」が6.1%の順となっています。



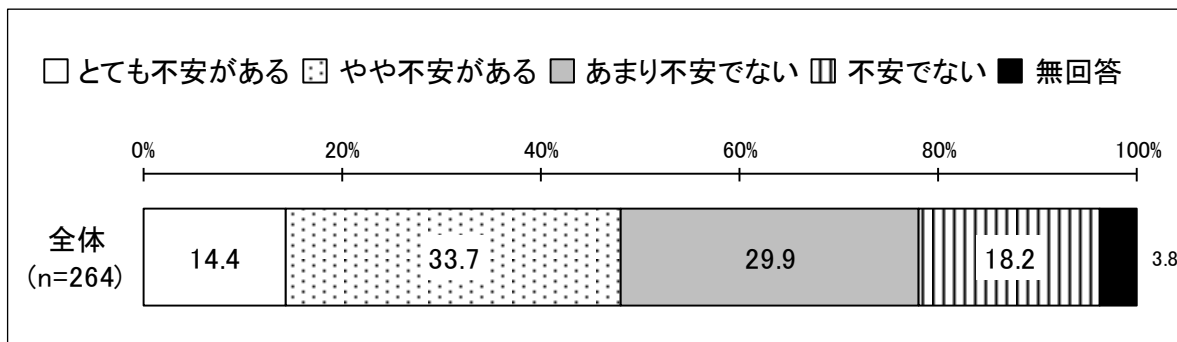
問4. 過去1年間に転んだ経験がありますか。

過去1年間の転倒経験については、「ない」が66.3%で最も高く、次いで「1度ある」が20.8%、「何度もある」が11.0%の順となっています。



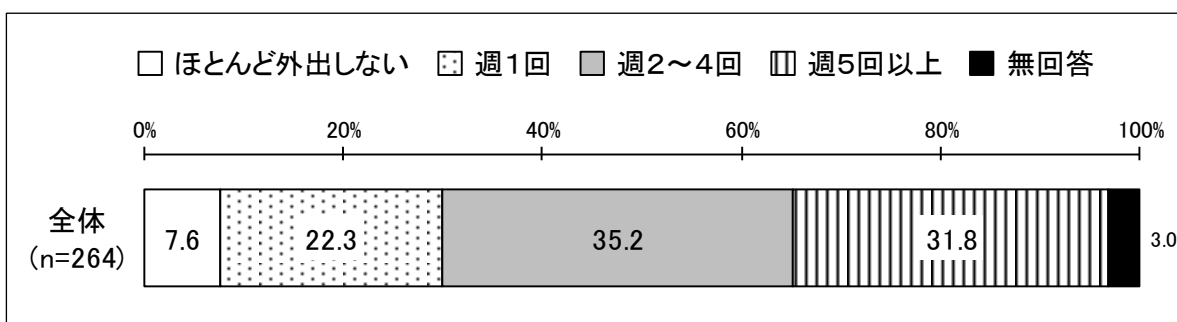
問5. 転倒に対する不安は大きいですか。

転倒に対する不安については、「やや不安がある」が33.7%で最も高く、次いで「あまり不安でない」が29.9%、「不安でない」が18.2%、「とても不安がある」が14.4%の順となっています。



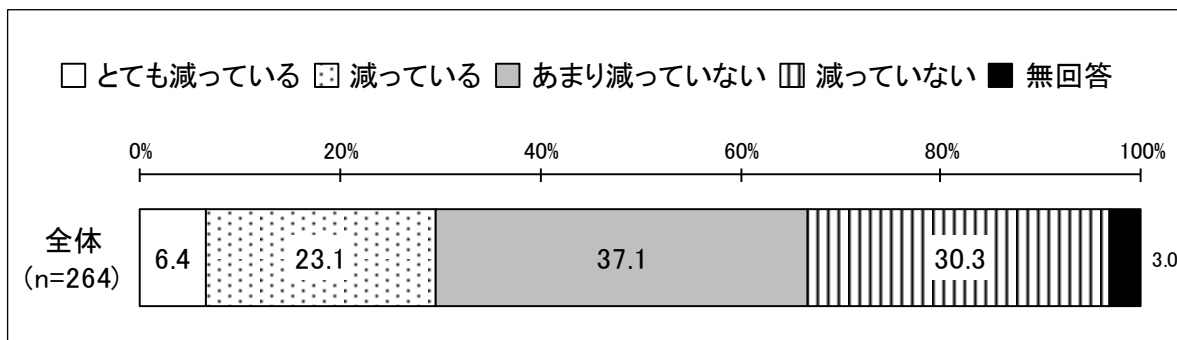
問6. 週に1回以上は外出していますか。

週1回以上の外出については、「週2～4回」が35.2%で最も高く、次いで「週5回以上」が31.8%、「週1回」が22.3%、「ほとんど外出しない」が7.6%の順となっています。



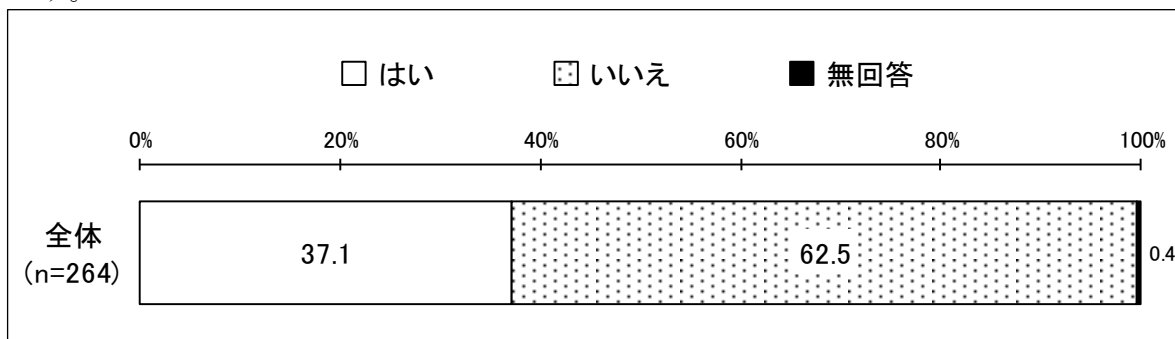
問7. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

昨年と比べ外出回数の減少については、「あまり減っていない」が37.1%で最も高く、次いで「減っていない」が30.3%、「減っている」が23.1%、「とても減っている」が6.4%の順となっています。



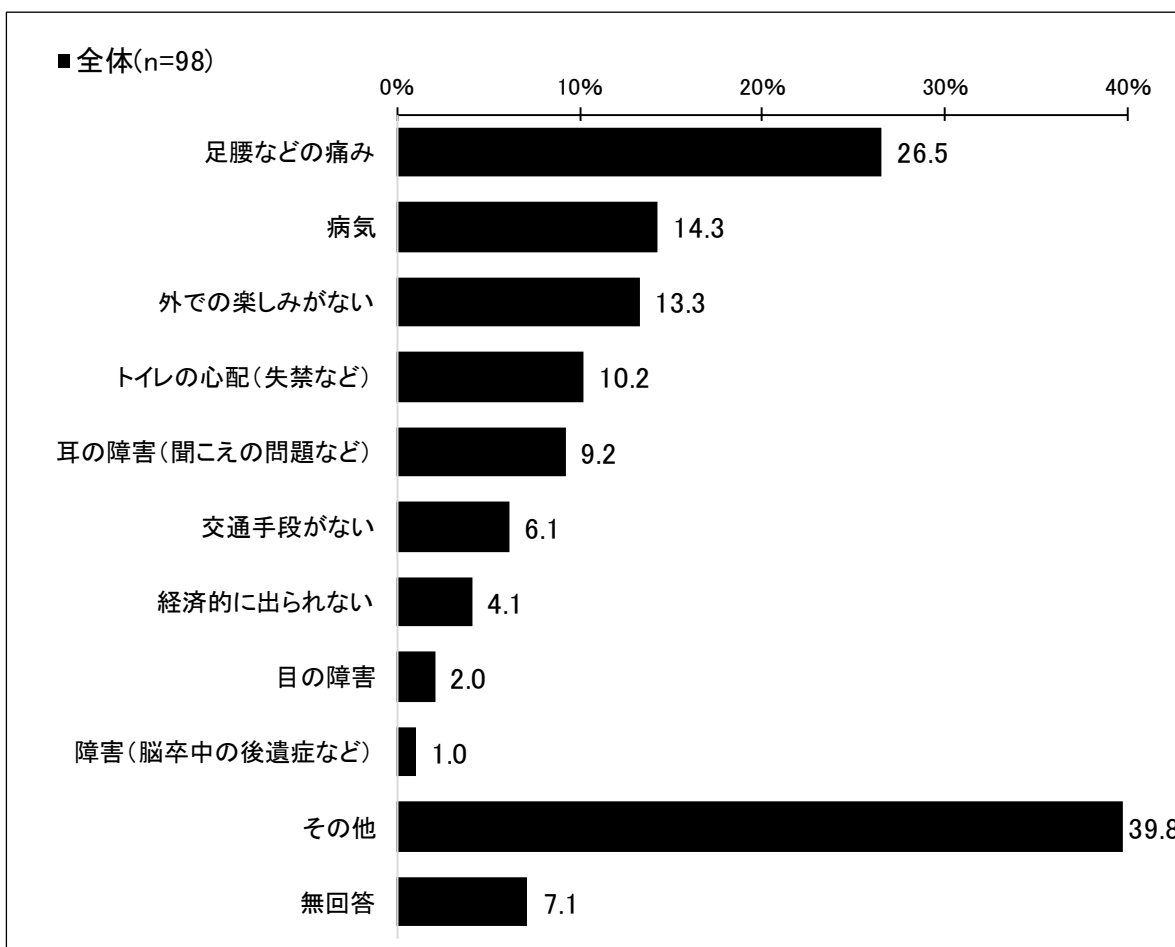
問8. 外出を控えていますか。

外出を控えているかについては、「はい」が37.1%、「いいえ」が62.5%となっています。



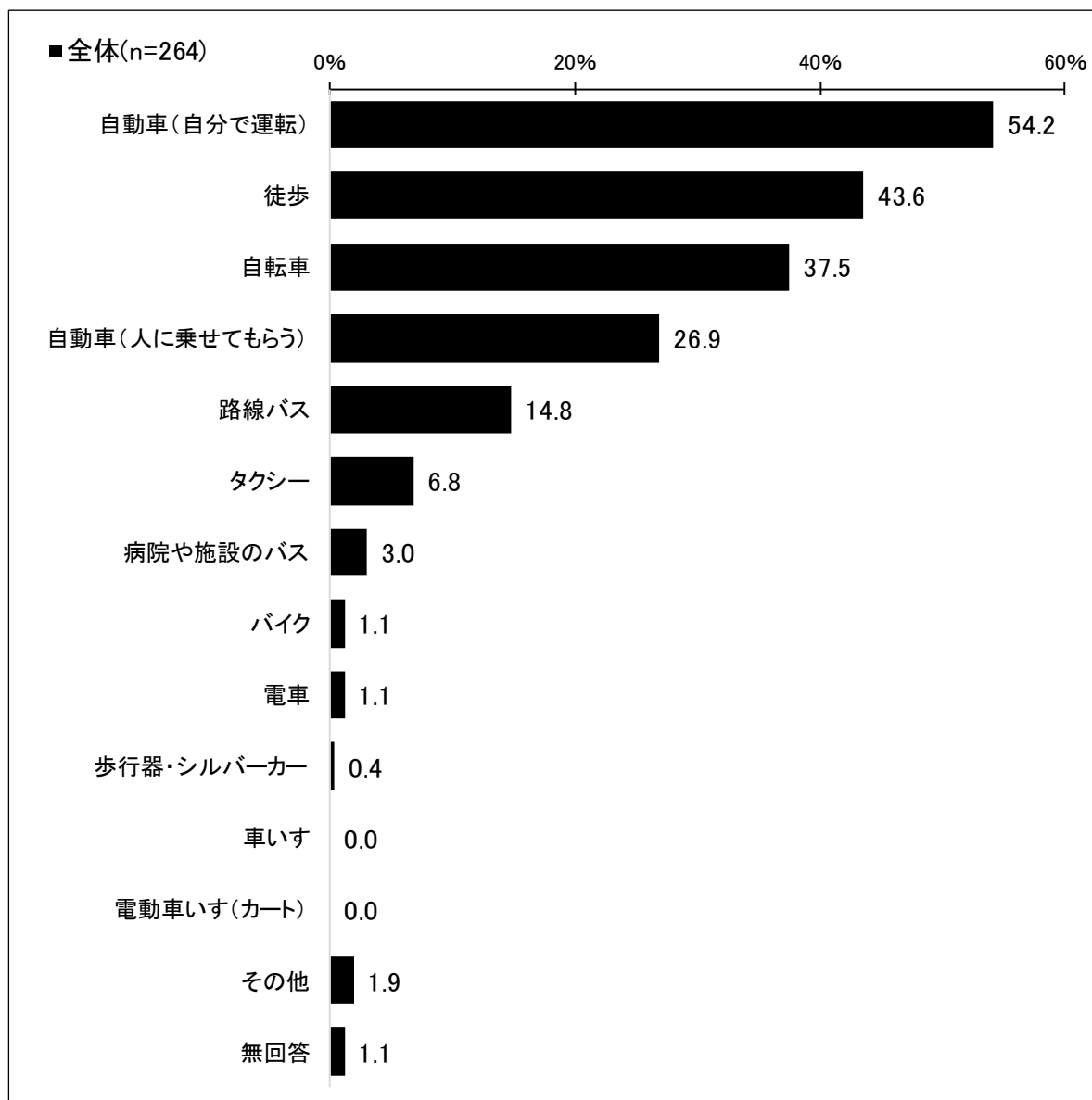
問9. 【問8で「外出を控えている」と回答した方にお伺いします】 外出を控えている理由は、次のどれですか。【複数回答可】

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が26.5%で最も高く、次いで「病気」が14.3%、「外での楽しみがない」が13.3%、「トイレの心配（失禁など）」が10.2%等の順となっています。



問10. 外出する際の移動手段は何ですか。【複数回答可】

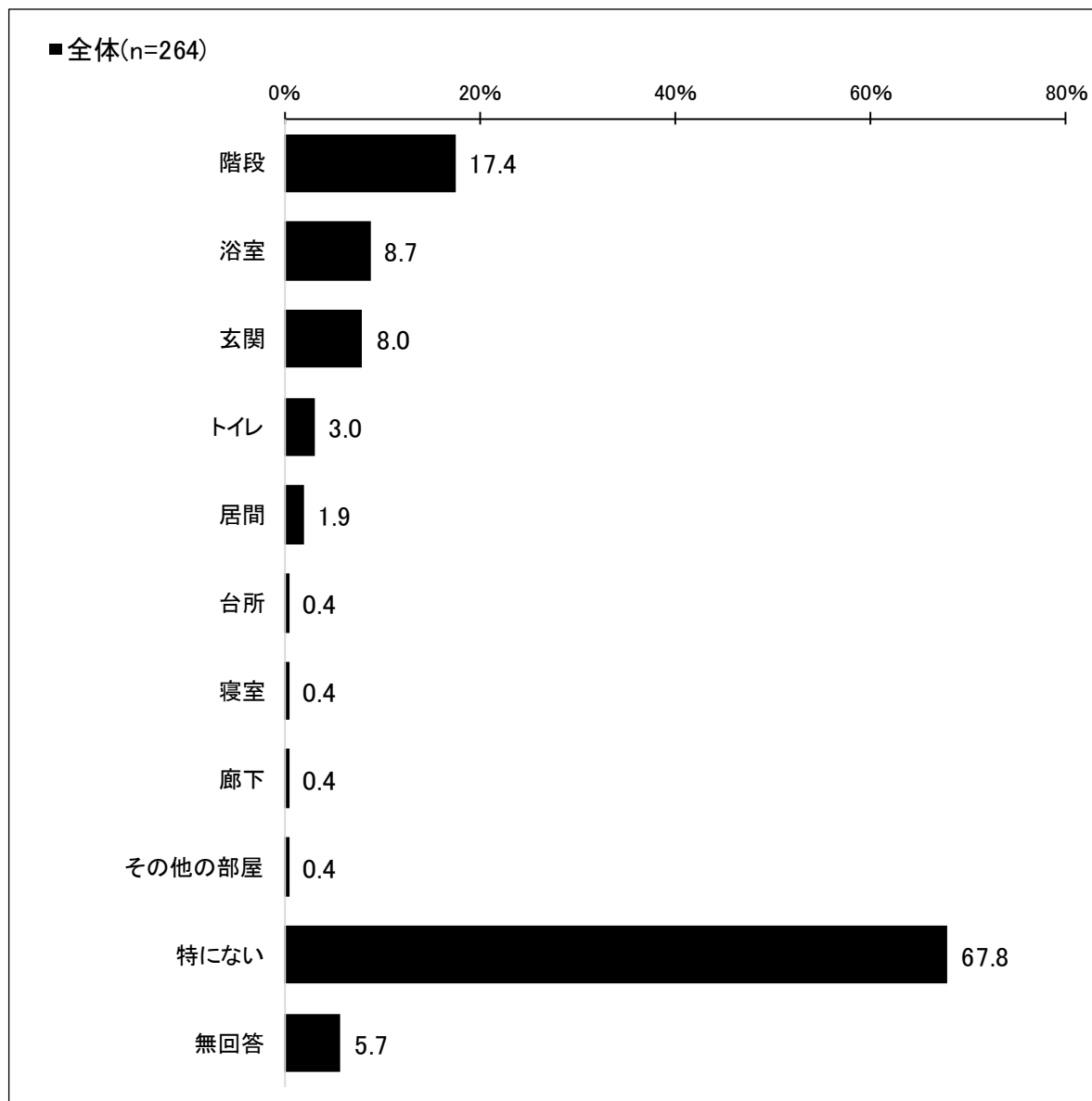
外出の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が 54.2%で最も高く、次いで「徒歩」が 43.6%、「自転車」が 37.5%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 26.9%、「路線バス」が 14.8%等の順となっています。



問11. 住宅の中で移動するのがつらいと感じたり、転倒などが心配な場所がありますか。
【複数回答可】

住宅の中で心配な場所については、「階段」が17.4%で最も高く、次いで「浴室」が8.7%、「玄関」が8.0%、「トイレ」が3.0%等の順となっています。

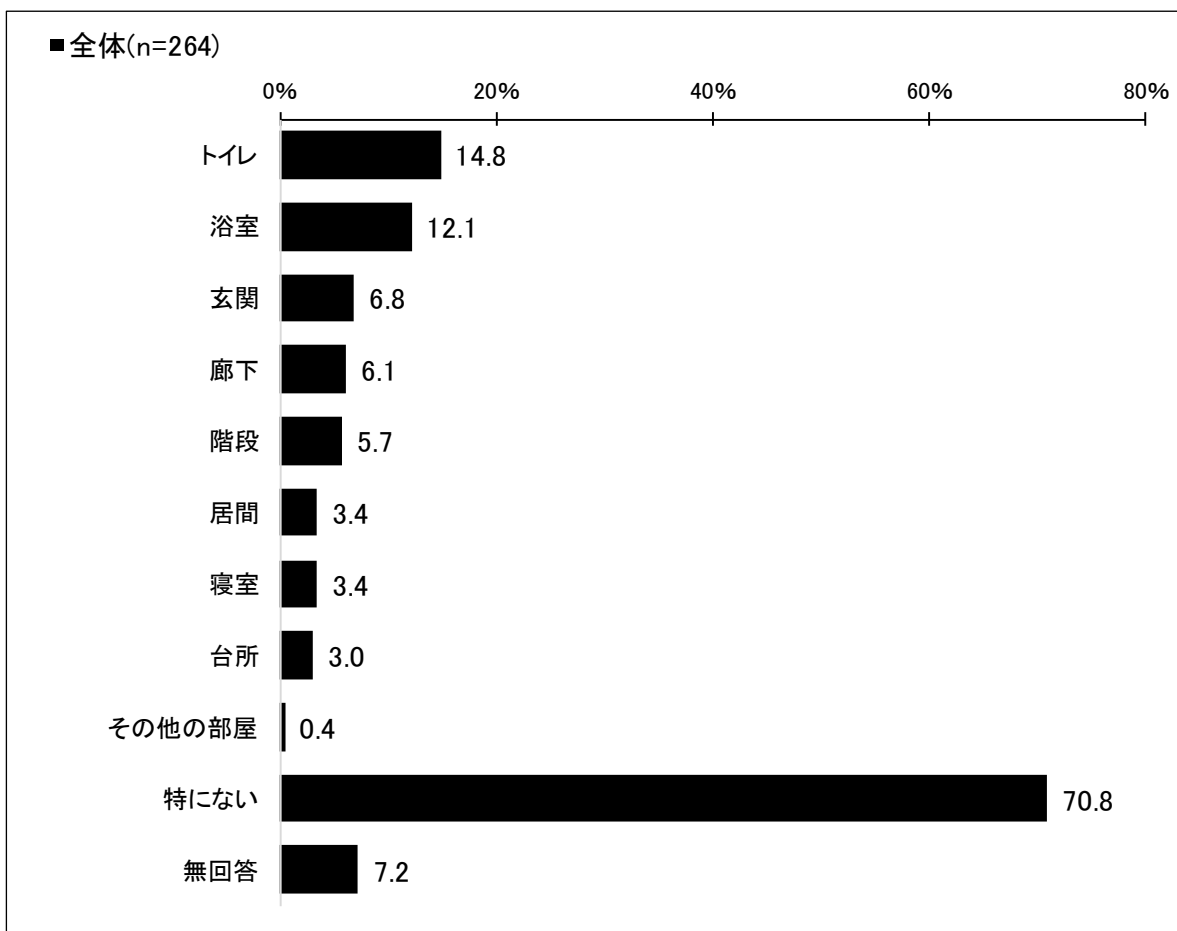
なお、「特にない」は67.8%でした。



**問12. これまでにご自宅に高齢者対応（バリアフリー）改修をした場所がありますか。
【複数回答可】**

自宅で高齢者対応（バリアフリー）改修をした場所については、「トイレ」が14.8%で最も高く、次いで「浴室」が12.1%、「玄関」が6.8%、「廊下」が6.1%等の順となっています。

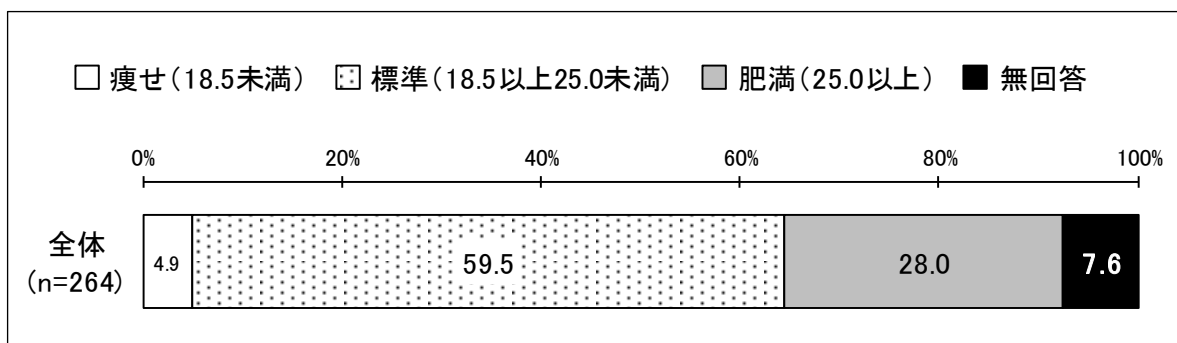
なお、「特にない」は70.8%でした。



3. 食べることについて

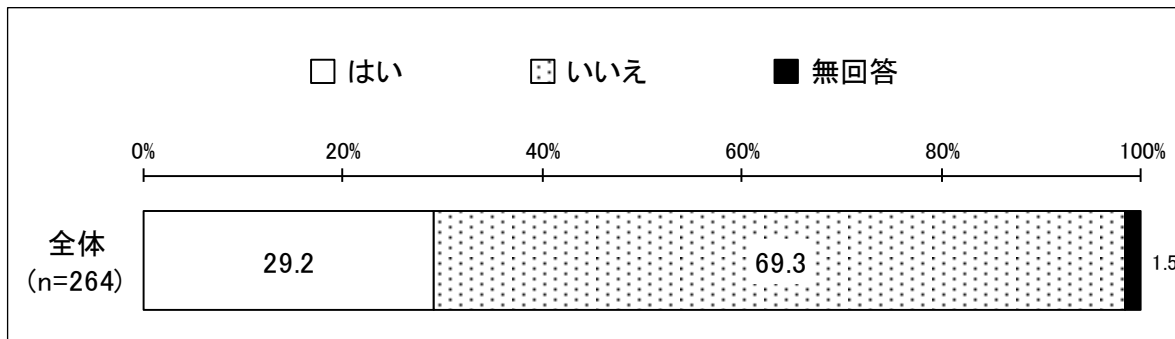
BMI

BMIについては、「標準（18.5以上25.0未満）」が59.5%で最も高く、次いで「肥満（25.0以上）」が28.0%、「痩せ（18.5未満）」が4.9%の順となっています。



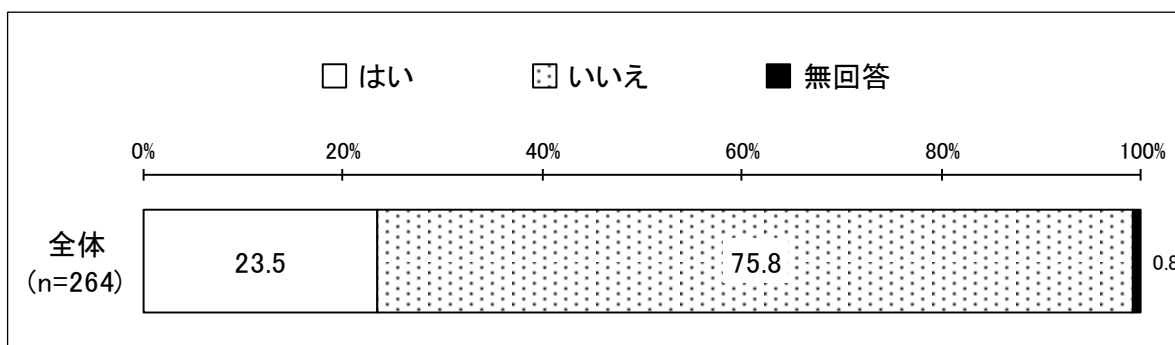
問1. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

半年前と比べ固いものが食べにくいかについては、「はい」が29.2%、「いいえ」が69.3%となっています。



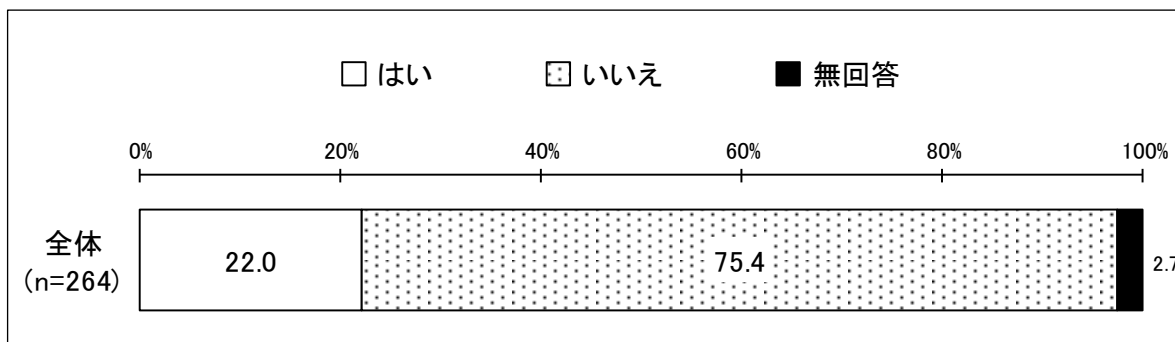
問2. お茶や汁物等でむせることがありますか。

お茶等でむせるかについては、「はい」が23.5%、「いいえ」が75.8%となっています。



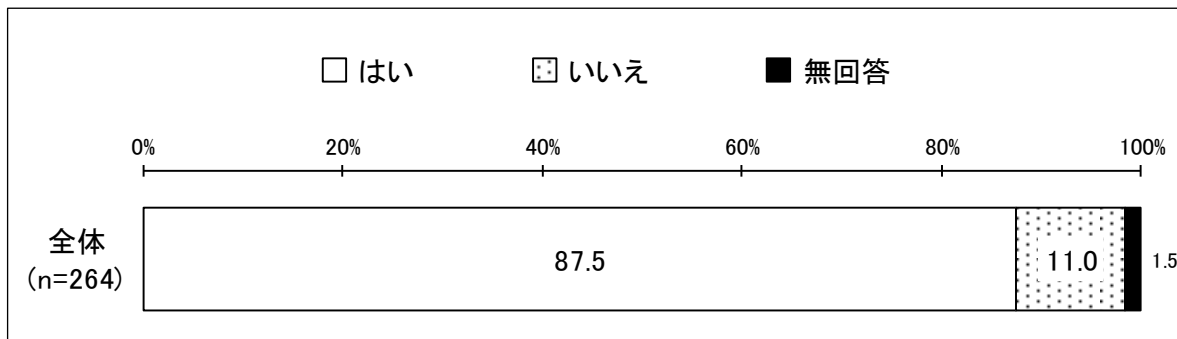
問3. 口の渇きが気になりますか。

口の渇きが気になるかについては、「はい」が22.0%、「いいえ」が75.4%となっています。



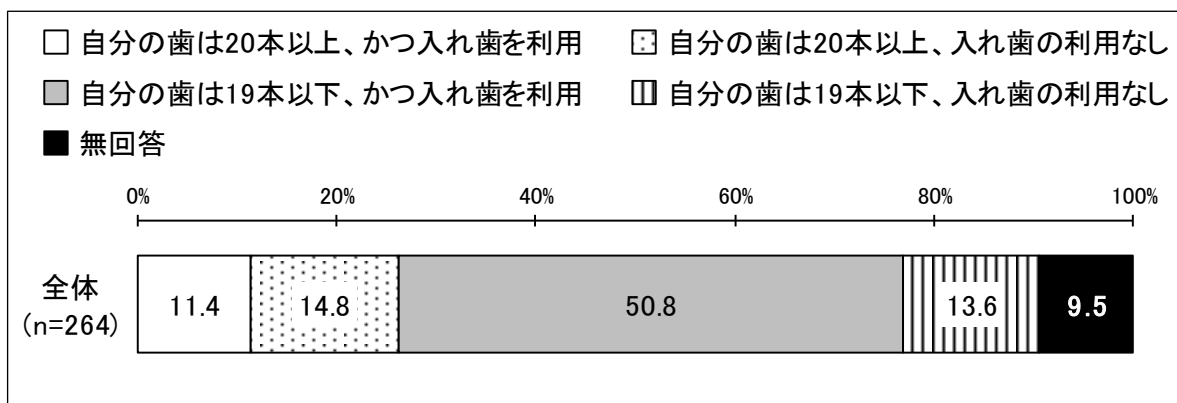
問4. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。

歯磨きを毎日しているかについては、「はい」が87.5%、「いいえ」が11.0%となっています。



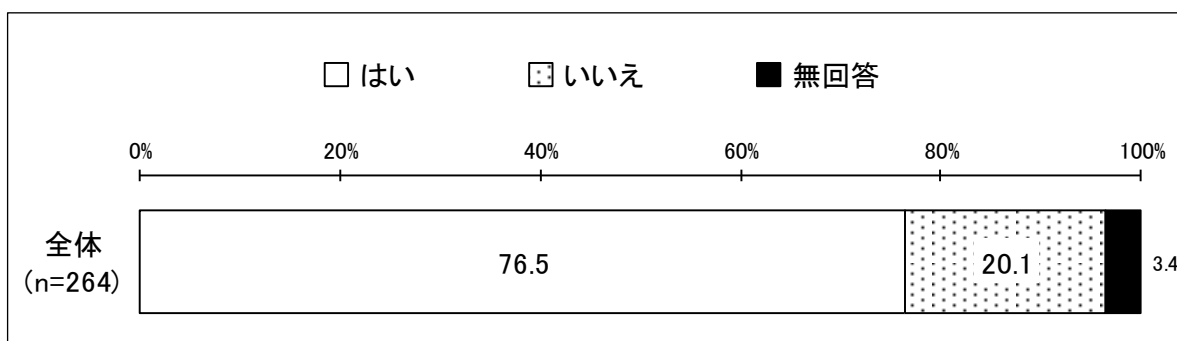
問5. 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が50.8%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が14.8%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が13.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が11.4%の順となっています。



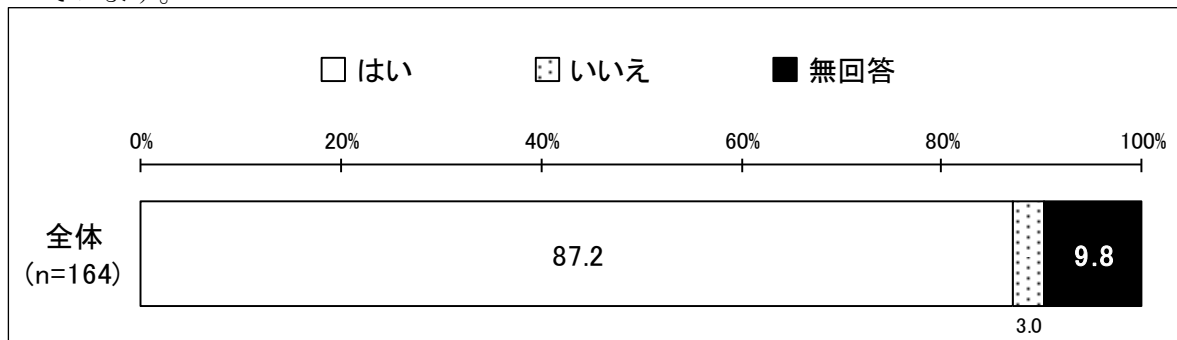
【問6-1】噛み合わせは良いですか。

噛み合わせのよさについては、「はい」が76.5%、「いいえ」が20.1%となっています。



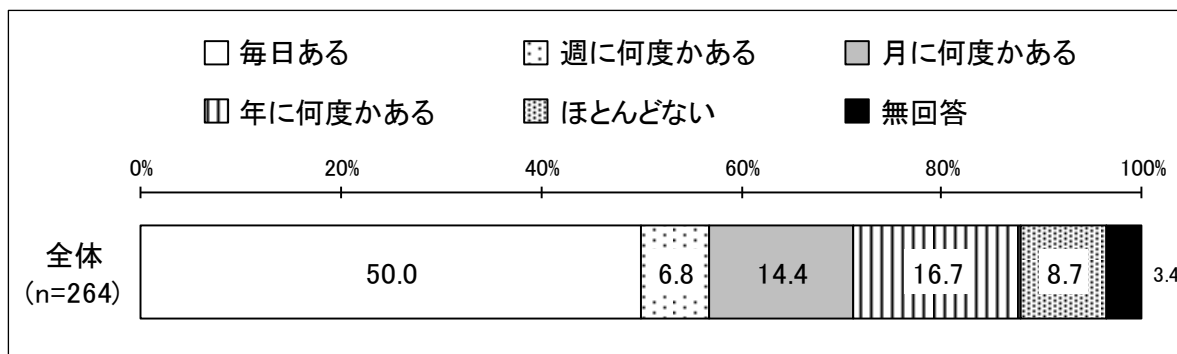
問6-2. 【問5で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方にお伺いします】
毎日入れ歯の手入れをしていますか。

毎日の入れ歯の手入れの有無については、「はい」が87.2%、「いいえ」が3.0%となっています。



問7. どなたかと食事をとる機会がありますか。

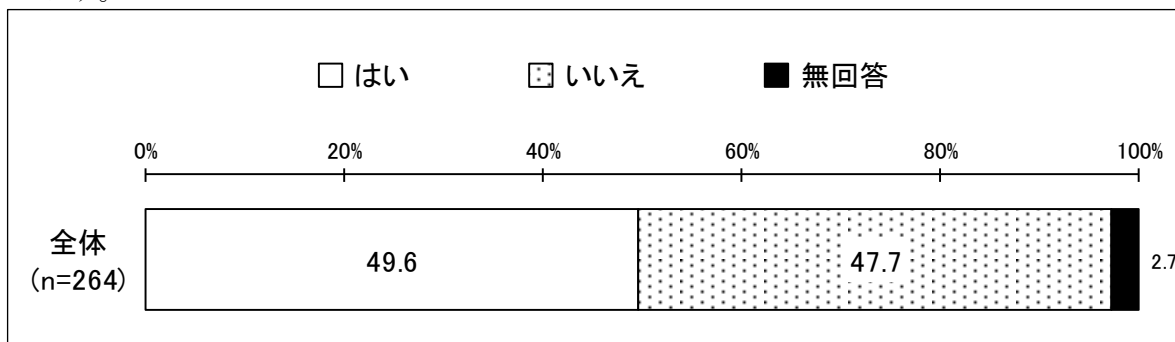
ともに食事する機会の有無については、「毎日ある」が50.0%で最も高く、次いで「年に何度かある」が16.7%、「月に何度かある」が14.4%、「ほとんどない」が8.7%、「週に何度かある」が6.8%の順となっています。



4. 毎日の生活について

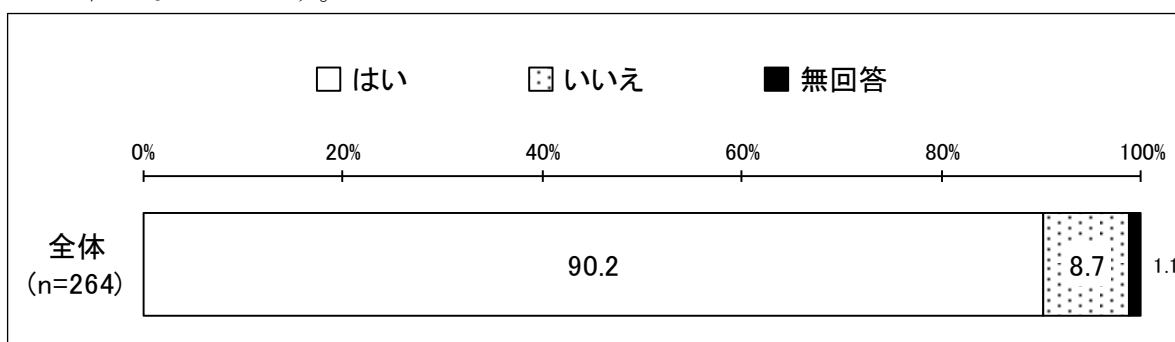
問1. 物忘れが多いと感じますか。

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が49.6%、「いいえ」が47.7%となっています。



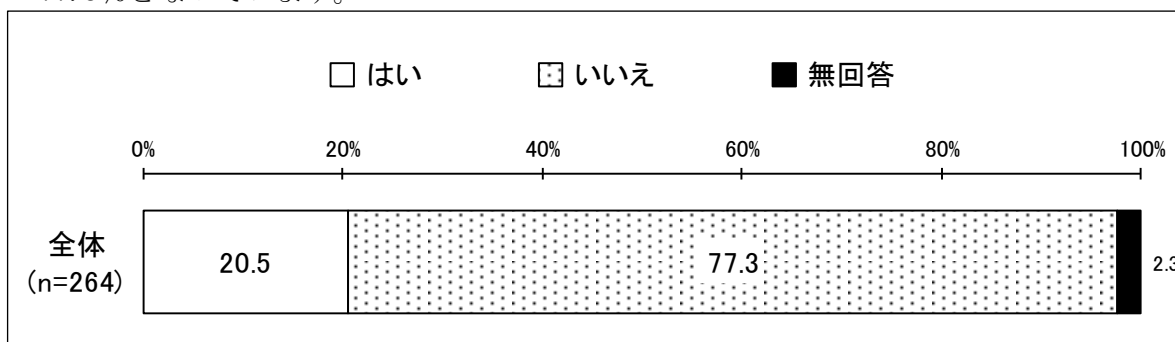
問2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

自分で番号を調べて電話をかけているかについては、「はい」が90.2%、「いいえ」が8.7%となっています。



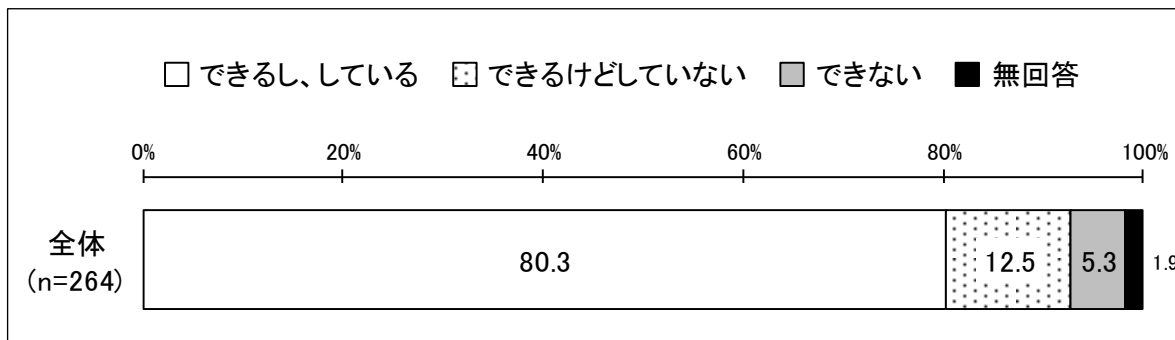
問3. 今日が何月何日かわからない時がありますか。

今日が何月何日かわからない時があるかについては、「はい」が20.5%、「いいえ」が77.3%となっています。



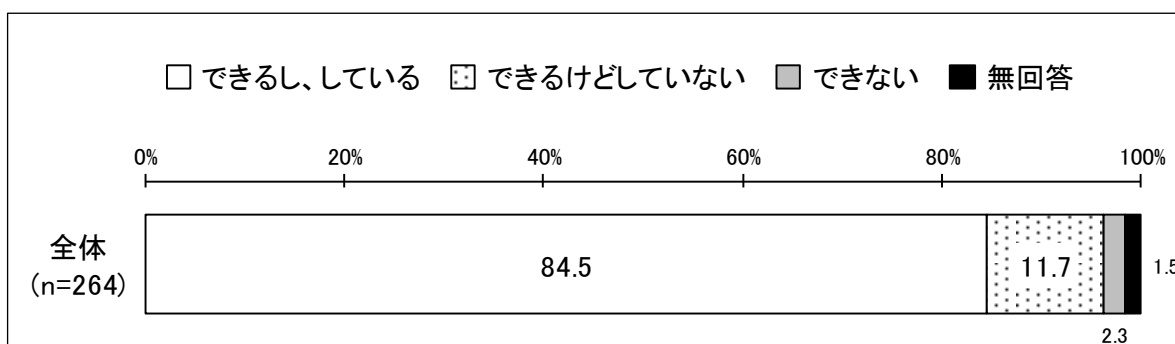
問4. バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」が80.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.5%、「できない」が5.3%の順となっています。



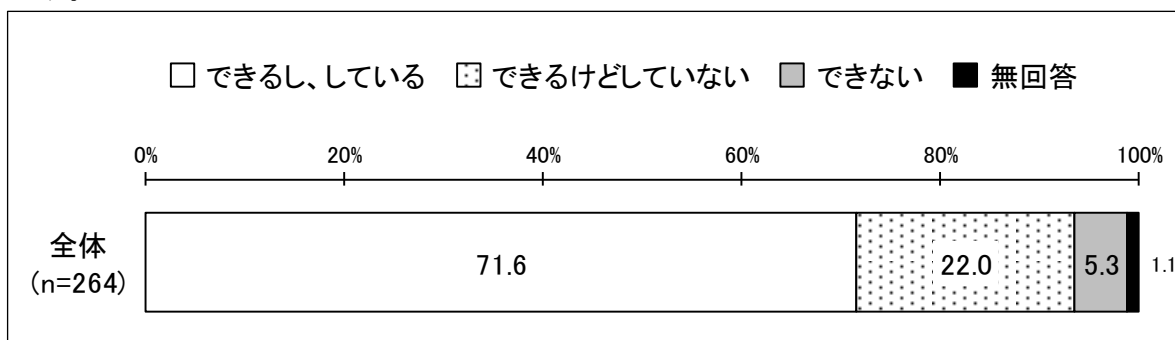
問5. 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が84.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.7%、「できない」が2.3%の順となっています。



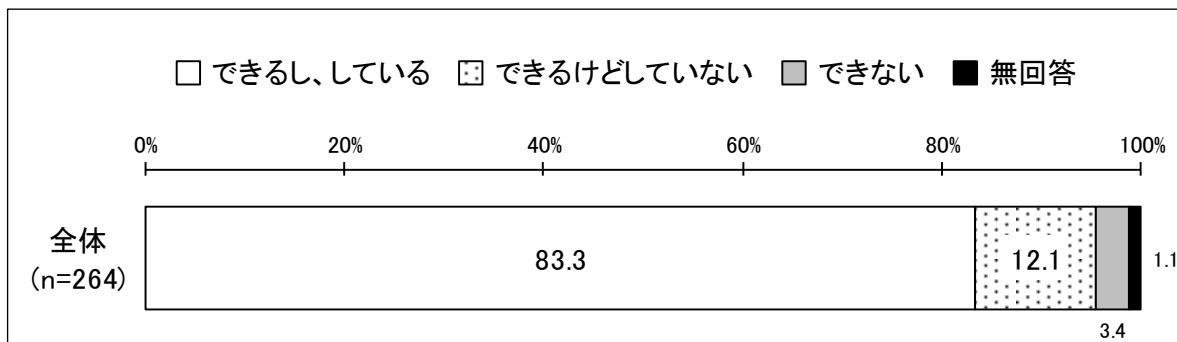
問6. 自分で食事の用意をしていますか。

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が71.6%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が22.0%、「できない」が5.3%の順となっています。



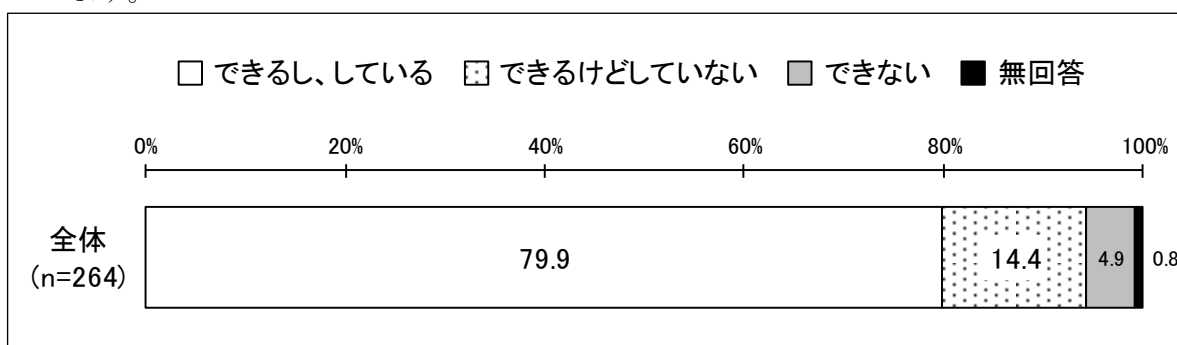
問7. 自分で請求書の支払いをしていますか。

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が83.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.1%、「できない」が3.4%の順となっています。



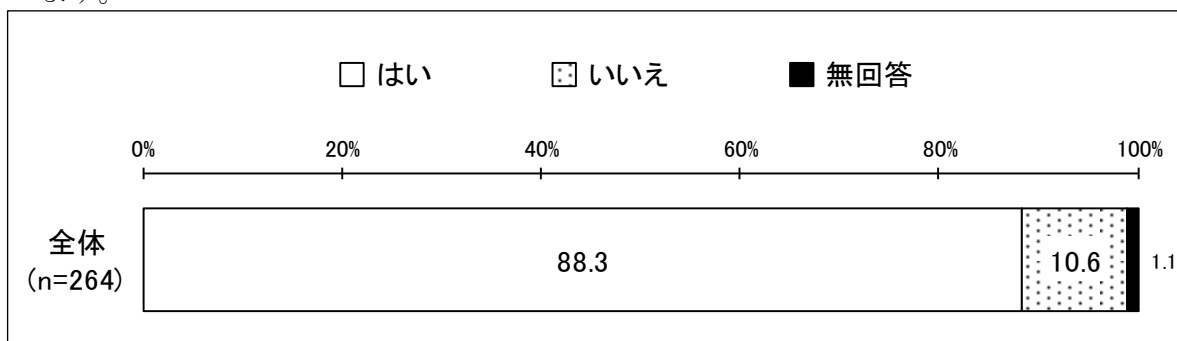
問8. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が79.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.4%、「できない」が4.9%の順となっています。



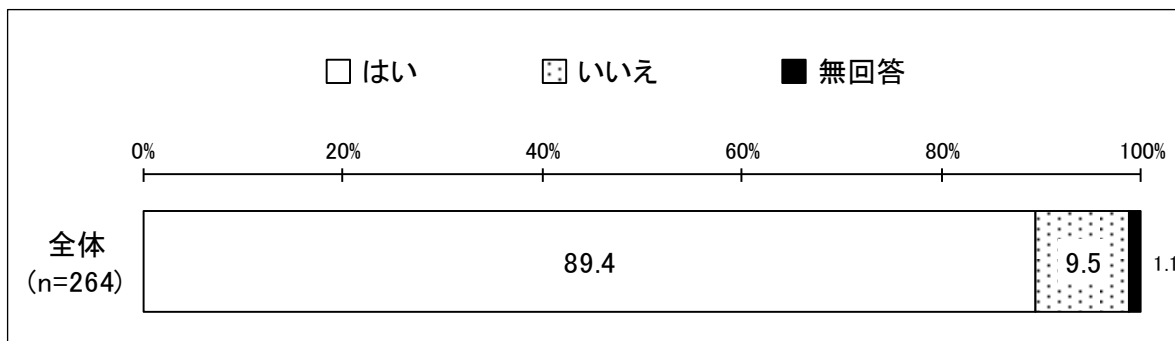
問9. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

年金等の書類が書けるかについては、「はい」が88.3%、「いいえ」が10.6%となっています。



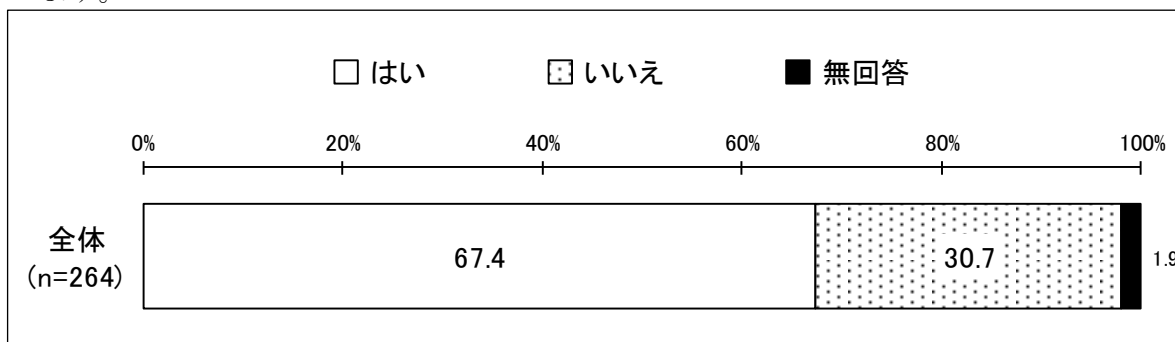
問10. 新聞を読んでいますか。

新聞を読んでいるかについては、「はい」が89.4%、「いいえ」が9.5%となっています。



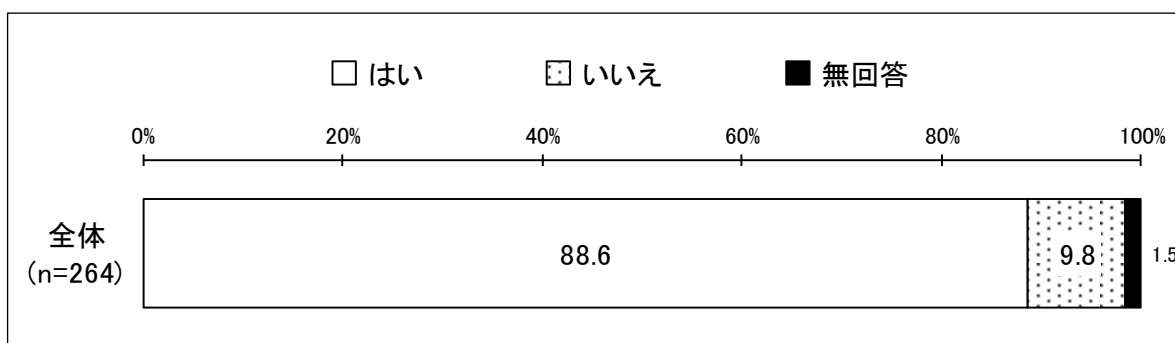
問11. 本や雑誌を読んでいますか。

本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が67.4%、「いいえ」が30.7%となっています。



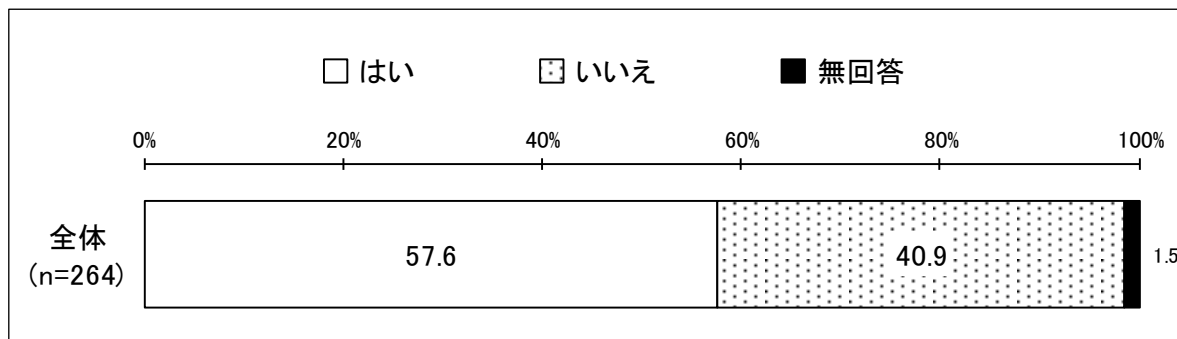
問12. 健康についての記事や番組に関心がありますか。

健康についての記事や番組への関心については、「はい」が88.6%、「いいえ」が9.8%となっています。



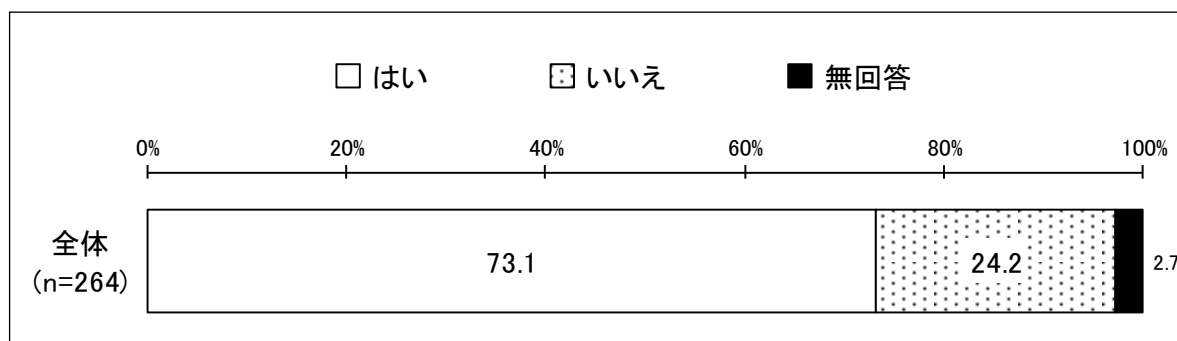
問13. 友人の家を訪ねていますか。

友人の家を訪ねているかについては、「はい」57.6%、「いいえ」が40.9%となっています。



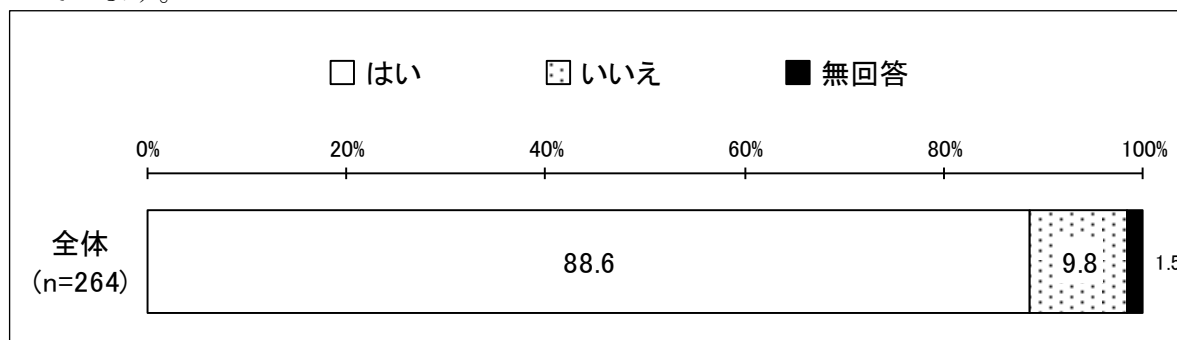
問14. 家族や友人の相談にのっていますか。

家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が73.1%、「いいえ」が24.2%となっています。



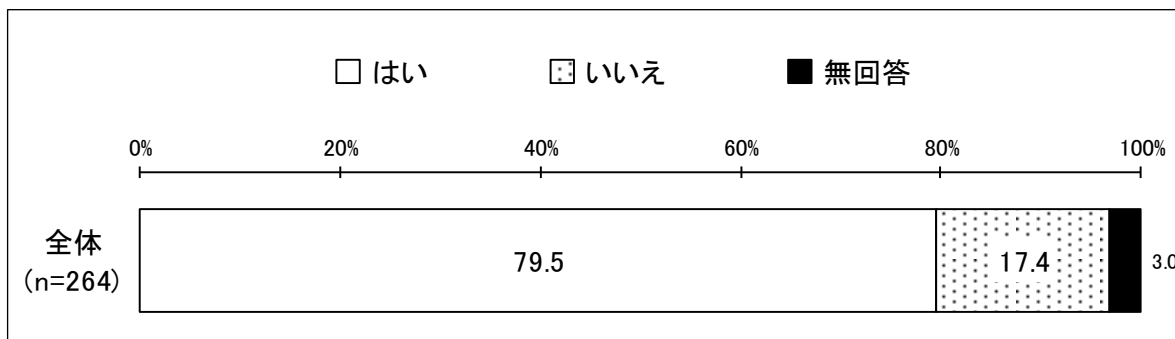
問15. 病人を見舞うことができますか。

病人を見舞うことができるかについては、「はい」が88.6%、「いいえ」が9.8%となっています。



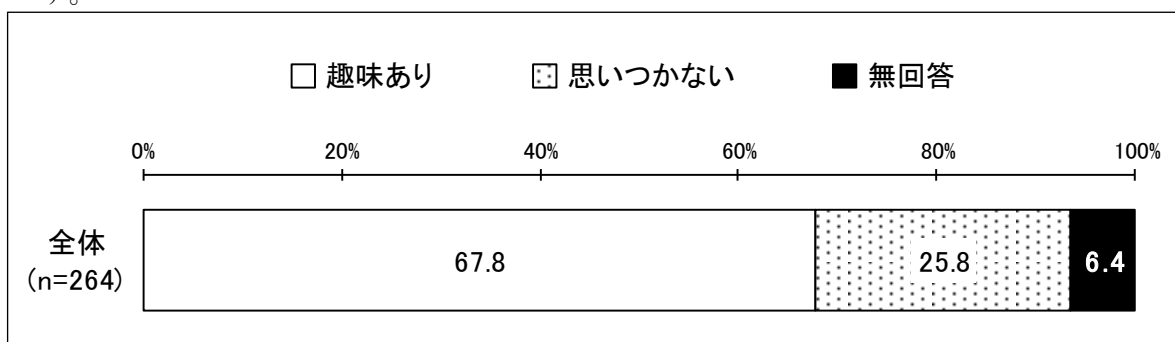
問16. 若い人に自分から話しかけることがありますか。

若い人に自分から話しかけるかについては、「はい」が79.5%、「いいえ」が17.4%となっています。



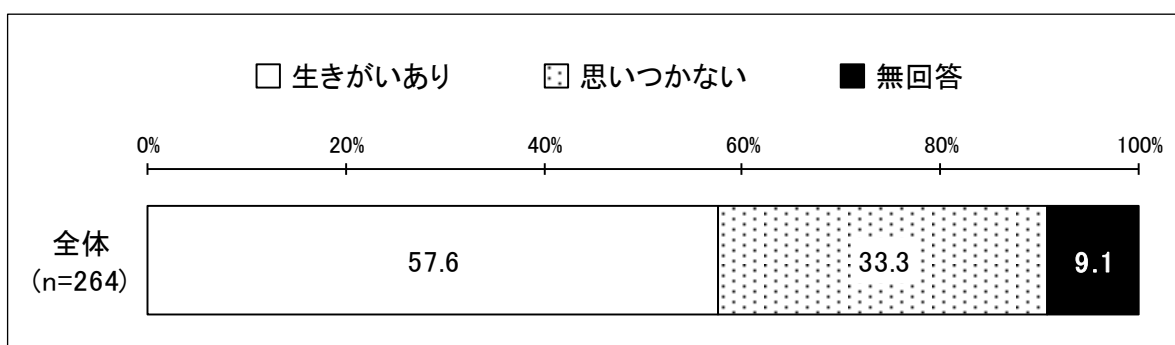
問17. 趣味はありますか。

趣味の有無については、「趣味あり」が67.8%、「思いつかない」が25.8%となっています。



問18. 生きがいがありますか。

生きがいの有無については、「生きがいあり」が57.6%、「思いつかない」が33.3%となっています。

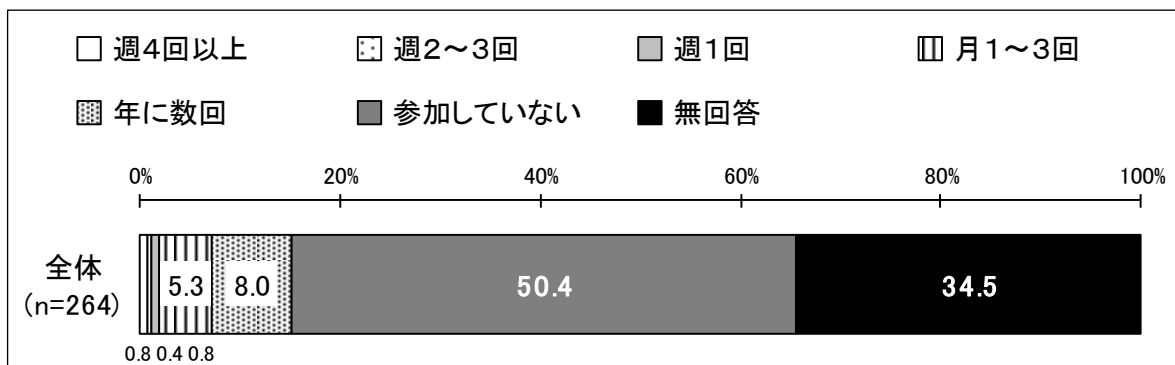


5. 地域での活動について

問1. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

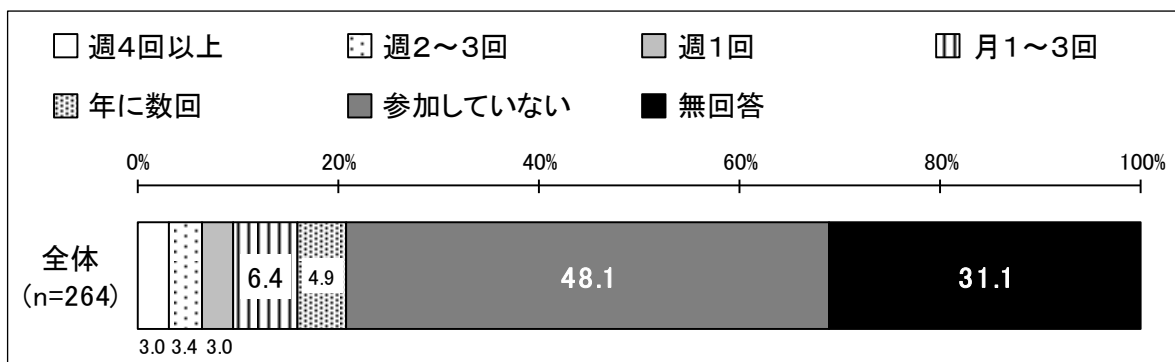
① ボランティアのグループ

ボランティアのグループの参加頻度については、「年に数回」が8.0%で最も高く、次いで「月1～3回」が5.3%となっています。なお、「参加していない」は50.4%でした。



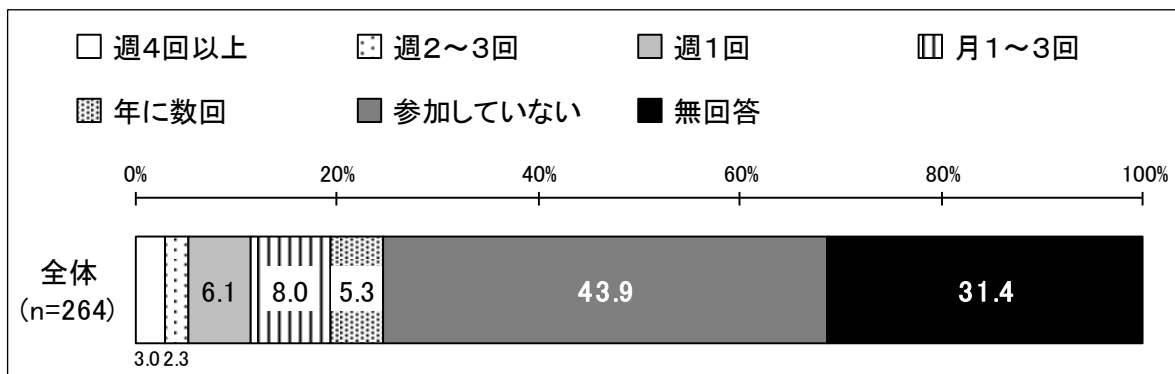
② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブの参加頻度については、「月1～3回」が6.4%で最も高く、次いで「年に数回」が4.9%、「週2～3回」が3.4%等の順となっています。なお、「参加していない」は48.1%でした。



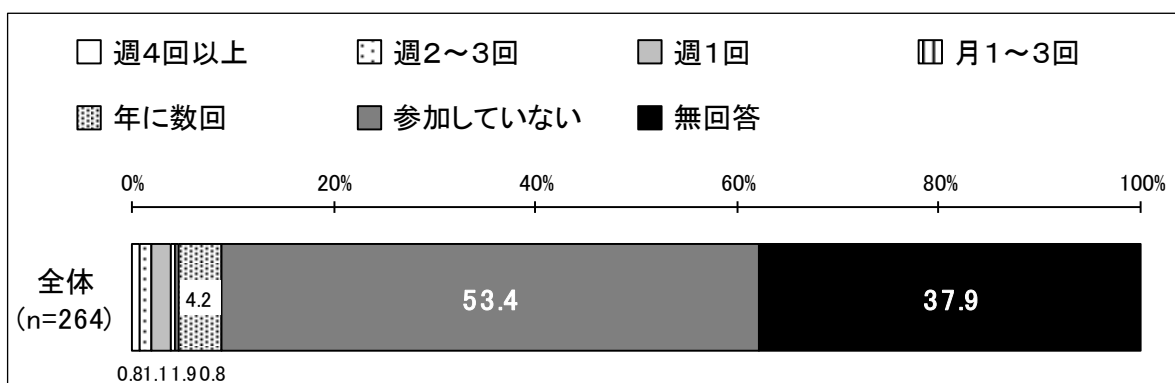
③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループの参加頻度については、「月1～3回」が8.0%で最も高く、次いで「週1回」が6.1%、「年に数回」が5.3%等の順となっています。
なお、「参加していない」は43.9%でした。



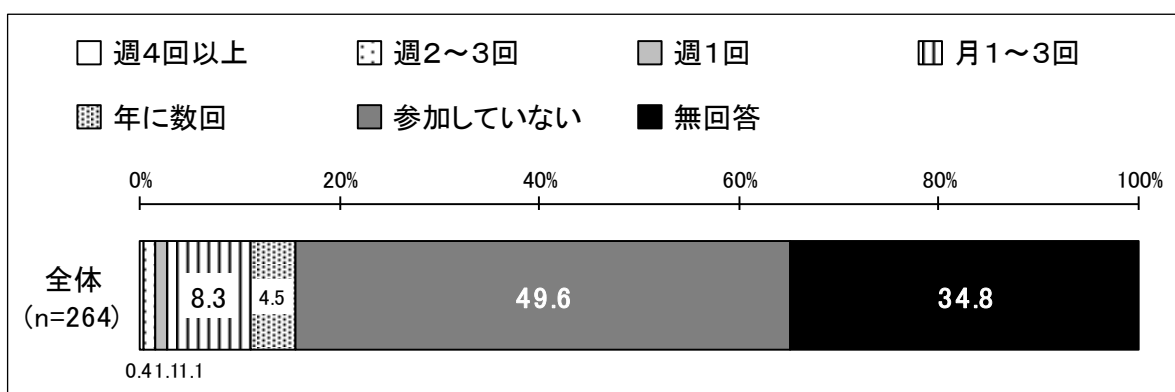
④ 学習・教養サークル

学習・教養サークルの参加頻度については、「年に数回」が4.2%で最も高く、次いで「週1回」が1.9%、「週2～3回」が1.1%等の順となっています。
なお、「参加していない」は53.4%でした。



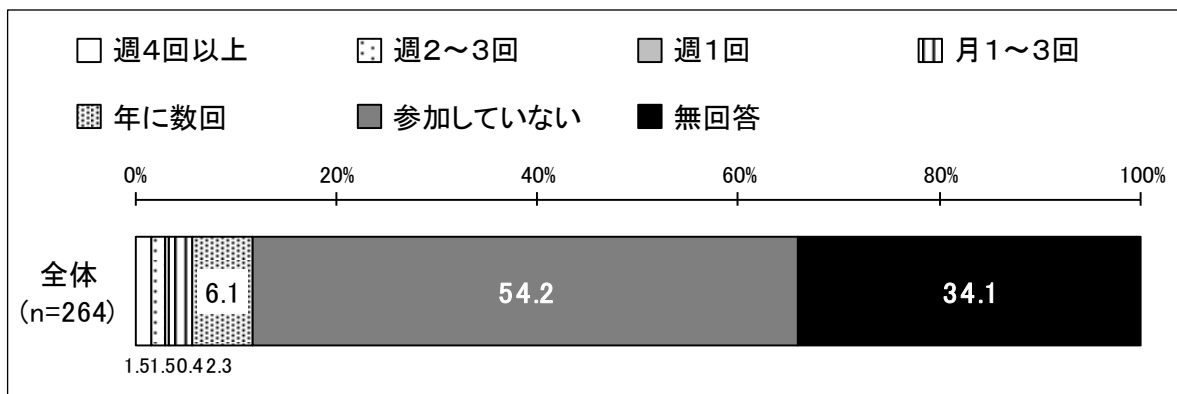
⑤ 社協の元気アップサロン・自治会サロンなど

社協の元気アップサロン・自治会サロンなどについては、「月1～3回」が8.3%で最も高く、次いで「年に数回」が4.5%、「週2～3回」「週1回」が同率1.1%等の順となっています。
なお、「参加していない」は49.6%でした。



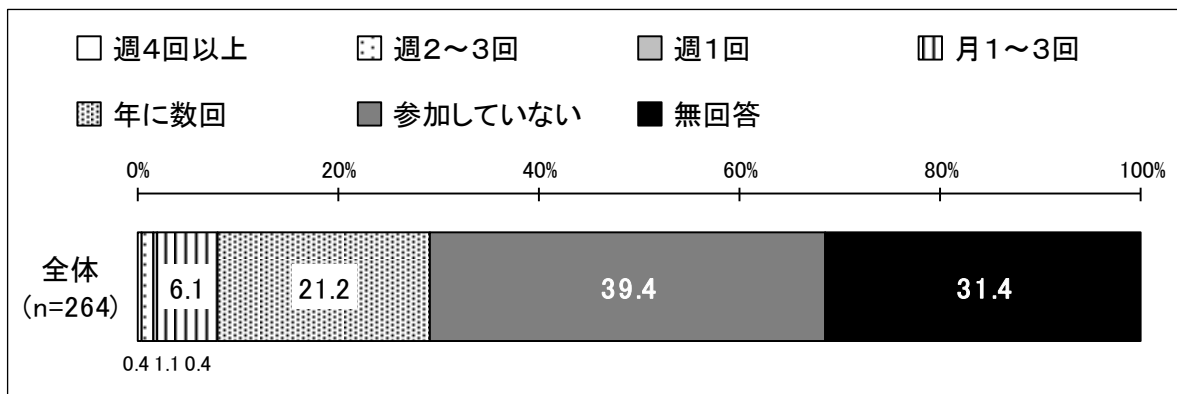
⑥ 老人クラブ

老人クラブの参加頻度については、「年に数回」が6.1%で最も高く、次いで「月1～3回」が2.3%、「週4回以上」「週2～3回」が同率1.5%等の順となっています。
 なお、「参加していない」は54.2%でした。



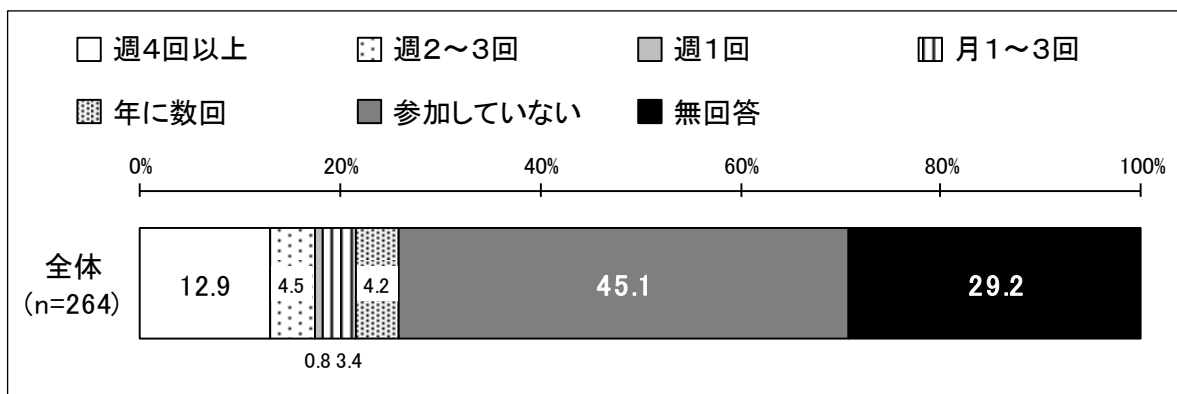
⑦ 自治会

自治会の参加頻度については、「年に数回」が21.2%で最も高く、次いで「月1～3回」が6.1%、「週2～3回」が1.1%等の順となっています。
 なお、「参加していない」は39.4%でした。



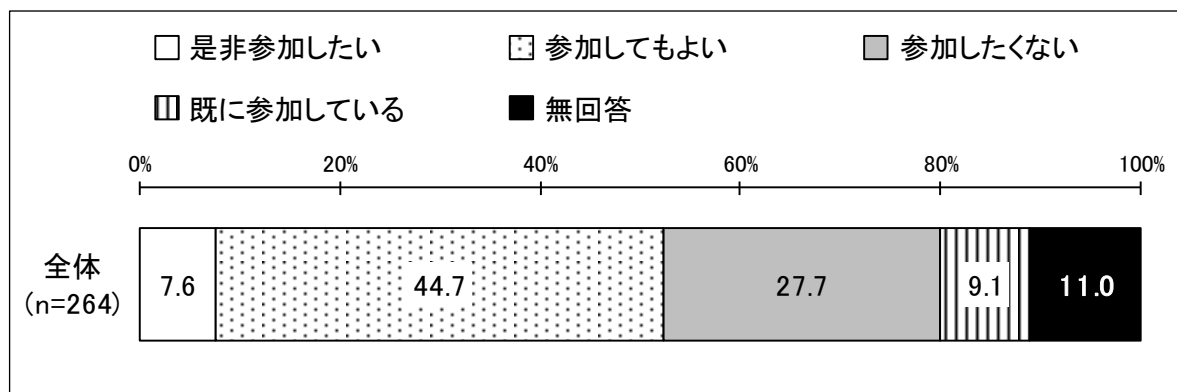
⑧ 収入のある仕事

収入のある仕事の参加頻度については、「週4回以上」が12.9%で最も高く、次いで「週2～3回」が4.5%、「年に数回」が4.2%等の順となっています。
 なお、「参加していない」は45.1%でした。



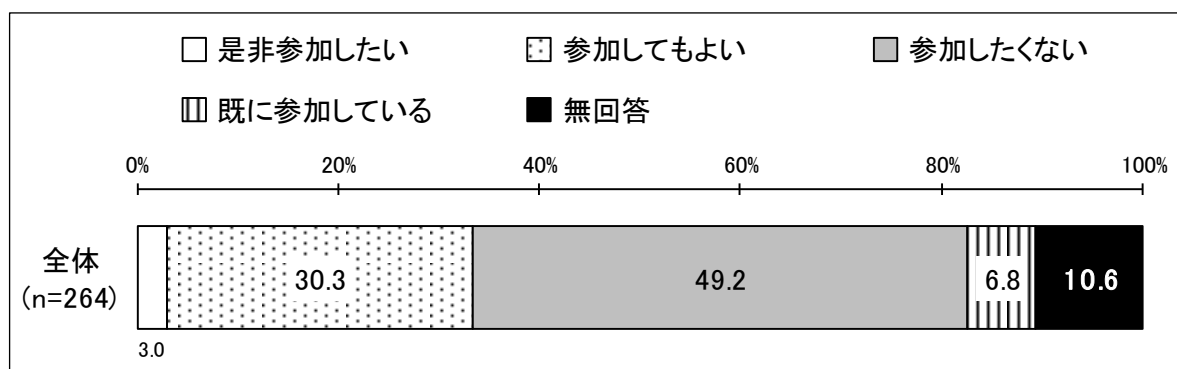
問2. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

地域活動への参加意向については、「参加してもよい」が44.7%で最も高く、次いで「参加したくない」が27.7%、「既に参加している」が9.1%、「是非参加したい」が7.6%の順となっています。



問3. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

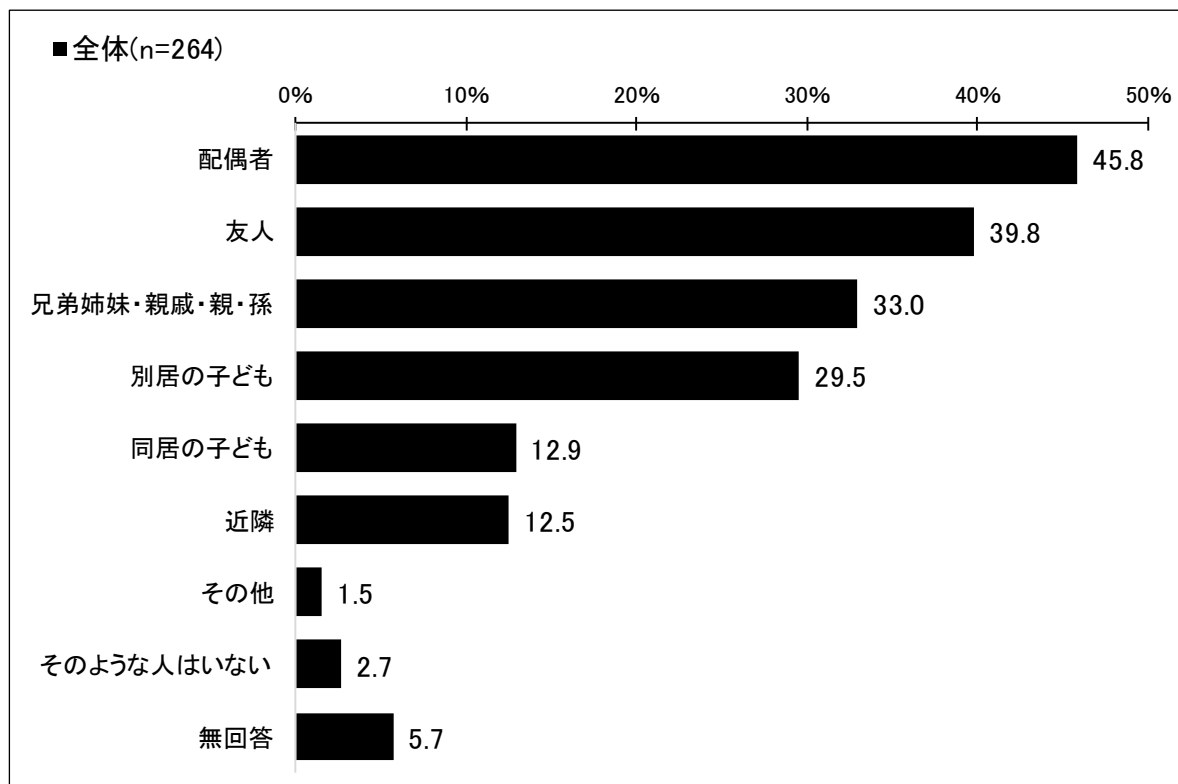
地域活動の企画・運営としての参加意向については、「参加したくない」が49.2%で最も高く、次いで「参加してもよい」が30.3%、「既に参加している」が6.8%、「是非参加したい」が3.0%の順となっています。



6. たすけあいについて

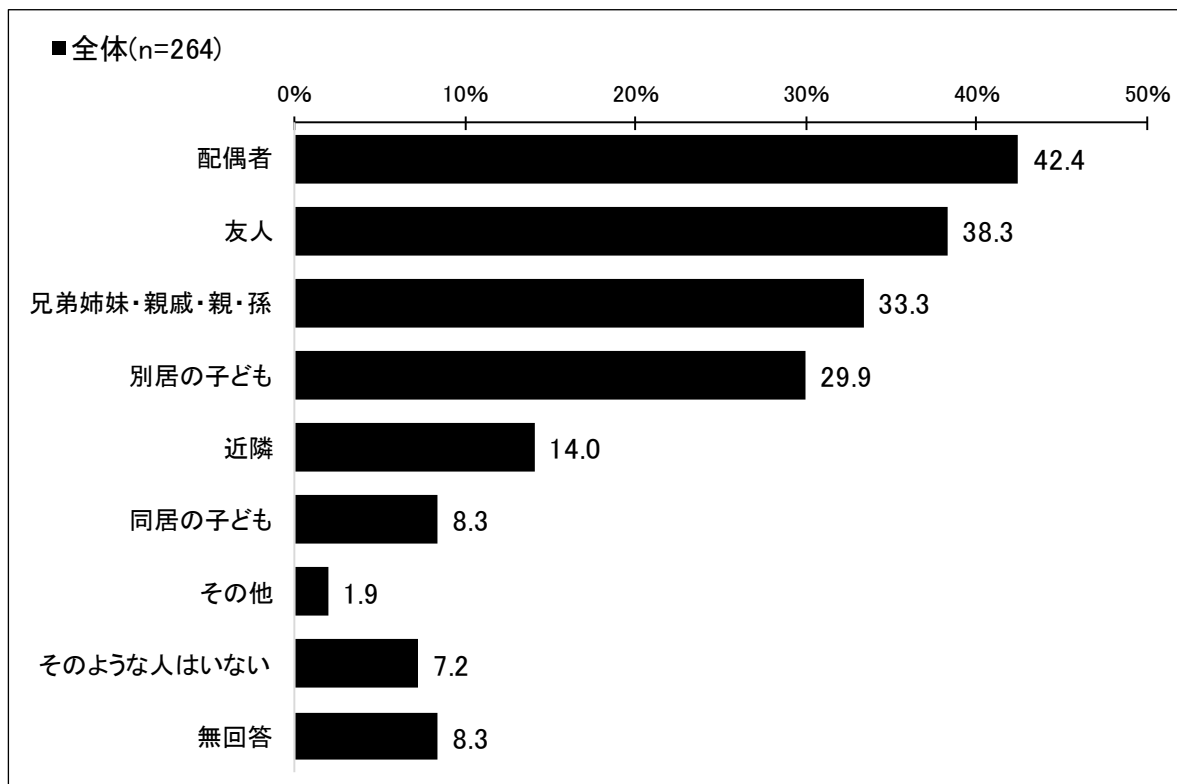
問1. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。【複数回答可】

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が45.8%で最も高く、次いで「友人」が39.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が33.0%、「別居の子ども」が29.5%等の順となっています。



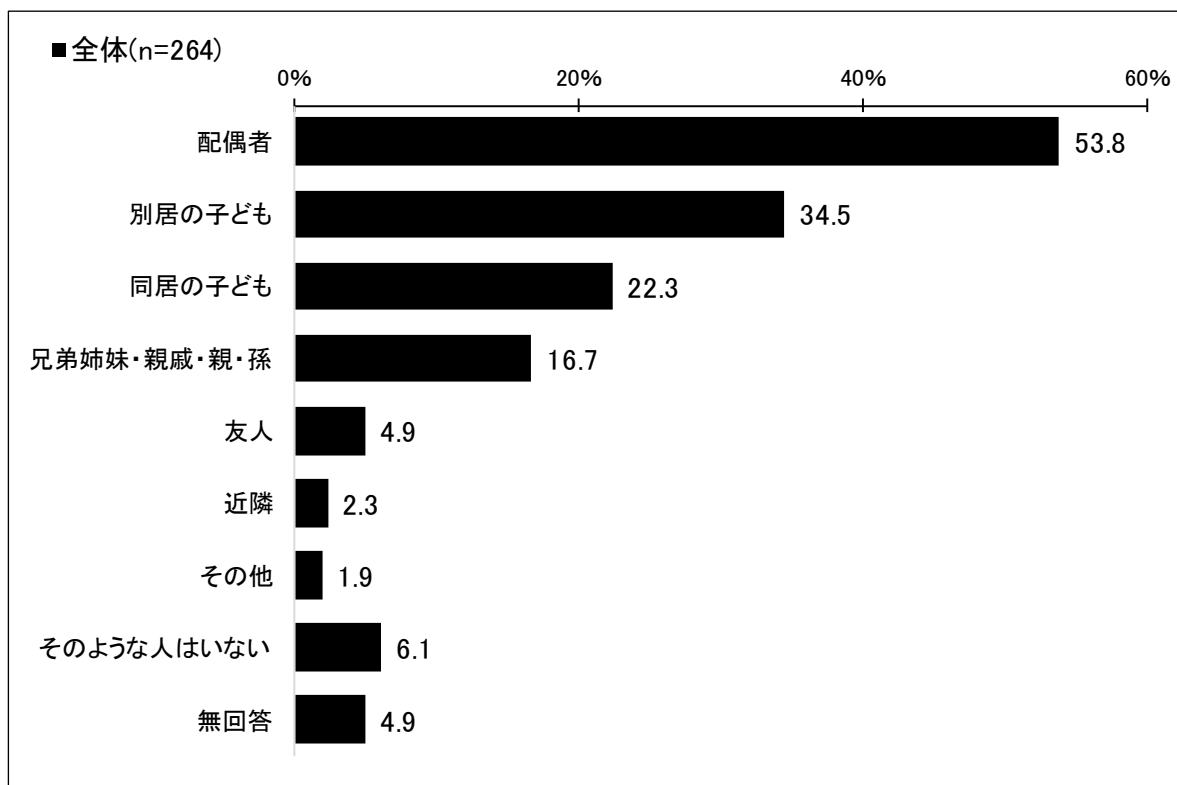
問2. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。【複数回答可】

心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が42.4%で最も高く、次いで「友人」が38.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が33.3%、「別居の子ども」が29.9%等の順となっています。



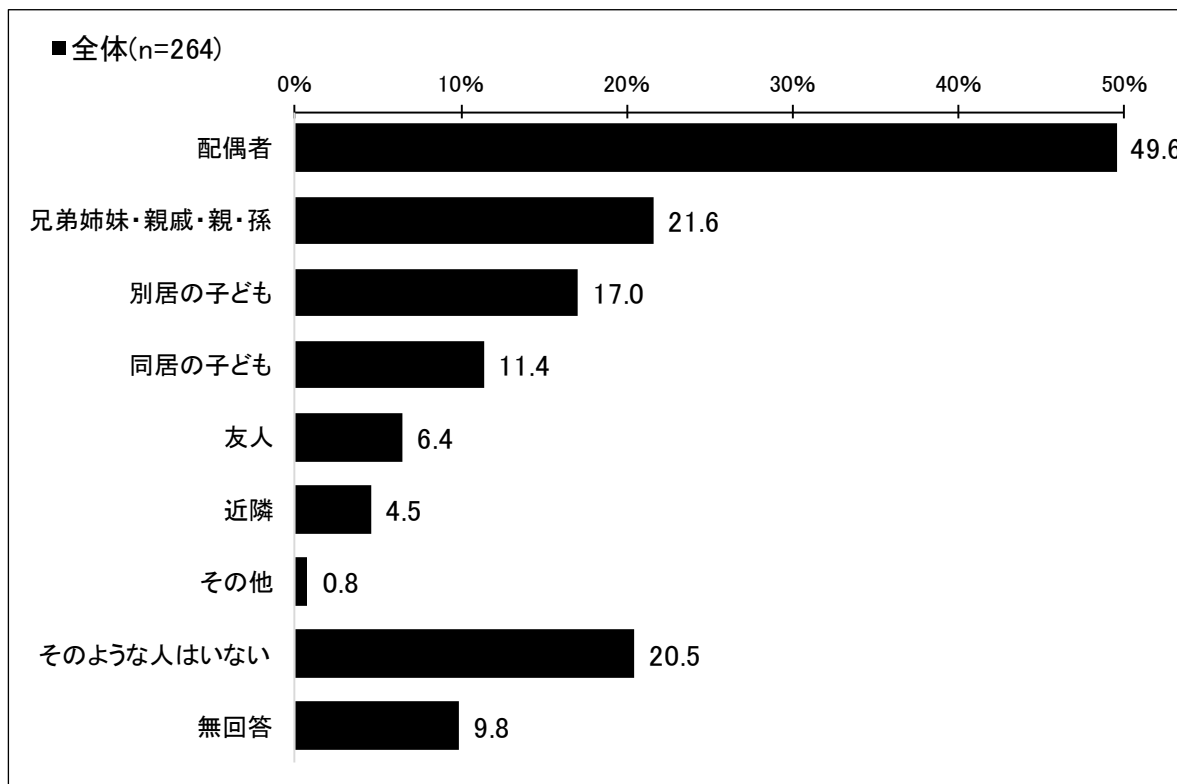
問3. あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人はいますか。
【複数回答可】

寝込んだ時に世話をしてくれる人については、「配偶者」が53.8%で最も高く、次いで「別居の子ども」が34.5%、「同居の子ども」が22.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が16.7%等の順となっています。



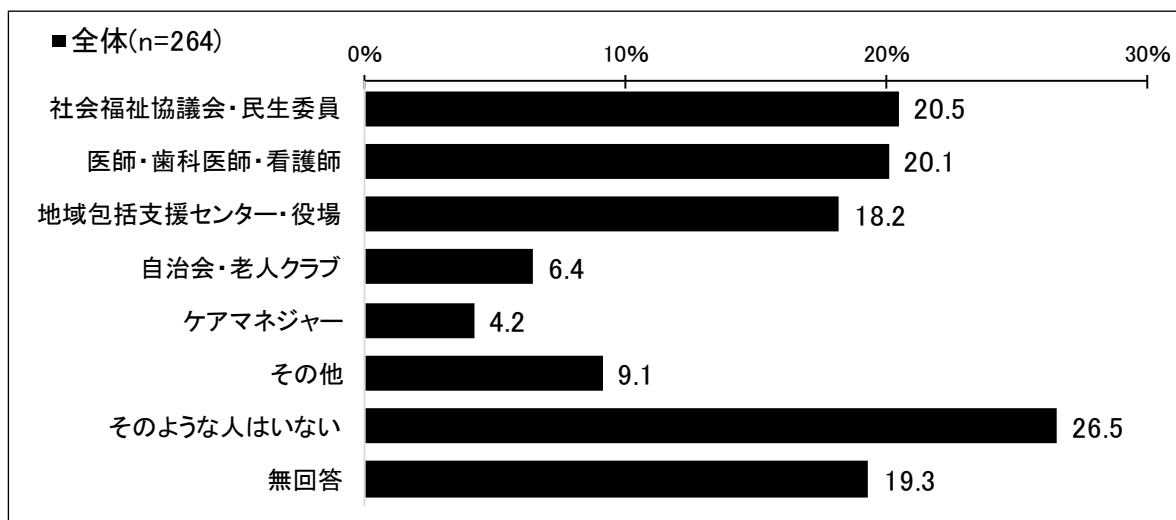
問4. 反対に、看病や世話をししてあげる人はいますか。【複数回答可】

寝込んだ時に世話をししてあげる人については、「配偶者」が49.6%で最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が21.6%、「別居の子ども」が17.0%、「同居の子ども」が11.4%等の順となっています。



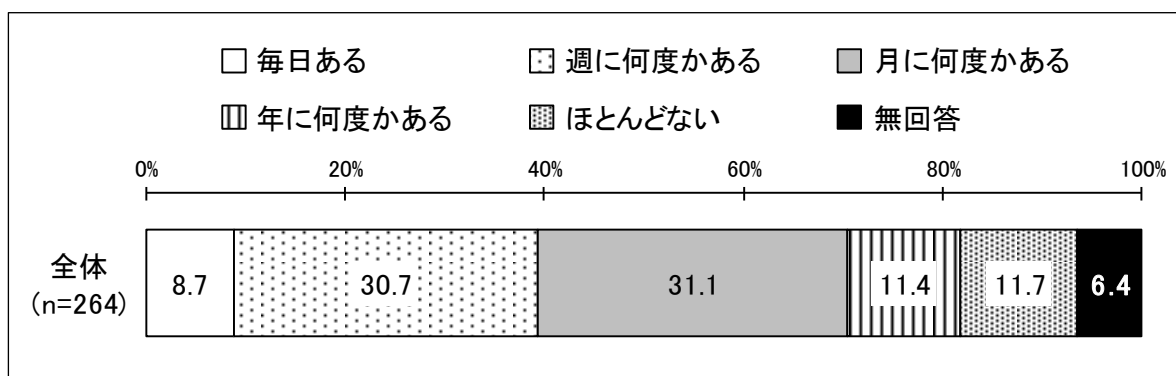
問5. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
【複数回答可】

相談する人（家族や友人以外）については、「社会福祉協議会・民生委員」が20.5%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が20.1%、「地域包括支援センター・役場」が18.2%等の順となっています。なお、「そのような人はいない」は26.5%でした。



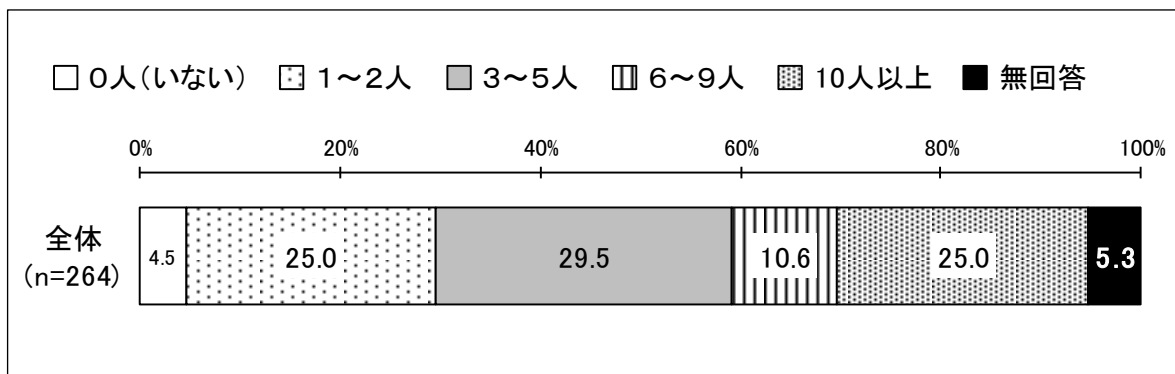
問6. 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が31.1%で最も高く、次いで「週に何度かある」が30.7%、「ほとんどない」が11.7%、「年に何度かある」が11.4%、「毎日ある」が8.7%の順となっています。



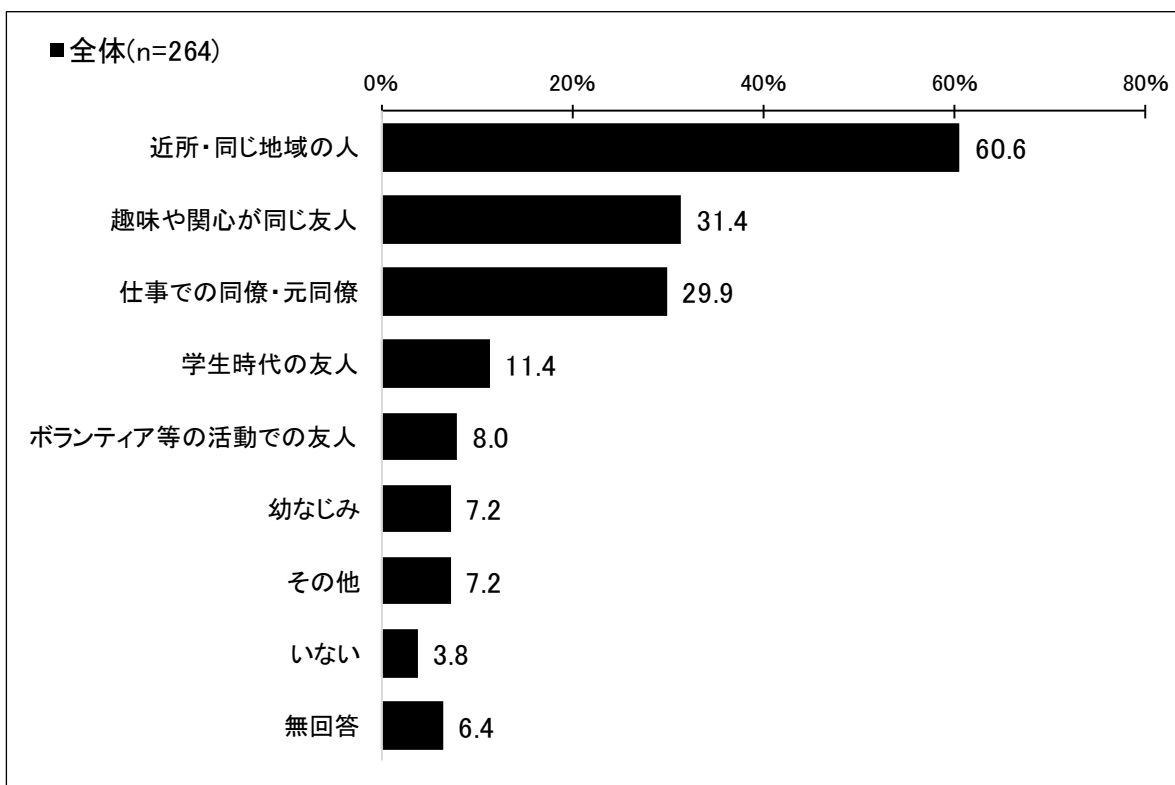
問7. この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

この1か月間に会った友人・知人の数については、「3～5人」が29.5%で最も高く、次いで「1～2人」「10人以上」が同率25.0%、「6～9人」が10.6%、「0人(いない)」が4.5%の順となっています。



問8. よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。【複数回答可】

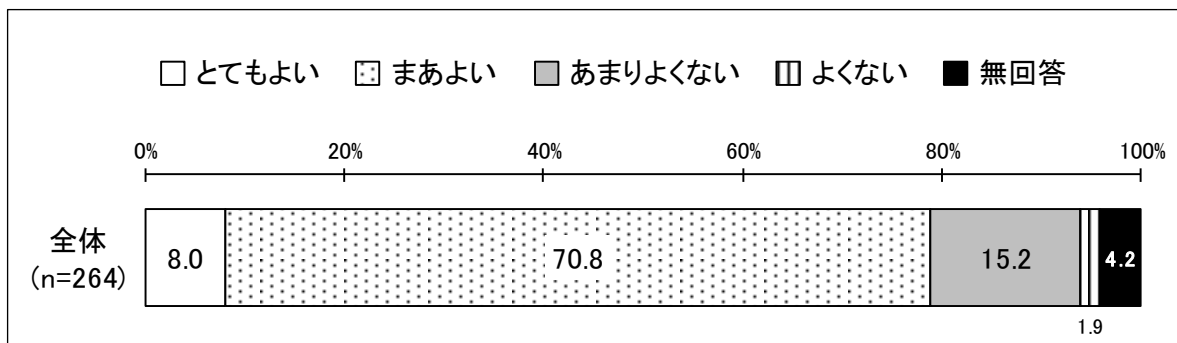
よく会う友人・知人の関係については、「近所・同じ地域の人」が60.6%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が31.4%、「仕事での同僚・元同僚」が29.9%、「学生時代の友人」が11.4%等の順となっています。



7. 健康について

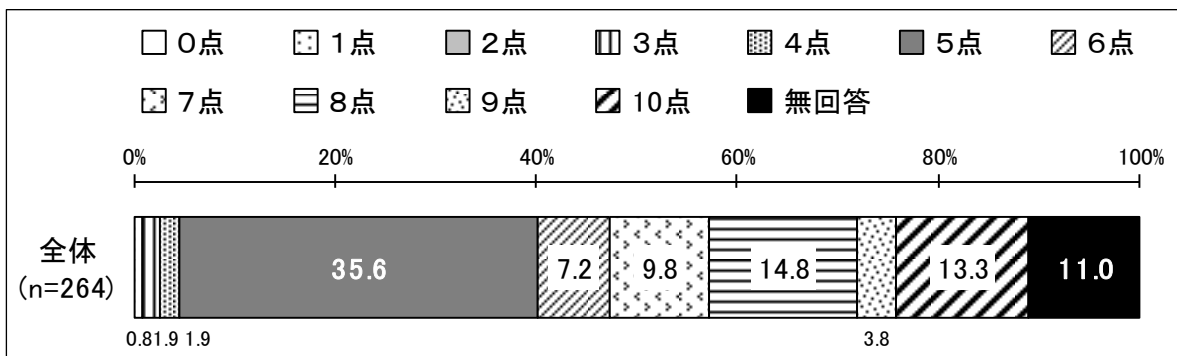
問1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

現在の健康状態については、「まあよい」が70.8%で最も高く、次いで「あまりよくない」が15.2%、「とてもよい」が8.0%、「よくない」が1.9%の順となっています。



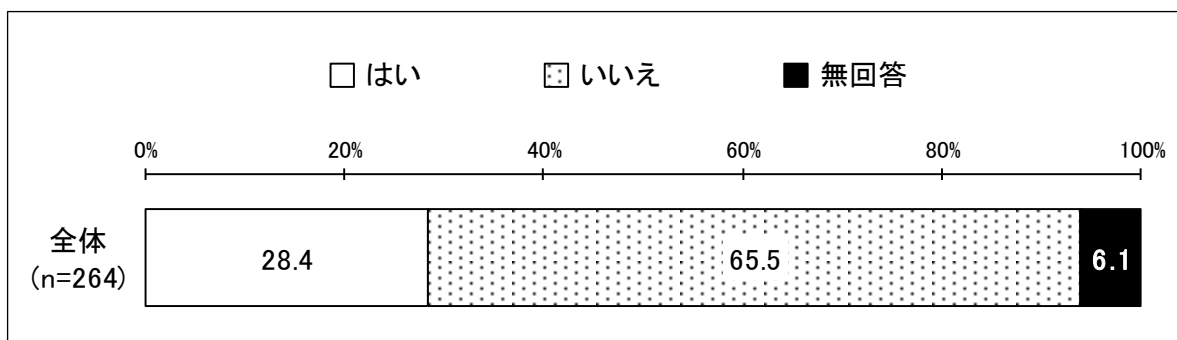
問2. あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）。

現在の幸福度については、「5点」が35.6%で最も高く、次いで「8点」が14.8%、「10点」が13.3%、「7点」が9.8%、「6点」が7.2%、「9点」が3.8%、「3点」「4点」が同率1.9%、「1点」が0.8%の順となっています。



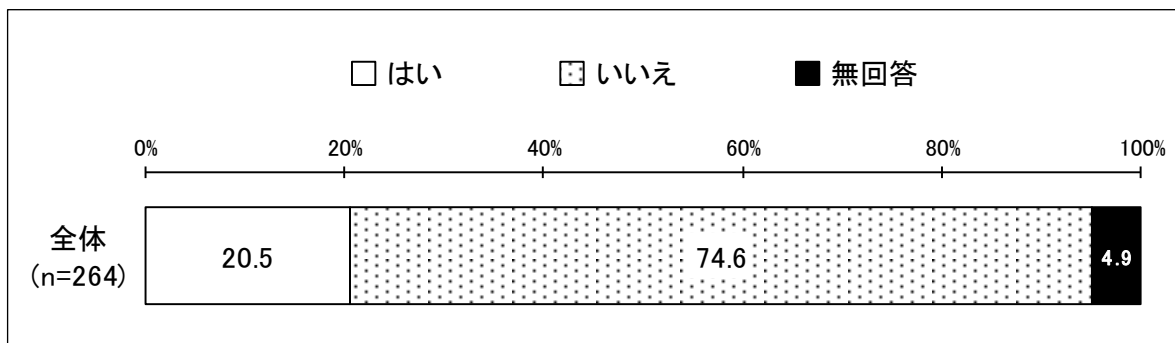
問3. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

直近1か月間、ゆううつな気持ちになることがあったかについては、「はい」が28.4%、「いいえ」が65.5%となっています。



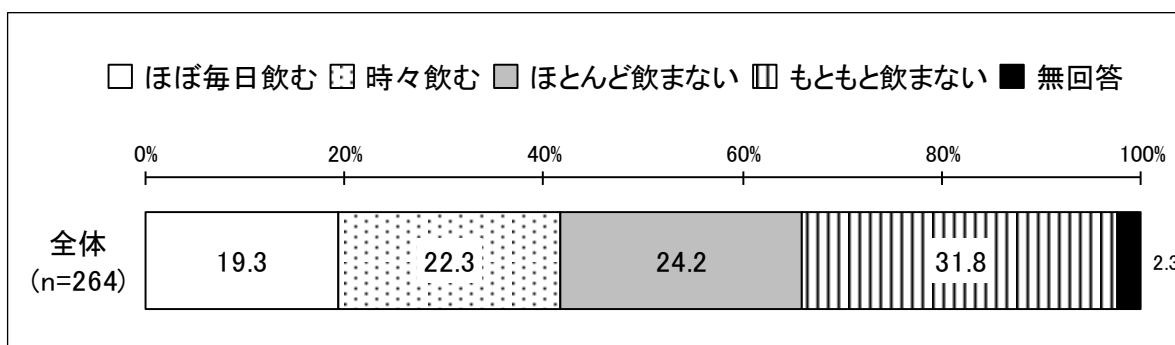
問4. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

直近1か月間、物事に対する興味がわかない感じがあったかについては、「はい」が20.5%、「いいえ」が74.6%となっています。



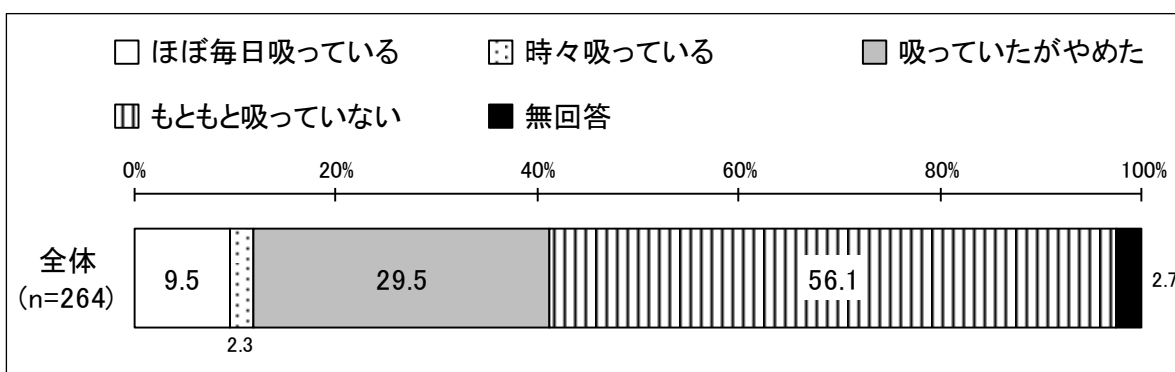
問5. お酒は飲みますか。

飲酒頻度については、「もともと飲まない」が31.8%で最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が24.2%、「時々飲む」が22.3%、「ほぼ毎日飲む」が19.3%の順となっています。



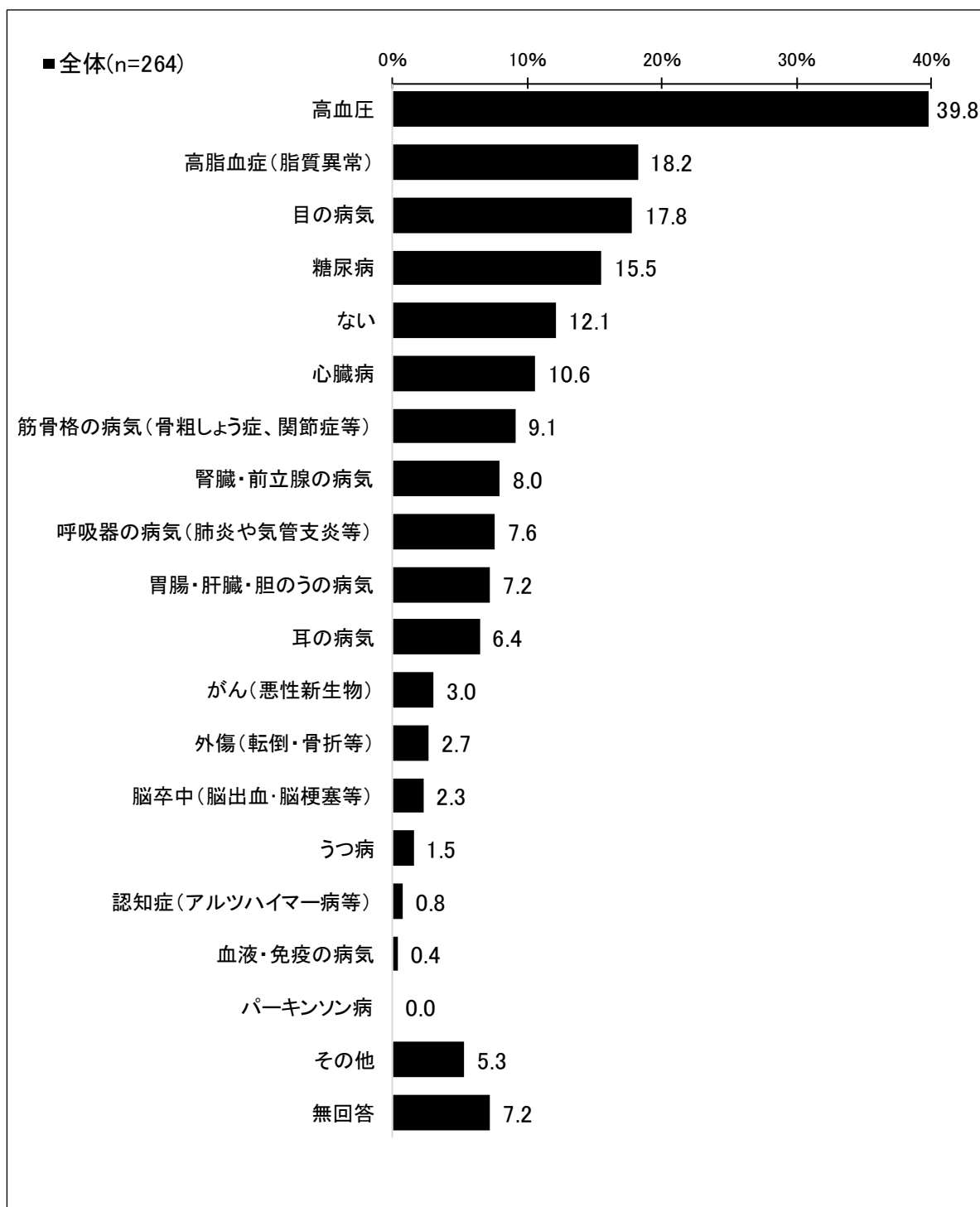
問6. タバコは吸っていますか。

喫煙状況については、「もともと吸っていない」が56.1%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が29.5%、「ほぼ毎日吸っている」が9.5%、「時々吸っている」が2.3%の順となっています。



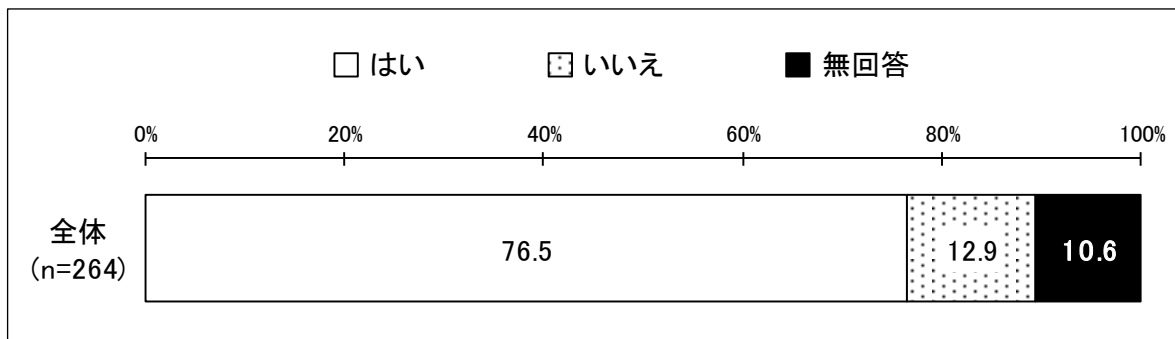
問7. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【複数回答可】

現在治療中、後遺症のある病気については、「高血圧」が39.8%で最も高く、次いで「高脂血症（脂質異常）」が18.2%、「目の病気」が17.8%、「糖尿病」が15.5%等の順となっています。



問 8. 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。

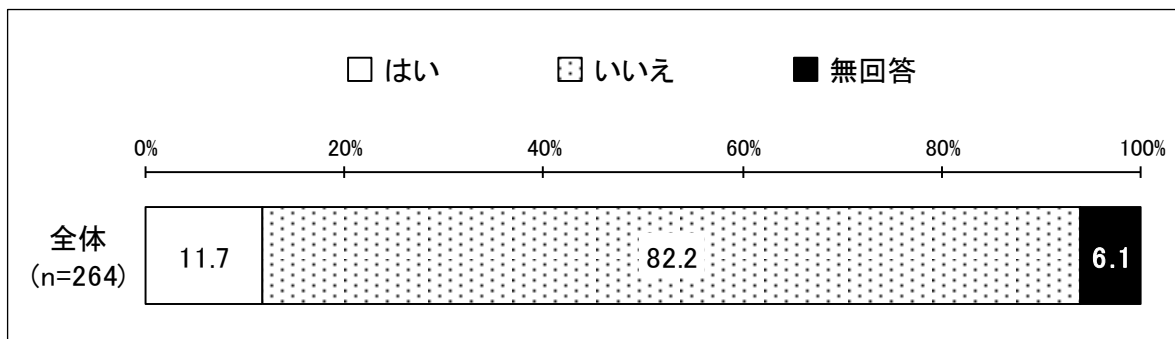
通院しているかについては、「はい」が76.5%、「いいえ」が12.9%となっています。



8. 認知症にかかる相談窓口の把握について

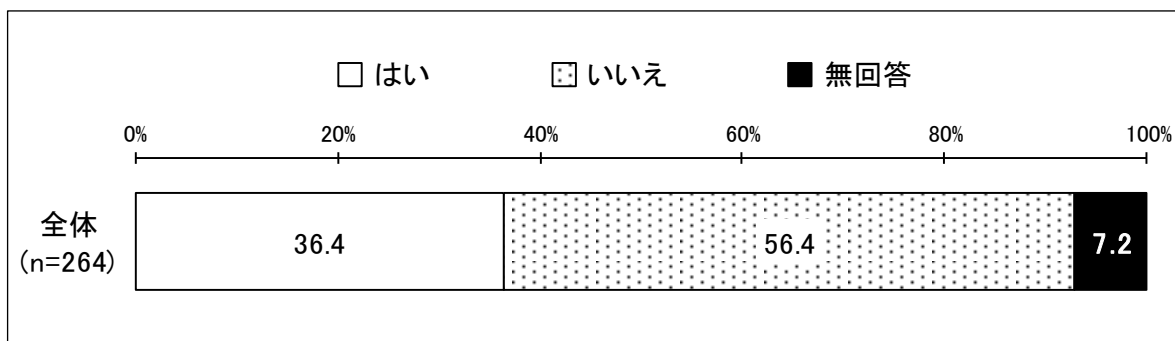
問 1. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

認知症の症状の有無については、「はい」が11.7%、「いいえ」が82.2%となっています。



問 2. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

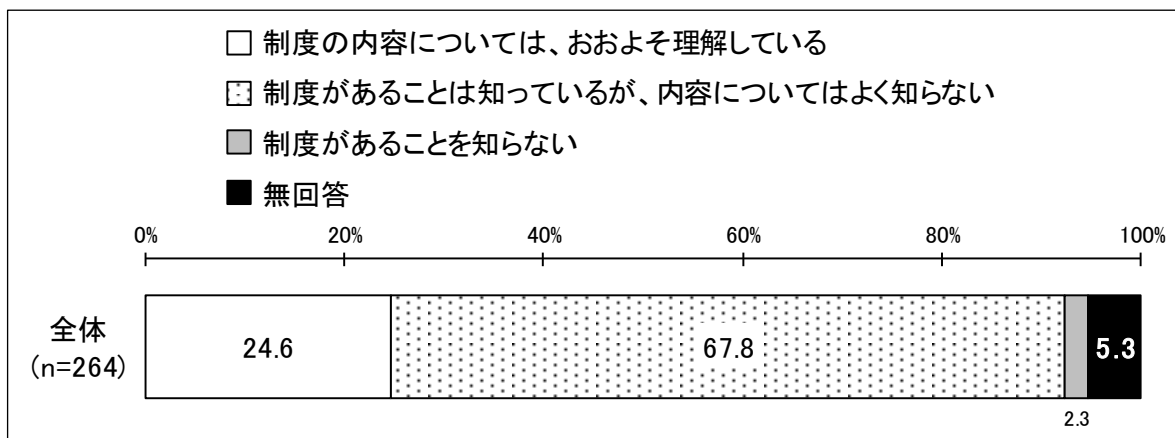
認知症に関する相談窓口の認知度については、「はい」が36.4%、「いいえ」が56.4%となっています。



9. 介護保険制度について

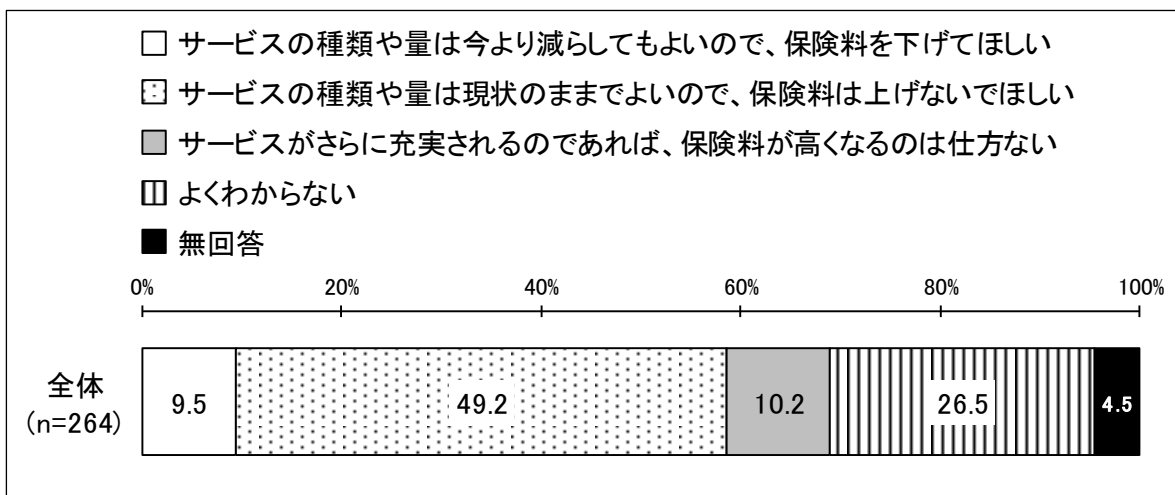
問1. 介護保険制度について、どれくらいご存知ですか。

介護保険制度については、「制度があることは知っているが、内容についてはよく知らない」が67.8%で最も高く、次いで「制度の内容については、おおよそ理解している」が24.6%、「制度があることを知らない」が2.3%の順となっています。



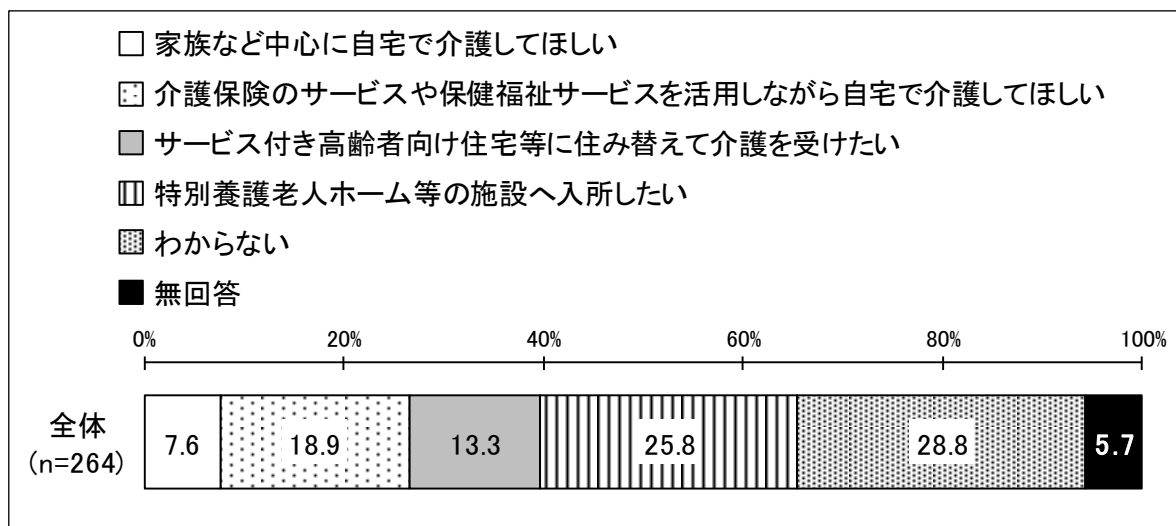
問2. あなたはこれからの介護サービスと保険料についてどのように思いますか。もっとも考えに近いもの一つに○をつけてください。

介護サービスと保険料については、「サービスの種類や量は現状のままでよいので、保険料は上げないでほしい」が49.2%で最も高く、次いで「よくわからない」が26.5%、「サービスがさらに充実されるのであれば、保険料が高くなるのは仕方ない」が10.2%、「サービスの種類や量は今より減らしてもよいので、保険料を下げしてほしい」が9.5%の順となっています。



問3. 今後、あなたが仮に介護を受ける立場になった場合、どこで介護を受けたいとお考えですか。

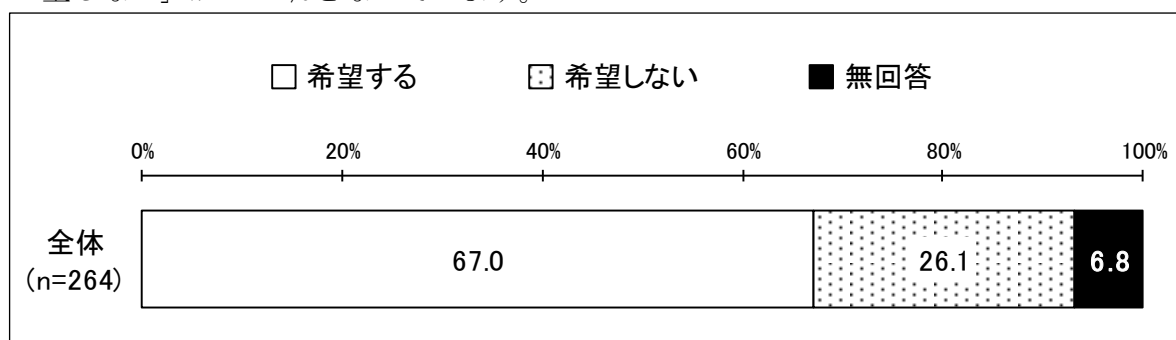
どこで介護を受けたいかについては、「わからない」が28.8%で最も高く、次いで「特別養護老人ホーム等の施設へ入所したい」が25.8%、「介護保険のサービスや保健福祉サービスを活用しながら自宅で介護してほしい」が18.9%、「サービス付き高齢者向け住宅等に組み替えて介護を受けたい」が13.3%、「家族など中心に自宅で介護してほしい」が7.6%の順となっています。



10. 特別養護老人ホームについて

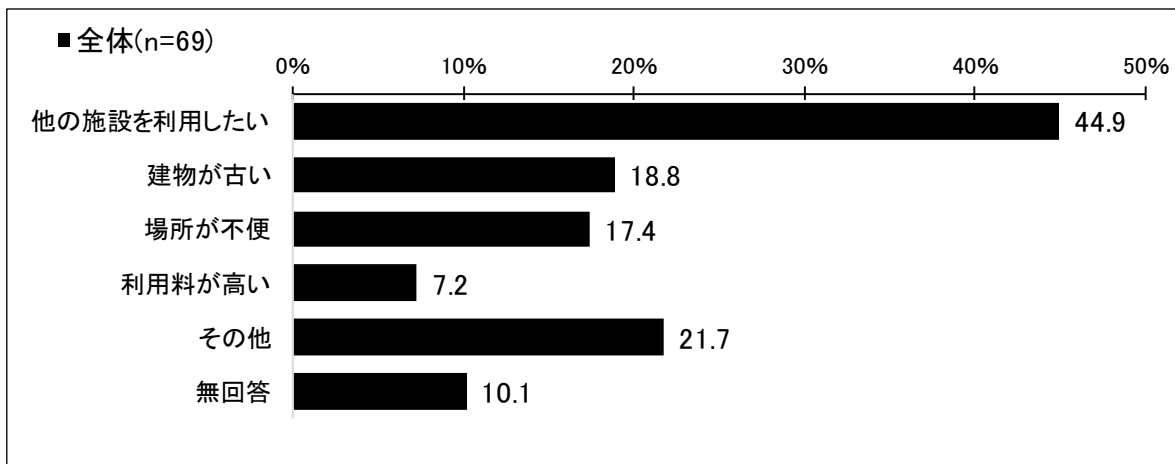
問1. 将来的に施設入所が必要になったとき、現在の美深町特別養護老人ホームに入所を希望しますか。

美深町特別養護老人ホームに入所を希望するかについては、「希望する」が67.0%、「希望しない」が26.1%となっています。



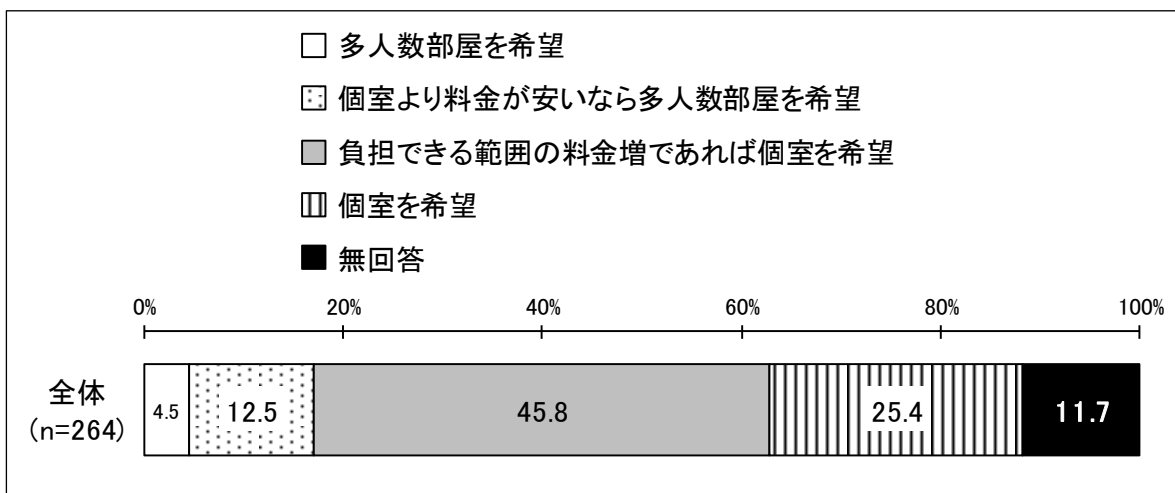
**問2. 【問1で「希望しない」と回答した方にお伺いします】
希望しない理由はなんですか。【複数回答可】**

特別養護老人ホーム入所を希望しない理由については、「他の施設を利用したい」が44.9%で最も高く、次いで「建物が古い」が18.8%、「場所が不便」が17.4%、「利用料が高い」が7.2%等の順となっています。



問3. 自分自身が入所する場合、多人数部屋と個室のどちらを希望しますか。

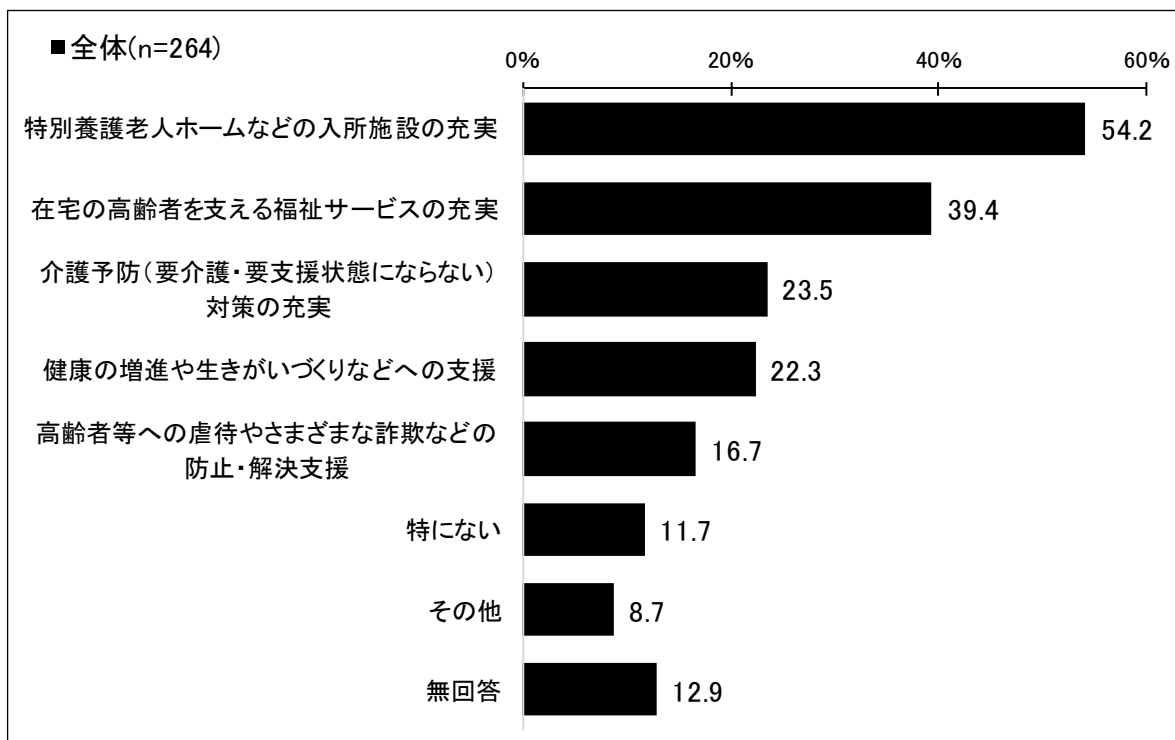
多人数部屋と個室の希望については、「負担できる範囲の料金増であれば個室を希望」が45.8%で最も高く、次いで「個室を希望」が25.4%、「個室より料金が安いなら多人数部屋を希望」が12.5%、「多人数部屋を希望」が4.5%の順となっています。



11. 町の福祉施策について

問1. これから町に重点的に取り組んでほしい福祉施策はありますか。【複数回答可】

町に重点的に取り組んでほしい福祉施策については、「特別養護老人ホームなどの入所施設の充実」が54.2%で最も高く、次いで「在宅の高齢者を支える福祉サービスの充実」が39.4%、「介護予防（要介護・要支援状態にならない）対策の充実」が23.5%、「健康の増進や生きがいづくりなどへの支援」が22.3%等の順となっています。

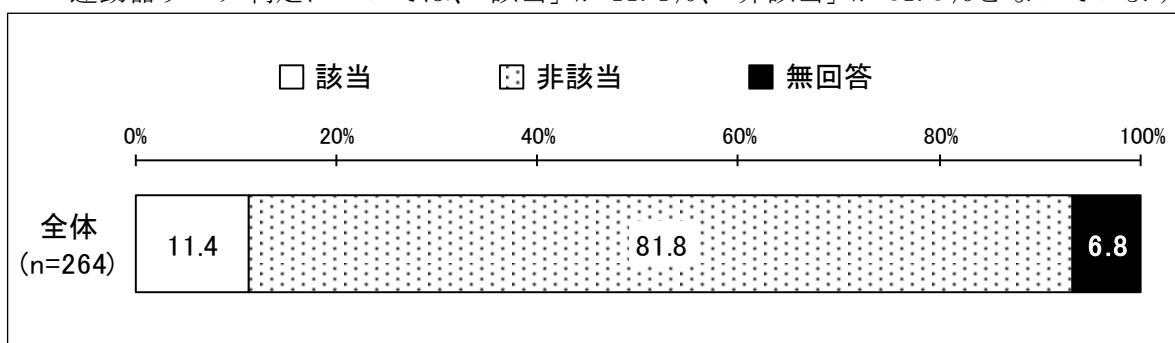


12. リスク判定

(1) 運動器リスク判定

設問	該当する選択肢
【2】問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	「できない」
【2】問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	「できない」
【2】問3 15分位続けて歩いていますか。	「できない」
【2】問4 過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」「1度ある」
【2】問5 転倒に対する不安は大きいですか。	「とても不安がある」「やや不安がある」
上記3問以上該当でリスクあり	

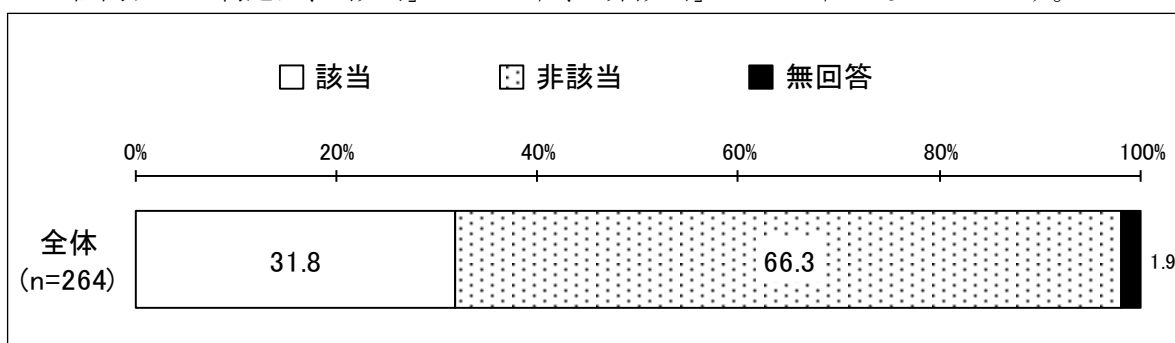
運動器リスク判定については、「該当」が11.4%、「非該当」が81.8%となっています。



(2) 転倒リスク判定

設問	該当する選択肢
【2】問4 過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」「1度ある」
上記該当でリスクあり	

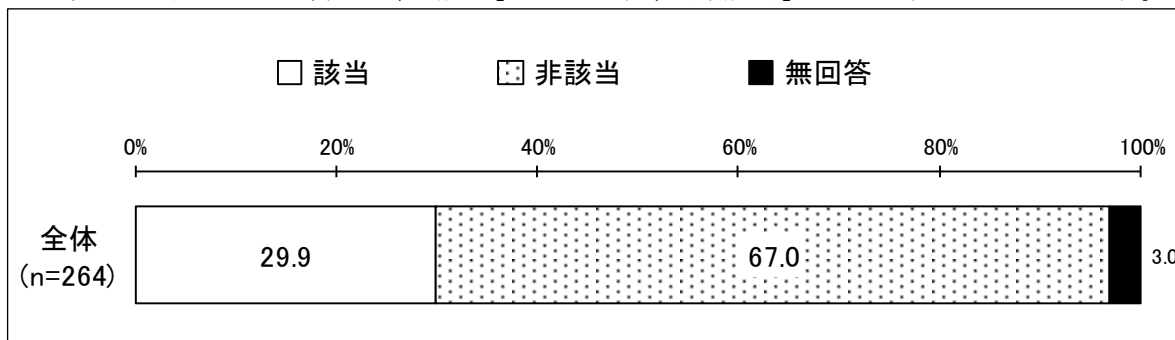
転倒リスク判定は、「該当」が31.8%、「非該当」が66.3%となっています。



(3) 閉じこもりリスク判定

設問	該当する選択肢
【2】問6 週に1回以上は外出していますか。	「ほとんど外出しない」 「週1回」
上記該当でリスクあり	

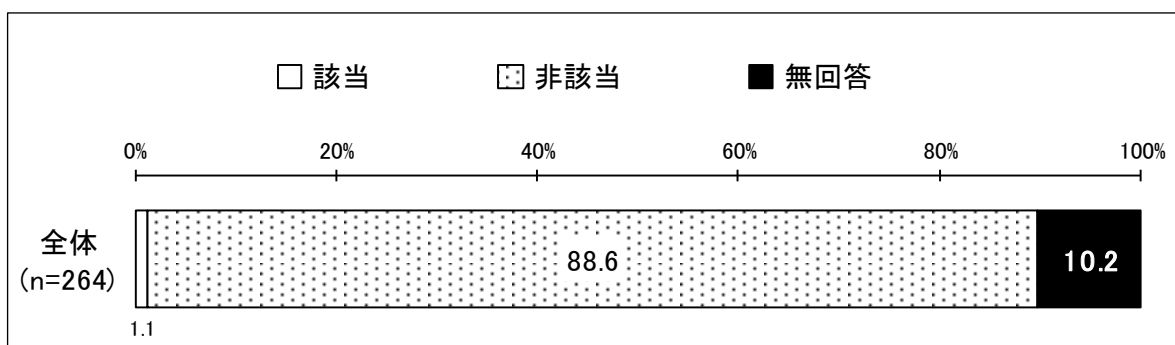
閉じこもりリスク判定は、「該当」が29.9%、「非該当」が67.0%となっています。



(4) 栄養改善リスク判定

設問	該当する選択肢
【3】問1 身長・体重からBMIを算出	「BMI 18.5以下」
【3】問7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	「はい」
上記2問該当でリスクあり	

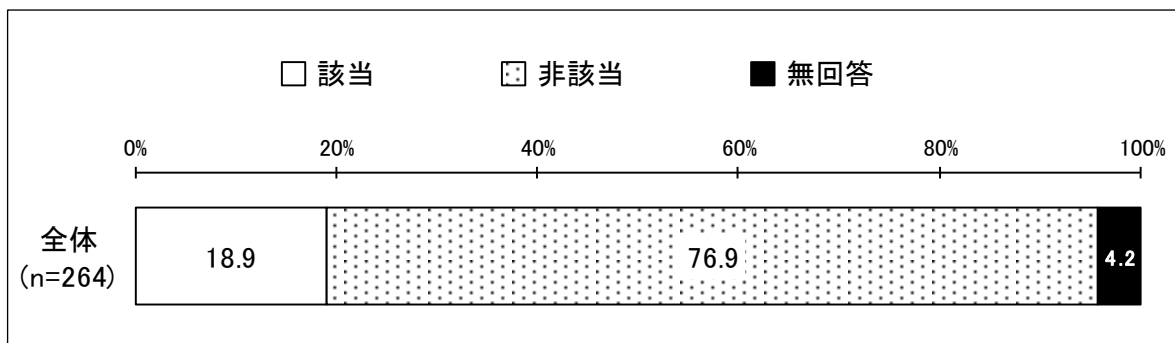
栄養改善リスク判定は、「該当」が1.1%、「非該当」が88.6%となっています。



(5) 口腔機能リスク判定

設問	該当する選択肢
【3】問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	「はい」
【3】問3 お茶や汁物等でむせることがありますか。	「はい」
【3】問4 口の渇きが気になりますか。	「はい」
上記2問以上該当でリスクあり	

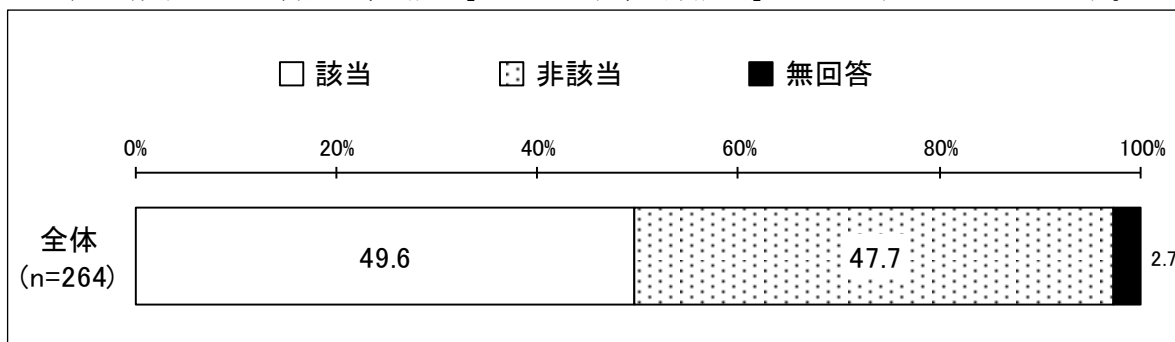
口腔機能リスク判定は、「該当」が18.9%、「非該当」が76.9%となっています。



(6) 認知機能リスク判定

設問	該当する選択肢
【4】問1 物忘れが多いと感じますか。	「はい」
上記該当でリスクあり	

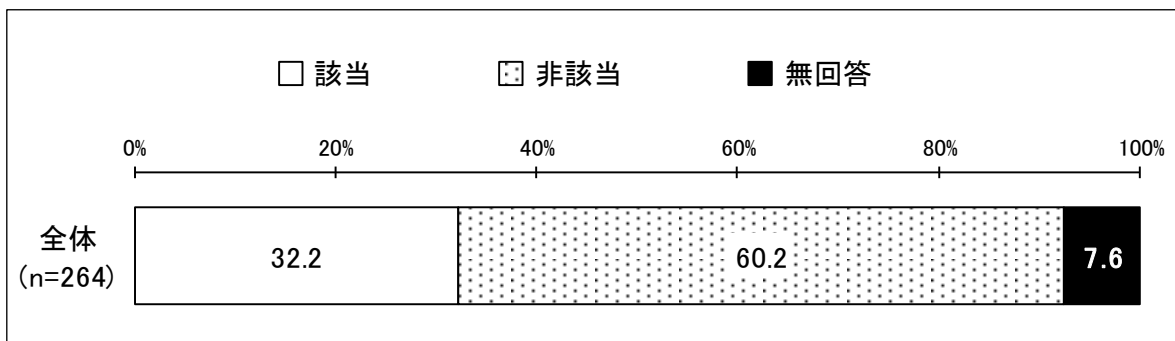
認知機能リスク判定は、「該当」が49.6%、「非該当」が47.7%となっています。



(7) うつ傾向リスク判定

設問	該当する選択肢
【7】問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	「はい」
【7】問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	「はい」
上記いずれか1つに該当でリスクあり	

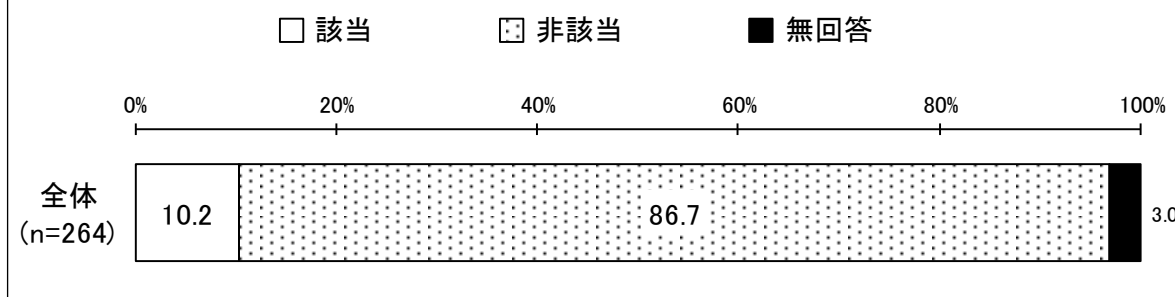
うつ傾向リスク判定は、「該当」が32.2%、「非該当」が60.2%となっています。



(8) IADLリスク判定

設問	該当する選択肢
【4】問4 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	「できるし、している」 「できるけど、していない」
【4】問5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。	
【4】問6 自分で食事の用意をしていますか。	
【4】問7 自分で請求書音支払いをしていますか。	
【4】問8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。	
1問該当で1点とし、5点＝「高い」、4点＝「やや低い」、3点以下＝「低い」 4点以下がリスク者とする	

IADLリスク判定は、「該当」が10.2%、「非該当」が86.7%となっ



2 用語解説

この用語解説は、本計画を策定するに当たって用いられる用語と、介護保険、高齢者保健福祉等で広く用いられている用語を掲載します。

あ行

●アセスメント

要介護認定の為の事前評価、初期評価。一般的には環境分野において使用される用語だが、福祉分野においては福祉利用者が直面している問題や状況の本質、原因、経過、予測を理解する為に、援助活動に先立って行われる一連の手続きを指す。

●SOSネットワーク

行方不明になる可能性がある高齢者の情報を事前に登録し、事案が発生した時にすみやかに発見・保護し、その後の生活を支援していくシステム。

か行

●外国人介護福祉人材育成支援協議会

日本で介護福祉の仕事に就きたいという外国人を支援・育成することで、参加自治体における介護人材の不足問題を解決するための協議会。

●介護給付

被保険者の要介護状態に関する保険給付。

●介護給付等対象サービス

介護給付等に係る居宅サービス、地域密着型サービス、居宅介護支援もしくは施設サービス。

●介護サービス計画（ケアプラン）

居宅介護サービス計画と施設介護サービス計画の総称。

●介護支援専門員（ケアマネジャー）

介護支援専門員は、主に指定居宅介護支援事業者及び介護保険施設に配置。指定居宅介護支援事業者の介護支援専門員は、要介護者等からの相談に応じ、要介護者等がその心身の状況等に応じ適切な居宅サービスまたは施設サービスを利用できるよう市町村、居宅サービス事業を行う者等との連絡調整等を行う者であって、要介護者等が自立した日常生活を営むのに必要な援助に関する専門的知識及び技術を有する者で、居宅サービス計画作成等の業務を行う。

介護保険施設の介護支援専門員は、施設サービス計画の作成等、施設利用者の居宅復帰を含めた業務を行う。

●介護認定審査会

認定等に係る審査判定業務を行うために市町村に設置される機関で、委員は保健、医療または福祉に関する学識経験を有する者のうちから市町村長が任命する。

●介護報酬

介護報酬とは、厚生労働大臣が定める基準により算定される保険給付の対象となる各種介護サービスの費用額。

●介護予防・生活支援事業

介護保険制度の円滑な実施の観点から、高齢者ができる限り寝たきりなどの要介護状態に陥ったり、状態が悪化することがないようにすること（介護予防）や自立した生活を確保するために必要な支援を行うこと（生活支援）。

●介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

市町村が中心となって、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域で支え合う体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを目指す事業。

●介護保険

介護保険は、被保険者の要介護状態または要介護状態となる恐れがある状態に関し、必要な保険給付を行う。保険者は市町村及び特別区であり、第1号被保険者は市町村の区域内に住所を有する65歳以上の者、第2号被保険者は市町村の区域内に住所を有する40歳以上65歳未満の医療保険加入者。

●介護保険施設

介護保険法に基づいて設置される、介護保険サービスを提供するための施設。指定介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院及び指定介護療養型医療施設。

●介護予防ケアマネジメント

地域包括支援センターにおいて介護予防事業の対象となる者に対する介護予防ケアプランの作成などの介護予防サービスの利用に要する業務。

●介護予防サービス

要支援者に対して状態の維持・改善を目的とし、利用者の目標を明確にした上でその目標の達成のために提供されるサービス。

- ①介護予防訪問入浴介護
- ②介護予防訪問看護
- ③介護予防訪問リハビリテーション
- ④介護予防居宅療養管理指導
- ⑤介護予防通所リハビリテーション
- ⑥介護予防短期入所生活介護
- ⑦介護予防短期入所療養介護
- ⑧介護予防特定施設入居者生活介護
- ⑨介護予防福祉用具貸与

●介護予防事業

市町村に居住地を有する第1号被保険者を対象として、要介護状態等となることの予防または要介護状態等の軽減・悪化の防止を目的として実施される事業。

●居宅介護サービス計画費

居宅要介護者等が指定居宅介護支援事業者から介護サービス計画（ケアプラン）の作成を受けた場合に、保険者はその要した費用について居宅介護サービス費を支給。

●居宅介護サービス費

居宅要介護者等が指定居宅サービス事業者から指定居宅介護サービスを受けた場合に、保険者はその要した費用について居宅介護サービス費を支給。

●居宅介護支援事業者

居宅介護サービスを受ける際の介護サービス計画を作成する介護支援専門員を配置し、指定居宅サービス事業者等との連絡調整等を行う事業者。

●居宅介護サービス

居宅介護サービスとは、次のサービスをいいます。

- ①訪問介護 ②訪問入浴介護 ③訪問看護 ④訪問リハビリテーション ⑤居宅療養管理指導 ⑥通所介護 ⑦通所リハビリテーション ⑧短期入所生活介護 ⑨短期入所療養介護 ⑩認知症対応型共同生活介護 ⑪特定施設入所者生活介護 ⑫福祉用具貸与

●居宅介護サービス計画

居宅介護サービス計画とは、居宅の要介護者等の依頼を受けて作成するもので、その心身の状況、その置かれている環境、当該居宅要介護者及びその家族の希望を勘案し、利用する居宅サービス等の種類及び内容等を定めた計画。

●ケアマネジメント

居宅の要介護者等に関し、サービスの提供が確保されるよう、介護サービス計画を作成するとともに、指定居宅サービス事業者等との連絡調整その他の便宜の提供を行い、介護保険施設への入所を要する場合には、当該施設への紹介その他の便宜の提供を行うこと。

●軽費老人ホーム

低額な料金で高齢者を入所させ、食事の提供その他日常生活上必要な便宜を提供する老人福祉施設。A型、B型およびケアハウスの3種類がある。

●高額医療合算介護サービス費

介護サービス費と医療費の自己負担額が一定の限度額を超えた場合、超えた分が払い戻される。

●高額介護サービス費

要介護者等が居宅サービスや施設サービスを利用し、支払った自己負担額が一定の限度額を超えた場合、超えた分が払い戻される。

●高齢者

65歳以上の者。また、そのうち、65歳から74歳までを前期高齢者、75歳以上を後期高齢者という。

●高齢社会

総人口に対して高齢者（65歳以上の者）の割合が高くなっている社会。

国際連合の分類では、65歳以上人口の比率が7%を超えた社会を「高齢化社会」、14%を超えた場合を「高齢社会」、20%を超えた場合を「超高齢社会」としている。

さ行**●財政安定化基金**

市町村の保険財政の安定化を図り、一般会計からの繰入を回避することを目的とし、国、都道府県、市町村が各3分の1ずつ拠出して設置する基金。

●施設介護サービス費

保険者は、要介護被保険者が介護保険施設において指定施設サービス等を受けた時は、要した費用について施設介護サービス費を支給。

●施設サービス

介護老人福祉施設サービス、介護老人保健施設サービス、介護医療院サービス及び介護療養型医療施設サービスのこと。

●施設サービス計画

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院または介護療養型医療施設に入所している要介護者について、これらの施設が提供するサービスの内容等を定めた計画。

●社会福祉士

身体や精神の障がいあるいは環境上の理由等により日常生活を営むことに支障がある人の福祉に関する相談援助を行う専門職の国家資格。

●住所地特例

介護保険施設に入所することにより当該介護保険施設の所在地に住所を変更した場合であっても、入所する前に、他の市町村の区域内に住所を有していたと認められるときは入所する前の市町村の被保険者となる。ただし、2以上の介護保険施設に継続して入所している等で、これに該当しない場合もある。

●主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）

新人ケアマネジャーの指導・育成・相談や介護が必要な方のケアプランを作成する際のケアマネジャーへの支援や相談をするケアマネジャーのまとめ役的存在になる専門職。

●生活支援コーディネーター

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能（主に資源開発やネットワーク構築の機能）を果たす者。

●生活支援ハウス

家族からの援助を受けることが困難等で、独立して生活することに不安のある高齢者に安心して健康で明るい生活を送れるように介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供する施設。

●成年後見制度

成年後見制度は精神上的の障がい（知的障がい、精神障がい、認知症など）により判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所に申立てをして、その方を援助してくれる人を付けてもらう制度。

た行

●第1号被保険者

原則として市町村の区域内に住所を有する65歳以上の者は、介護保険の第1号被保険者となる。

●第2号被保険者

市町村の区域内に住所を有する40歳以上65歳未満の医療保険加入者は、介護保険の第2号被保険者となる。

●地域支援事業

介護給付・予防給付とは別に、被保険者が要介護状態になることを予防（介護予防）し、要介護状態等になった場合も住み慣れた地域でできるだけ自立した生活が送れるように市町村が実施する事業。

●地域包括支援センター

地域における総合的なマネジメントを行う中核的な機関で、次の3つの機能を担う。

- ①総合相談・権利擁護業務 ②介護予防マネジメント業務 ③包括的・継続的マネジメントの支援業務

●地域密着型サービス

要介護者の住み慣れた地域での生活を24時間体制で支えるという観点から、要介護者の日常生活圏域内にサービス提供の拠点が確保されるべきサービス。

●地域密着型介護予防サービス

要支援者に対して要介護状態の維持・改善を目的として、住み慣れた地域での生活を24時間体制で支えることを目的に行われるサービス。

●特定疾病

40歳以上65歳未満の者については、要介護状態となる原因が加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾病（特定疾病）による場合に要介護者等と認定される。

な行

●日常生活圏域

住民が日常生活を営んでいる地域として、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、公的介護施設等の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して定める区域。

●日常生活自立支援事業

認知症がある高齢者や知的障がい者・精神障がい者など自己決定能力の低下した方々を支援するため、民法の成年後見制度を補う仕組みとして制度化されたもの。

●認知症

脳血管疾患、アルツハイマー病その他の要因に基づく脳の器質的な変化により日常生活に支障が生じる程度にまで記憶能力及びその他の認知機能が低下した状態。

●認知症カフェ

認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉などの専門の職員などが集い、情報交換や相談、認知症の予防や症状の改善を旨とした活動などのできる場所。家族を対象とした勉強会や講習会なども行われており、孤立しがちな本人や家族と地域のつながりの場を提供。

●認知症キャラバンメイト

認知症サポーターを養成する「認知症サポーター養成講座」を開催し、講師役を務める者。所定のキャラバン・メイト研修の受講・登録が必要。

●認知症ケアパス

「認知症ケアパス」は「認知症の人の生活機能障害の進行に合わせ、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受けることができるのか」を認知症の人とその家族に提示するための資料。

●認知症サポーター

認知症サポーター養成講座の受講により、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して、できる範囲で手助けする応援者。

●認知症初期集中支援チーム

複数の専門職が、家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問しアセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行うチームをいう。

は行

●美深町介護予防・日常生活支援総合事業体制整備推進協議体

各地域におけるコーディネーターと生活支援・介護予防サービスの提供主体等が参画し、定期的な情報共有及び連携強化の場として、中核となるネットワーク。

●フレイル

高齢期に心身の機能が衰えた状態。しかし早い時期に運動等を行うことにより、健康な状態に引き戻すことが可能な身体状況。

●包括的支援事業

地域支援事業の1つで次の5つの事業のことをいう。

- ①総合相談支援・権利擁護業務
- ②包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
- ③在宅医療・介護連携推進事業
- ④生活支援体制整備事業
- ⑤認知症総合支援事業

●保険給付

要介護者等が介護保険のサービスを利用した場合、保険者から事業者等へ支払われる9割分の費用。

●保険料

市町村は、介護保険事業に要する費用に充てるために、第1号被保険者の保険料額を条例で定め徴収する。なお、第2号被保険者の保険料は医療保険者が徴収する。

や行

●要介護者

要介護者とは次の者をいう。

- ①要介護状態にある65歳以上の者
- ②要介護状態にある40歳以上65歳未満の者で、その原因である身体上や精神上的の障がいがある特定疾病により生じた者。

●要介護認定

介護給付を受けようとする被保険者が、要介護状態であるかどうか、及びその該当する要介護状態区分等（要介護度）について受ける市町村の認定。

●要支援者

要支援者とは次の者をいいます。

- ①要介護状態となるおそれのある状態にある65歳以上の者 ②要介護状態となるおそれのある状態にある40歳以上65歳未満の者で、その原因である身体上や精神上的の障がいが特定疾病により生じた者。

●要支援認定

予防給付を受けようとする被保険者が、要支援状態であるかどうかについて受ける市町村の認定。

●予防給付

被保険者の要支援状態に関する保険給付。

ら行

●理学療法士

身体に障がいのある人たちに運動療法、物理療法、マッサージ等で基本的動作能力の回復を図ったり、義肢や装具の適応訓練等を指導するリハビリテーション技術者。

3 計画策定経過

年 月 日			経 過
令和2年	7月	13日	第1回策定委員会
	7月	21日	地域ケア会議
令和2年7月30日～ 令和2年8月28日			在宅介護実態調査、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
	11月	19日	第2回策定委員会
令和3年	2月	2日	地域ケア会議
	2月	4日	第3回策定委員会
	2月	26日	第4回策定委員会
随 時			事務局打合せ(保健福祉グループ内検討)

4 策定委員会

14名の委員をもって策定委員会を設置し、各委員の立場から協議を頂き、計画策定に意見を頂きました。

(1) 美深町高齢者保健福祉等計画策定委員会委員

・委員長 本平 武士

・副委員長 越智 茂信

区 分	氏 名	職 名
福祉関係	越智 茂信	社会福祉法人美深町社会福祉協議会 会長
	遠藤 未知子	美深町民生委員協議会 高齢者部会委員
	堀 博 明	社会福祉法人美深福祉会 美深町特別養護老人ホーム 施設長
	池本 春光	美深町老人クラブ連合会 副会長
保健医療関係	八木田真智子	美深町保健推進員協議会 会長
	谷川 和 広	J A北海道厚生連美深厚生病院 事務長
住民団体代表	本平 武士	美深町自治会連合会 会長
介護保険関係	十 亀 和 己	介護保険運営協議会 会長
	瓜 田 晃	介護保険運営協議会 会長代理
	(谷川 和広)	介護保険運営協議会 委員
	嘉津山 秀烈	介護保険運営協議会 委員
	世 継 導 子	介護保険運営協議会 委員
	中西 喜代美	介護保険運営協議会 委員
第1号被保険者代表	上野 美智子	公募
第2号被保険者代表	落合 佐久治	公募

(2) 会議の開催状況

令和2年 7 月 13 日 第1回美深町高齢者保健福祉等計画策定委員会

- 委員の委嘱
- 委員長、副委員長選任
- 第8期高齢者保健福祉等計画策定について
- 在宅介護実態調査、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の実施について

令和2年 11 月 19 日 第2回美深町高齢者保健福祉等計画策定委員会

- 在宅介護実態調査、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について
- 第8期高齢者保健福祉等計画策定について
 - 介護サービス見込量等の推計について
 - 第1号介護保険料基準額の推計について

令和3年 2 月 4 日 第3回美深町高齢者保健福祉等計画策定委員会

- 第8期高齢者保健福祉等計画（素案）について

令和3年 2 月 26 日 第4回美深町高齢者保健福祉等計画策定委員会

- 第8期高齢者保健福祉等計画（案）について

美深町高齢者保健福祉等計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 美深町における高齢者保健福祉施策の充実と介護保険事業の円滑な実施を確保することを目的として美深町高齢者保健福祉等計画策定委員会を設置する。

(名称)

第2条 委員会の名称は、美深町高齢者保健福祉等計画策定委員会（以下「委員会」という。）という。

(所掌事項)

第3条 委員会の所掌事項は、次の各号に掲げるものとする。

- (1)美深町高齢者保健福祉計画の策定に関すること
- (2)美深町介護保険事業計画の策定に関すること

(組織)

第4条 委員会は、委員15名以内で組織する。

2 委員は次の各号に掲げる者の内から町長が委嘱する。

- (1)福祉関係者
- (2)保健医療関係者
- (3)住民諸団体からの推薦による代表者
- (4)介護保険の被保険者で、公募に応じた者
- (5)介護保険運営協議会委員

3 委員の任期は、当該計画の成立をもって満了する。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

4 会議には、必要に応じ関係職員を出席させることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、保健福祉課において処理する。

2 各計画の原案については、町長が任命した職員によって作成する。

(費用弁償)

第8条 委員の費用弁償は、特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償並びに臨時の委員等の実費弁償に関する条例（平成12年条例第39号）第5条を準用する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し、必要な事項は町長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年9月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

第8期
美深町高齢者保健福祉計画
美深町介護保険事業計画

令和3年3月

担当:美深町保健福祉課
〒098-2252 北海道中川郡美深町字西町18番地
TEL 01656(2)1683 FAX 01656(2)1626
Eメール:b-fukusi@town.bifuka.hokkaido.jp
